

# Prime

ドスパラオリジナルパソコン [プライム]

## ユーザーズマニュアル



①ご利用前に

②基本操作

③インストール

④困ったときは

⑤ご案内

# **Prime** ユーザーズマニュアル

お買い上げいただき、誠にありがとうございます。

---

本書は、弊社製パソコン「Prime」シリーズ全般における基本的な接続・セットアップ方法を、簡単に分かりやすくご案内しております。

本製品をご利用になる前に必ずお読みください。

また、よくご質問を受けるトラブルの対応方法を記載しております。

故障かなと思われたとき、ご活用ください。

### ご利用前に

セットアップ手順	4
1/1 安全のために	5
1/2 “困った” を未然に防いでパソコンを快適に使用するために	12
1/3 健康のために	14
1/4 箱の中身を確認する	15
1/5 プロダクトキーの確認	16

### 基本操作

2/1 電源を入れる・電源を切る	18
2/2 Windows 7 セットアップ	20
2/3 Windows Vista セットアップ	23
2/4 Windows XP セットアップ	26
2/5 キーボード・タッチパッドの使い方	30
2/6 画面解像度の設定	35
2/7 周辺機器の接続	38
2/8 インターネット接続	39
2/9 無線 LAN の設定および使用方法	44
2/10 DVD ビデオの再生方法	50
2/11 光学ドライブへの書き込み方法	51
2/12 バックアップ方法	52

保証規約	146
ドスparaサポート案内	147
付属ソフトウェアチェックリスト	148
ドスpara修理依頼書	152
修理依頼方法	153

## インストール

3/1	OS インストール前の準備	72
3/2	Windows 7 のインストール	74
3/3	Windows Vista のインストール	82
3/4	Windows XP のインストール	90
3/5	Windows 7 の再インストール	100
3/6	Windows Vista の再インストール	102
3/7	Windows XP の再インストール	104
3/8	Prime リカバリ	106
3/9	Windows 7 のスタートアップ修復	110
3/10	Windows Vista のスタートアップ修復	112
3/11	Windows XP の修復インストール	114
3/12	パーティションの設定	118
3/13	デバイスドライバのインストール	120
3/14	各種ソフトウェアのインストール手順	121

## 困ったときは

4/1	困ったときは	124
4/2	パソコントラブル解決手順	127
4/3	パソコントラブル FAQ (BIOS ~ Windows 起動前)	132
4/4	パソコントラブル FAQ (Windows 起動後)	134
4/5	パソコントラブル FAQ (ハードウェア)	135
4/6	パソコントラブル FAQ (その他)	136
4/7	改善のための操作方法	138
4/8	ハードウェア診断ソフト「PC-Doctor」	140
4/9	サポートコールセンターよりお客様へ	142

## ご案内

5/1	パソコンのリユースについて	143
5/2	パソコンのリサイクルについて	144
5/3	パソコンに記憶されているデータについて	145

# セットアップ手順

- 1** 安全のために **5 ページ**
  - 安全に正しくお使いいただくためにご確認ください
- 2** “困った” を未然に防いで、パソコンを快適に使用するために **12 ページ**
  - パソコンをお使いいただく上でトラブルを未然に防ぐための諸注意をご確認ください
- 3** 箱の中身を確認する **15 ページ**
  - 付属品等がそろっているかご確認ください
- 4** 電源を入れる **18 ページ**
  - ディスプレイ・本体・周辺機器の電源を入れて起動します
- 5** Windows の起動
  - OS インストールモデルの場合
    - Windows 7 セットアップ **20 ページ**
    - Windows Vista セットアップ **23 ページ**
    - Windows XP セットアップ
  - OS なしモデルの場合
    - Windows 7 のインストール **74 ページ**
    - Windows Vista のインストール **82 ページ**
    - Windows XP のインストール **90 ページ**

セットアップの完了です

# 安全のために

Prime パソコンは、安全にご利用いただけるよう、各規格に準拠したパーツにて製造されております。しかし、接続や使用方法が正しくないと、火災や感電などの事故を引き起こすことがあり危険です。事故を防ぐために、記載事項を必ずお守りください。

## 定期的に点検する

Prime パソコンは精密機器ですので、ケース内にホコリがたまりと誤作動の原因となります。ケースファンにホコリが付着すると冷却性能低下によるトラブルが発生しますので、定期的に点検・清掃をしてください。

## 故障した場合

パソコンを使用していて何らかの問題に気付いたときは 124 ページ「困ったときは」を参考に解決を試みてください。

問題が解決できない場合は、お買い上げの店舗か、サポートコールセンターにご相談ください。



### 警告

お取り扱いを誤った場合、人が死亡、または重傷を負うことが想定されることを示します。



### 注意

お取り扱いを誤った場合、人が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定されることを示します。

## 万一、異常が起きたら

**異音・異臭・煙が出たら  
即、ご使用をお止めください。**

直ちに使用を中止し電源を切り、電源ケーブルや接続ケーブルを抜き、バッテリーを取り外してください。

お買い上げの店舗、もしくはサポートコールセンターに点検・修理をご依頼ください。



## 安全にご利用いただくために

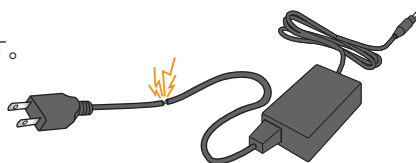


警告

### 電源ケーブルを傷つけないでください

電源ケーブルを傷つけると、火災・感電の原因となります。

- 重い物を乗せたり、引っ張ったりしない
- 熱器具に近づけない、加熱しない
- 電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグを持って抜く



警告

### 内部に水や異物を入れないでください

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万が一入り込んだ場合は、すぐに電源を切り、電源ケーブルや接続ケーブルを抜き、バッテリーを取り外してください。



その後の処置は、お買い上げの店舗またはサポートコールセンターまでご相談ください。



警告

### 改造をしないでください

パーツの分解・改造をしないでください。火災や感電・けがの原因となります。また改造を行った場合、保証期間内でもサポートの対象外となります。

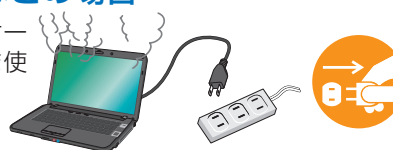


警告

### 「異音がする」「焼けたような匂いがする」などの場合

直ちに使用を中止し、電源を切り、電源ケーブルや接続ケーブルを抜き、バッテリーを取り外してください。そのまま使用されると、火災や感電の原因となることがあります。

その後の処置は、お買い上げの店舗またはサポートコールセンターまでご相談ください。



## 設置場所と使用環境



### 設置場所と使用環境

パソコンの設置場所および使用環境について、以下の条件でご使用ください。この条件以外でパソコンを使用すると、火災などの事故や、パソコンが破損する、起動しなくなるなどのトラブルの原因となります。

次のような場所が設置に適しています。

- ・室内
- ・温度 10℃～35℃
- ・湿度 20%～80%（結露しないこと）



極端に温度が低い室内で電源を入れるとパソコンが起動しないことがあります。そのような場合は一度電源を切り、室内の温度を上げて2時間ほど放置してから電源を入れ直してください。急激な温度の変化で内部に結露が生じ、部品がショートして故障の原因となるのを防ぎます。



### 不安定な場所に置かないでください

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も十分に確認してください。



### 湿気・油煙・ホコリの多い場所に置かないでください

火災や感電の原因となることがあります。



### 水槽の近くや水場のそばなど湿気の多い場所には置かないでください

水がかかると、火災や感電の原因となることがあります。



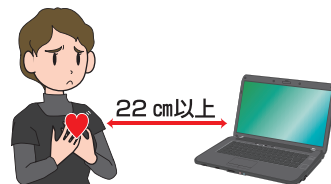
### 病院や混雑した場所（満員電車など）ではワイヤレス LAN を使用しないでください

ワイヤレス LAN の電波により、心臓ペースメーカや医療用電子機器が誤動作し、事故の原因となることがあります。



### ワイヤレス LAN を使用する時は、心臓ペースメーカの近くで使用しないでください

ワイヤレス LAN の電波により、心臓ペースメーカが誤動作し、事故の原因となることがあります。22cm 以上離してご使用ください。

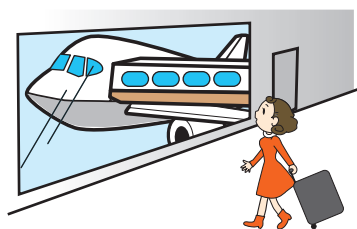




### 飛行機に乗る際は、無線 LAN は OFF にしてください

飛行機内で無線 LAN のスイッチを入れること、及び離着陸時のパソコンの使用は、航空法違反となり処罰される場合があります。

一部使用許可のある航空会社・航空機もございます。



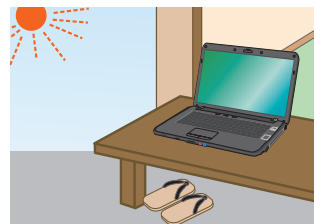
### 家電製品のそばや磁気を発生する物の近くで使用しないでください

異常動作の原因となりますので 30cm 以上離してご使用ください。



### 屋外やホコリの多いところには置かないでください

火災や感電の原因となることがあります。



### 直射日光のあたる場所やストーブの近くなど熱くなりそうな場所には置かないでください

変色、変形等の劣化の原因となることがあります。内部温度が上がり故障の原因となります。



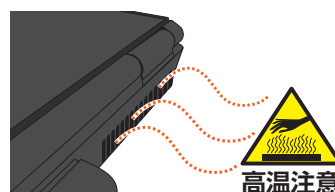
### ノートパソコンを布団やじゅうたんの上に置かないでください

柔らかい物の上に置くと、側面や底面の通風孔をふさいだり、熱が逃げずに本体内部温度が上昇してパソコンの誤作動や故障の原因となります。机などの上に置いてご使用ください。



### 排気口やその周辺は高温になりますので触ったり近くに物を置かないでください

本体側面にある排気口やその周辺は熱くなることがあります。長時間直接接触していると低温やけどを起こしたり、熱に弱いプラスチックやゴム製品をそばに置いておくと変形、破損する場合があります。



①ご利用前に

②基本操作

③インストール

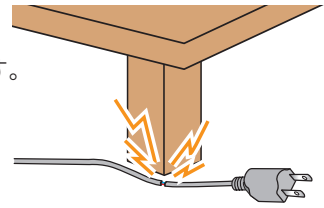
④困ったときは

⑤ご案内



**電源や信号のケーブルを無理に曲げたり物を乗せないようにしてください**

ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

**電源プラグを挿したまま、移動をさせないでください**

ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。



## 使用上のご注意



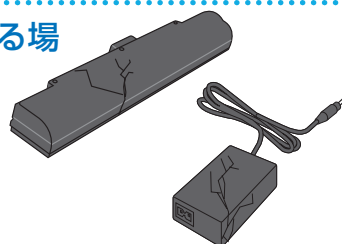
### バッテリーから液が漏れた場合は液に触らないでください

バッテリーから漏れた液に触れてしまった場合、皮膚がかぶれたり炎症を起こす原因となります。触ってしまった場合は流水で15分以上洗浄してください。また、目に入った場合は流水で15分以上洗浄した後、直ちに医師に相談してください。



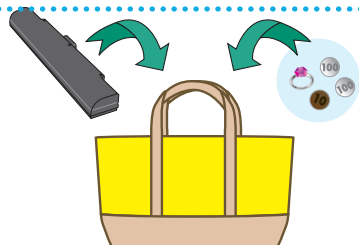
### アダプターやバッテリーが割れたり傷ついている場合は使用しないでください

破損や感電、火災の原因となります。



### バッテリーを金属の小物（鍵や装飾品、コイン等）と一緒にカバンにいれないでください

端子がショートして破損や感電、火災の原因となります。

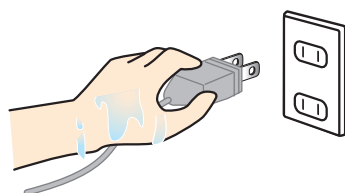


### ぬれた手で電源プラグに触らないでください

感電の原因となることがあります。

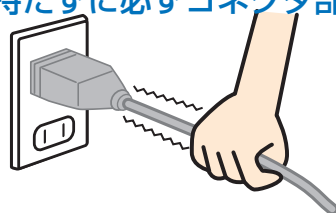


ぬれ手禁止



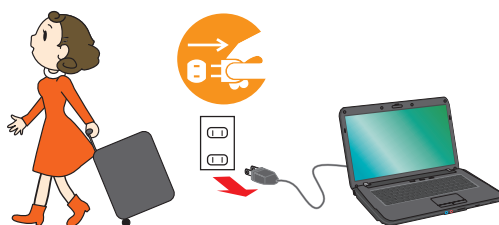
### ケーブルのコネクタを抜くときはケーブルを持たずに必ずコネクタ部分を持つようにしてください

ケーブルを直接引っ張ってコネクタを抜くと、ケーブル断線などの故障の原因となります。取り外すときは必ずコネクタ部分を持つようにしてください。



### 長期間使用しない場合はコンセントを抜いてください

火災の原因となることがあります。



**Prime パソコンに飲み物や食べ物などをこぼさないようにしてください**

液体がかかると、火災や感電の原因となることがあります。

**ノートパソコンやアダプター、バッテリーに衝撃を与えないでください**

破損や故障の原因となります。

**液晶ディスプレイを乱暴に開閉しないでください**

破損や故障の原因となります。

**液晶ディスプレイとキーボードの間に物をはさんで閉じないでください**

液晶ディスプレイの破損の原因となります。

**ノートパソコンの上に重い物を乗せないでください**

破損や故障の原因となります。

**アダプターとバッテリーを挿したまま、メンテナンスなどのパソコン内部の作業を行わないでください**

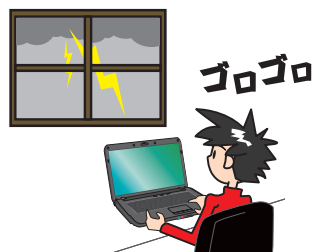
作業時に感電・けが、破損の原因となります。





**雷が鳴り始めたら、パソコンを終了してコンセントやLANケーブルを抜いてください**

落雷により感電したり、故障の原因となります。



①ご利用前に



**長時間にわたり、ひざの上に置いて使用しないでください**

本機底面や通風孔周辺は熱くなることがあり、長時間触れていると低温やけどを起こす場合があります。



②基本操作



**長時間使用する場合は、必ず途中で休憩を取るようしてください**

肩こり、腰痛、目の疲れ、腱鞘炎などの原因となります。



③インストール



**長時間の使用などにより、身体の一部に違和感や痛みを感じた場合は直ちに使用を中止してください**

使用を中止しても改善しない場合は直ちに医師に相談してください。



④困ったときは

⑤ご案内

## 1 パソコンやパソコンの周辺を清潔に保つ

空気中のチリやホコリは精密機器であるパソコンの大敵です。パソコンやパソコン周辺を常に清潔に保つよう心掛けましょう。

パソコンのお手入れを定期的に行うことは、パソコンを快適に使えるばかりか、パソコンを長持ちさせることにもつながります。



### ワンポイント

ご自身でパソコンの内部を触った経験がない方は、ドスパラ全店及びサポートコールセンターで有償クリーニング致します。また、**DJメールマガジン**でご購読の方はお持込みいただければPrimeパソコンの**内部クリーニングを無料**で行います。

詳しくは下記のWEBまたはサポートコールセンターにご確認ください

<http://www.dospara.co.jp/cln>

## 2 正しい方法で電源を切る

止むを得ない理由を除き、電源ボタンを押して強制的にパソコンの電源を切ったり、バッテリー非搭載時及び充電が不十分な時にACアダプターを外すことはおやめください。パソコンが故障したり、正常に動作しないなどのトラブルを引き起こす原因となります。



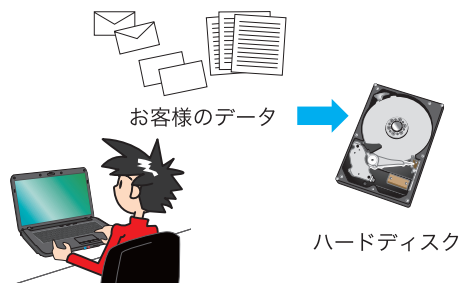
## 3 パソコン使用時の飲食、喫煙は避ける

飲食しながらパソコンを使用すると、**食べ物**や**飲み物**がかかり、パソコンを故障させる原因となります。また、**タバコの煙**や**灰**は精密機械であるパソコンにとって大敵ですのでご注意ください。



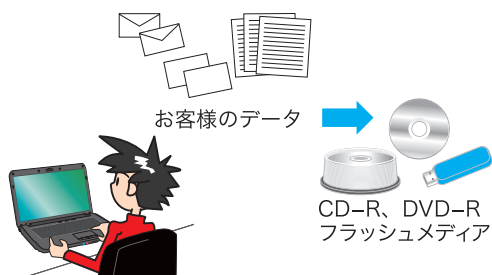
## 4 作業中はこまめにデータを保存する

「パソコンが突然フリーズ（停止）して作成中のデータが消えてしまった」ということがないように、文書作成等の作業を行う時はこまめに**データを保存**しましょう。



## 5 定期的にデータのバックアップを作成する

誤った操作やウイルス感染等により、ハードディスク内のデータが消えてしまうことがあります。大事なデータは定期的にCD-R/DVD-Rやフラッシュメディアなどの他の記録媒体にバックアップを作成しておきましょう。



## 6 パソコンにショックを与えない

ノートパソコンを持ち運ぶ場合は次の注意を守ってください。

- ・電源を切る
- ・強い衝撃や振動を与えない
- ・液晶を持たない
- ・片手で持たない
- ・光学メディアやPCカードなどを取り外す
- ・アダプターや周辺機器などを取り外す



## 7 インターネットを利用するときはウイルス対策を万全に

インターネットに接続すると、EメールやWEBサイトなどから、コンピューターウイルスに感染する危険があります。Windows Update(※)で、システムの更新を行ったり、市販のウイルス対策用ソフトウェア等を利用する、信頼できないWEBサイトのアクセスやダウンロードをしない、心当たりのないEメール(添付されているデータがある場合はそれを含む)は開封せずに削除するなど、ウイルス対策を積極的に行いましょう。



①ご利用前に

②基本操作

③インストール

④困ったときは

⑤ご案内

### ※ Windows Update について

インターネットに接続できる環境にあるときは、Windows や Internet Explorer の更新補助機能である Windows Update を実行してください。OS の発売後に発見された不具合を解消したり、各種ドライバを更新することができます。特に、OS 関連でリリースされているサービスパックについてはインストールすることをお勧めします。Windows Update への接続方法は、スタートボタンをクリックして立ち上がるメニューから「Windows Update」を選択するか、同じく「スタートボタン」→「検索」→「ファイルやフォルダ」を選択して「wupdmgr.exe」を入力して検索し、見つかったファイルをダブルクリックしてください。

# 13 健康のために

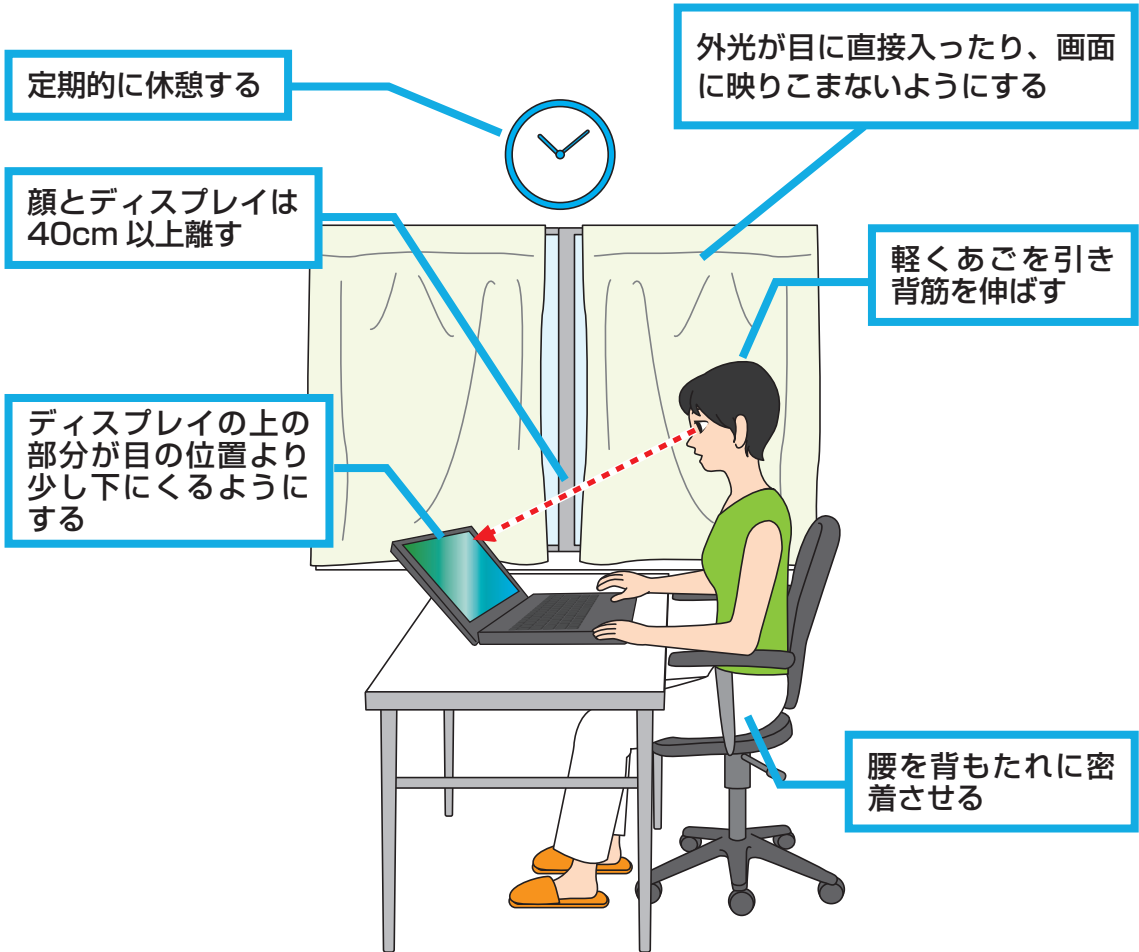
①ご利用前に

②基本操作

③インストール

④困ったときは

⑤ご案内



## 姿勢

- ▶ 軽くあごを引き、背筋を伸ばすようにしましょう。
- ▶ 腰を背もたれに密着させましょう。
- ▶ 腕や太ももは床と平行にしましょう。
- ▶ 足裏全体を床につけるようにしましょう。

## キーボード マウスの操作

- ▶ 入力中に手首をあまり曲げすぎないようにしましょう。
- ▶ マウスを動かす時は、手首だけを使わずに腕全体で動かすようにしましょう。
- ▶ キーボードの入力中は、手首と手を宙に浮かせ、離れたキーを押すときに指を伸ばすのではなく腕全体を移動させるようにしましょう。
- ▶ キーボードやタッチパッドは軽いタッチ・クリックをしましょう。

## 使用時間

- ▶ 一時間に一回休憩を取り、遠くを見つめたり、ストレッチをしましょう。

## ディスプレイ

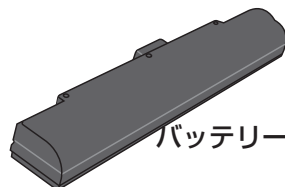
- ▶ 顔とディスプレイは 40cm 以上離しましょう。
- ▶ ディスプレイの上の部分が目の位置より少し下にくるようにしましょう。
- ▶ ご利用中、外光が目に入ったり、画面に映りこまないようにしましょう。
- ▶ ディスプレイは清潔にしましょう。

# 箱の中身を確認する

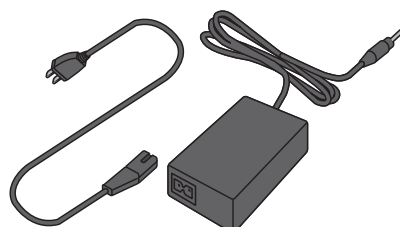
梱包を開けましたら以下のリストを参考に、付属品等がそろっているかご確認ください。ご確認の際、万一破損していたり付属品が足りない場合は、**すぐにご購入店またはサポートコールセンターへご連絡ください。**

## ハードウェア類

Prime ノートパソコン  
モデル・カスタマイズにより  
形式／形状が異なります



バッテリー



アダプター

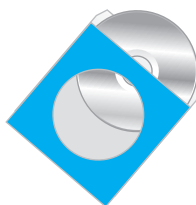
プライム 製造番号  
**XXXXXX-XXXXX**

保証シール  
本体底面に貼ってあります

## マニュアルとディスク類



Windows パッケージ  
(OS インストールモデルのみ)



ドライバ CD/DVD 再生ソフト・ライティングソフト  
マニュアル類 (モデルにより異なります)



- Prime ノートパソコン
- バッテリー
- アダプター
- 保証書シール (サポートを受ける際に必要な製造番号が記載されています)
- ドライバ CD/DVD、マニュアル類 (モデルにより異なります)
- DVD 再生ソフト・ライティングソフト
- Windows パッケージ (OS インストールモデルのみ)
- COA (Certificate of Authenticity) ラベル (OS インストールモデルのみ)

※本製品に付属のソフトウェアについては 148 ページ「付属ソフトウェア」をご覧ください。



# プロダクトキーの確認

OS がインストールされたパソコンをご購入いただいた場合、パソコンに COA ラベルが貼られています。COA ラベルを確認しプロダクトキーを確認してください。COA ラベルを確認できない場合は、15 ページ「箱の中身を確認する」を参照し、「Windows パッケージ」に COA ラベルが貼られているか確認してください。

⚠ 「OS なし」でパソコンをご購入いただいた場合は、COA ラベルは貼られておりません。

## COA (Certificate of Authenticity) ラベルの確認

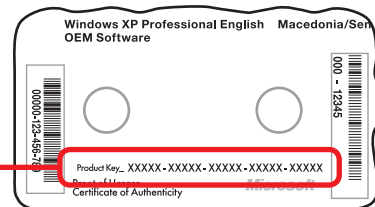
COA (Certificate of Authenticity) ラベル OS インストールモデルの場合、「プロダクトキー (Product Key)」記載の下記ラベル等が、Prime パソコンに貼付されています。本ラベルは再発行できませんので剥がさないようにお願いいたします。



## プロダクトキーの確認

プロダクトキー (Product Key) は、COA ラベルに Product Key と記載されている、“-” で区切られた 25 桁の英数字です。

プロダクトキー




## COA ラベルの穴について

この穴はシールが破損していたり、破けているものではありません。偽造品防止対策のために、紙の繊維の間に金属光沢の帯が埋め込まれており、これらの穴はその帯を確認できるようになっています。単に表面に印刷されたものではないということを確認するための偽造品防止対策の穴ですのでご安心ください。

## COA ラベル貼付位置の確認

COA ラベルは Prime ノートパソコンの底面に貼付してあります。  
ご確認ください。

COA ラベル貼付位置：赤枠 



①ご利用前に

②基本操作

③インストール

④困ったときは

⑤ご案内

## 電源を入れる

パソコンの電源の入れ方は、次のとおりです。

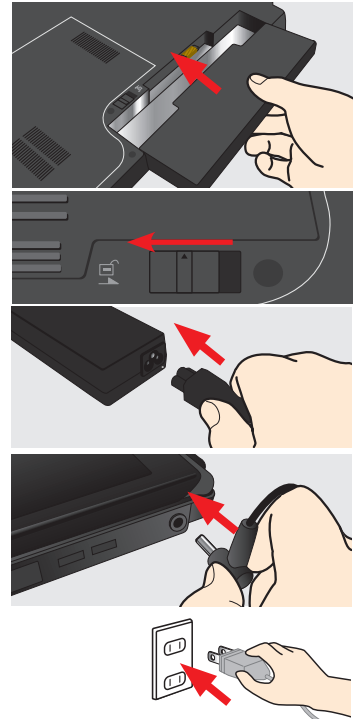
## ① アダプターとバッテリーを接続します

セットアップ中に電池切れを起こさないためにアダプターを接続した状態で作業します。

- バッテリーをパソコンに接続します。
- 接続したバッテリーをロックします。
- アダプターに電源ケーブルを挿し込みます。
- アダプターをパソコンに接続します。
- アダプターをコンセントに挿し込みます。

⚠ ケーブルを接続する際は、コネクタを持ち垂直に挿し込んでください。

⚠ 製品に付属されているアダプターをご利用ください。他製品のアダプターを使用しないでください。



## ② パソコンの電源スイッチを押して電源を入れます



## ③ 起動すると画面に Prime ロゴ画面が表示され、インストールされている OS が起動します



**4** 初めてご利用する時はOSのセットアップ、またはOSのインストールを行う必要があります

ご購入のモデルに合わせて、下記手順に沿って作業を行います。

- OS 付属モデルをご購入の方
  - Windows 7 セットアップ：20 ページへ
  - Windows Vista セットアップ：23 ページへ
  - Windows XP セットアップ：26 ページへ
- OS なしモデルをご購入の方
  - OS インストール前の準備：72 ページへ

**電源を切る**

パソコンの電源の切り方は、次のとおりです。

■ Windows 7

[スタートメニュー] をクリックして開き、[シャットダウン] をクリックして終了させます。

■ Windows Vista

[スタートメニュー] をクリックして開き、[▶] をクリック、最後に [シャットダウン] をクリックして終了させます。

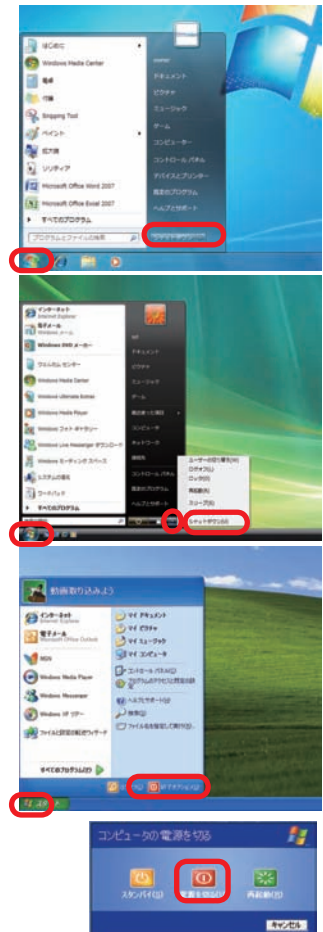
■ Windows XP

[スタート] をクリックして、[終了オプション] をクリックします。

[コンピューターの電源を切る] が表示されますので、[電源を切る] をクリックして終了させます。

Windows がフリーズして終了操作ができないときは、139 ページ「タスクマネージャ」を参照し、フリーズしているソフトを強制終了します。「タスクマネージャ」を起動できない場合は、電源が切れるまで電源ボタンを押し続けて強制終了します。

**⚠** 保存していないデータ等が失われ、データ破損の危険性があるため緊急時以外には行わないでください。



①ご利用前に

②基本操作

③インストール

④困ったときは

⑤ご案内

## Windows 7 セットアップ

初めて起動した際には、ご利用環境の設定（セットアップ）を行う必要があります。下記手順に沿ってセットアップを行い、パソコンを使用できる状態にしましょう。セットアップには 10 分程度かかりますが、最後まで電源を切らずに設定を進めましょう。

### 1 「言語の設定」が表示されます

「国または地域」「時刻と通貨の形式」「キーボードレイアウト」の設定をします。通常は設定を変更する必要はありません。

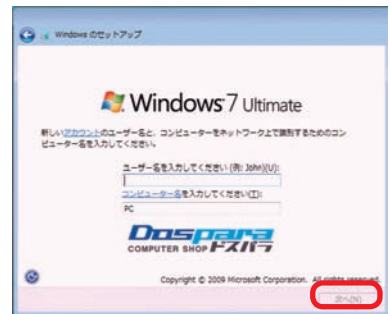
設定が完了したら [次へ] をクリックします。



### 2 「新しいアカウントのユーザー名と、コンピューターをネットワーク上で識別するためのコンピューター名を入力してください。」が表示されます

例を参考にユーザー名とコンピューター名を入力し [次へ] をクリックします。

※ユーザー名、コンピューター名には日本語も使用できます。

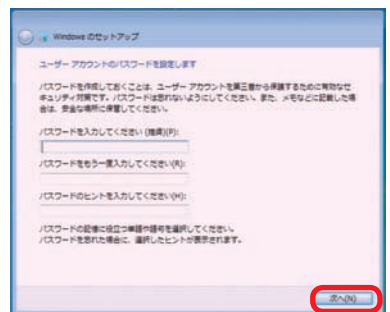


### 3 「ユーザーアカウントのパスワードを設定します」が表示されます

パスワードを入力します。パスワードの入力は間違えないように同じ文字列を2回入力します。

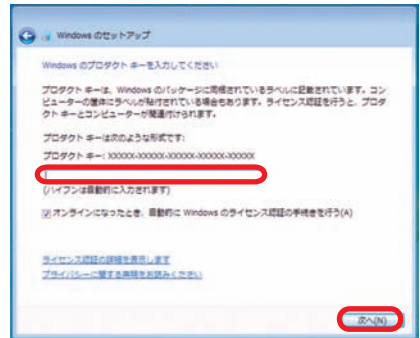
次に、パスワードのヒントを入力します。パスワードを忘れた際に、表示されるヒントを入力します。その後「次へ」をクリックします。

※パスワードは未入力でも先に進めます（後から設定することが可能です）。

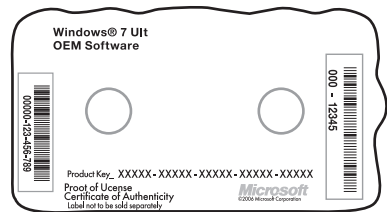


## 4 「Windows のプロダクトキーを入力してください」が表示されます

プロダクトキーを入力して [次へ] をクリックします。



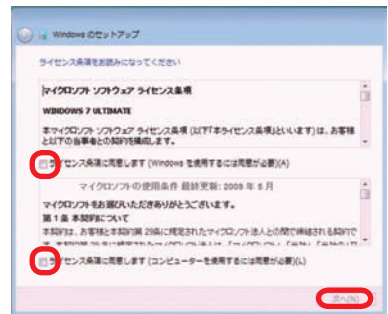
- Windows 7 インストールモデルでは本体に貼り付けてあるシールに 25 桁の英数字で記載されています。(貼付位置は 17 ページ「COA ラベル 貼付場所の確認」をご覧ください)



## 5 「ライセンス条項」が表示されます

「マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項」「マイクロソフトの使用条件」を確認し、「ライセンス条項に同意します」のチェックボックスをクリックしてチェックを入れます。

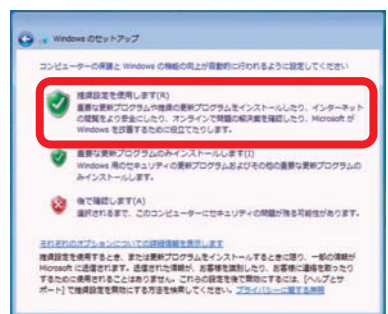
チェックを入れたら [次へ] をクリックします。



## 6 「コンピューターの保護と Windows の機能の向上が自動的に行われるように設定してください」が表示されます

「推奨設定を使用します」をクリックします。

- ※推奨設定以外でも先に進むことはできます。それぞれの内容は画面の[それぞれのオプションについての詳細情報を表示します]をクリックし、確認してください。



1 ご利用前に

2 基本操作

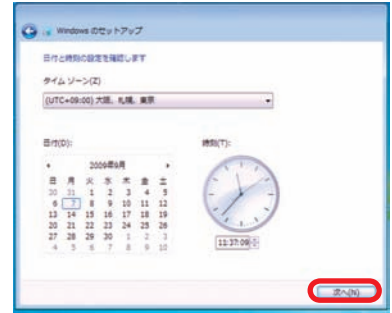
3 インストール

4 困ったときは

5 ご案内

## 7 「日付と時刻の設定を確認します」が表示されます

「タイムゾーン」「日付」「時刻」を確認します。設定が異なっている場合には、修正した後[次へ]をクリックします。

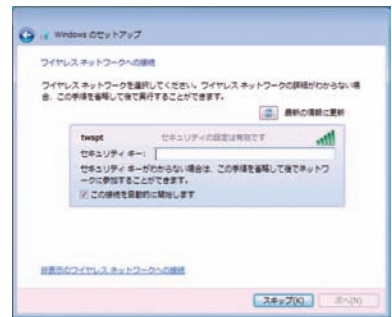


## 8 「ワイヤレスネットワークへの接続」が表示されます

表示されているリストから、ご利用環境のアクセスポイントに設定されているワイヤレスネットワーク名をクリックします。次にセキュリティキーの入力を求められますので、設定されているセキュリティキーを入力してください。

※ワイヤレスネットワークを準備していない場合でも、近隣のワイヤレスネットワークが表示される場合がありますが、そのまま「スキップ」をクリックしてください。

※ご利用環境にワイヤレスネットワークがない場合は、本項目はスキップされます。



## 9 これで Windows 7 のインストールは完了しました

「デスクトップの準備をしています」が表示されます。

そのままの状態ですばらくお待ちください。

Windows 7 のデスクトップ画面が表示されたらセットアップ完了です。



## 10 ライセンス認証 (プロダクトアクティベーション)

Windows 7 インストール完了後、必ず 30 日以内にライセンス認証 (プロダクトアクティベーション) を行ってください。詳しい認証方法は、81 ページ「プロダクトアクティベーションの方法」をご参照ください。

### プロダクトアクティベーションとは？

- 「Microsoft® Office」 「Windows® XP」 「Windows Vista®」 「Windows® 7」などに不正利用を防ぐ目的で導入されているライセンス認証技術です。
- Windows 7 インストール後 30 日以内にライセンス認証 (プロダクトアクティベーション) を行わないと Windows 7 が使えなくなります。

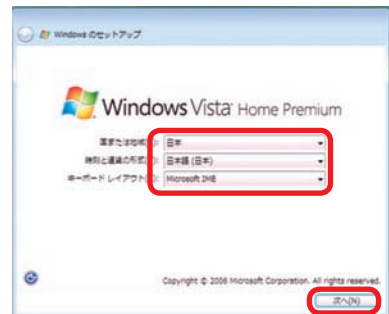
## Windows Vista セットアップ

初めて起動した際には、ご利用環境の設定（セットアップ）を行う必要があります。下記手順に沿ってセットアップを行い、パソコンを使用できる状態にしましょう。セットアップには 10 分程度かかりますが、最後まで電源を切らずに設定を進めましょう。

## ① 「言語の設定」が表示されます

「国または地域」「時刻と通貨の形式」「キーボードレイアウト」の設定をします。通常は設定を変更する必要はありません。

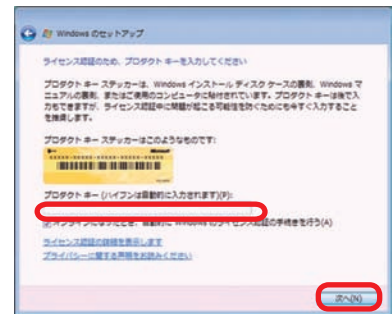
設定が完了したら [次へ] をクリックします。



## ② 「ライセンス認証のため、プロダクトキーを入力してください」が表示されます

プロダクトキーを入力します。

入力したら [次へ] をクリックします。



- Windows Vista インストールモデルでは本体に貼り付けてあるシールに 25 桁の英数字で記載されています。（貼付位置は 17 ページ「COA ラベル貼付場所の確認」をご覧ください）

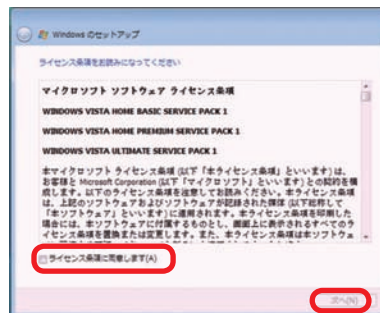




### ③ 「ライセンス条項」が表示されます

マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項を確認し、「ライセンス条項に同意します」のチェックボックスをクリックしてチェックを入れます。

チェックを入れたら [次へ] をクリックします。



### ④ 「ユーザー名と画像の選択」が表示されます

- ・例を参考にユーザー名を入力します。  
※ユーザー名には日本語も使用できます。
- ・パスワードを入力します。  
※パスワードは未入力でも先に進めます。  
※後から設定することが可能です。
- ・下部の画像から、このユーザーアカウントで使用  
する画像を選択します。
- ・設定が完了したら [次へ] をクリックします。



### ⑤ 「コンピュータ名とデスクトップ背景の設定」が表示されます

- ・例を参考にコンピュータ名を入力します。  
※コンピュータ名には日本語も使用できます。
- ・下部の画像から背景を選択してクリックします。  
設定が完了したら [次へ] をクリックします。



### ⑥ 「Windows を自動的に保護するように設定してください」が表示されます

[ 推奨設定を使用します ] をクリックします。

※推奨設定以外の項目を選択することもできます。それぞれの内容を確認するには [それぞれのオプションについて詳細情報を表示します] をクリックします。



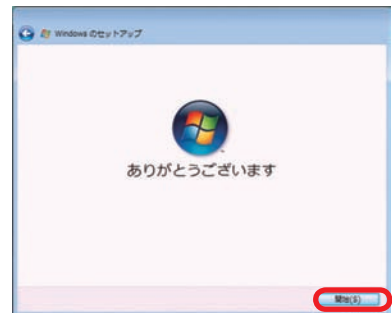
## 7 「時刻と日付の設定の確認」が表示されます

「タイムゾーン」「日付」「時刻」を確認します。設定が異なっている場合には、修正した後[次へ]をクリックします。



## 8 「ありがとうございます」が表示されます

[開始] をクリックします。



## 9 「コンピュータのパフォーマンスを確認しています」が表示されます

パフォーマンスの調査に 5 分程度かかりますので、そのままの状態ですばらくお待ちください。  
Windows Vista のデスクトップ画面が表示されたらセットアップ完了です。



## 10 ライセンス認証 (プロダクトアクティベーション)

Windows Vista インストール完了後、必ず 30 日以内にライセンス認証 (プロダクトアクティベーション) を行ってください。詳しい認証方法は、89 ページ「プロダクトアクティベーションの方法」をご参照ください。

### プロダクトアクティベーションとは？

- 「Microsoft® Office」 「Windows® XP」 「Windows Vista®」 「Windows® 7」などに不正利用を防ぐ目的で導入されているライセンス認証技術です。
- Windows Vista インストール後 30 日以内にライセンス認証 (プロダクトアクティベーション) を行わないと Windows Vista が使えなくなります。

①ご利用前に

②基本操作

③インストール

④困ったときは

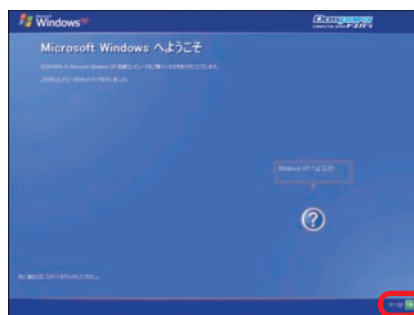
⑤ご案内

## Windows XP セットアップ

初めて起動した際には、ご利用環境の設定（セットアップ）を行う必要があります。下記手順に沿ってセットアップを行い、パソコンを使用できる状態にしましょう。セットアップには 10 分程度かかりますが、最後まで電源を切らずに設定を進めましょう。

### ① 「Microsoft Windows へようこそ」が表示されます

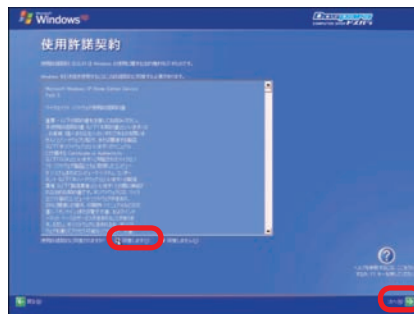
右下の [次へ] をクリックします。



### ② 「使用許諾契約」が表示されます

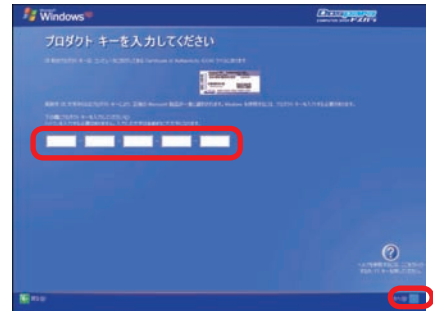
マイクロソフト ソフトウェア使用許諾契約を確認し、[ 同意します ] のチェックボックスをクリックしてチェックを入れます。

チェックを入れたら [ 次へ ] をクリックします。



### 3 「プロダクトキーを入力してください」が表示されます

プロダクトキーを入力します。  
入力したら [次へ] をクリックします。



① ご利用前に

② 基本操作

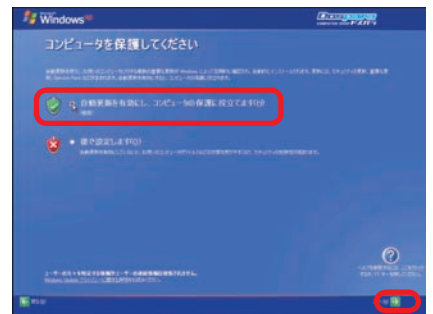
- Windows XP インストールモデルは、25桁のプロダクトキーが記載されたプロダクトシール(右下図)がパソコンに貼られています。
- プロダクトキーには使用されない文字があります。  
使用されない数字 [1、5、0]  
使用されない文字 [A、E、I、L、N、O、S、U、Z]  
プロダクトキー入力画面では、使用されない文字は入力できない設定になっています。



③ インストール

### 4 「コンピュータを保護してください」が表示されます

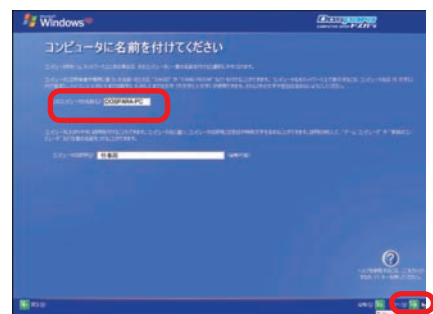
[自動更新を有効にし、コンピュータの保護に役立ってます] をクリックして選択します。  
選択したら [次へ] をクリックします。



④ 困ったときは

### 5 「コンピュータに名前を付けてください」が表示されます

「このコンピュータの名前」欄に、15文字以内の英数字でコンピュータの名前を入力します。  
例) DOSPARA-PC、PC01 など  
コンピュータの説明を入力します。  
※ コンピュータの説明は省略が可能です。  
※ 後から設定することが可能です。  
入力したら [次へ] をクリックします。



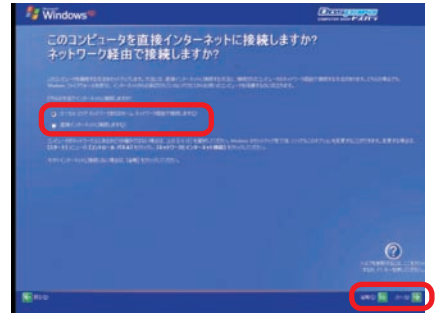
⑤ ご案内

## ⑥ ネットワーク接続の確認画面が表示されます

### ■ ネットワーク接続されている場合

「このコンピュータを直接インターネットに接続しますか? ネットワーク経由で接続しますか?」が表示されます。

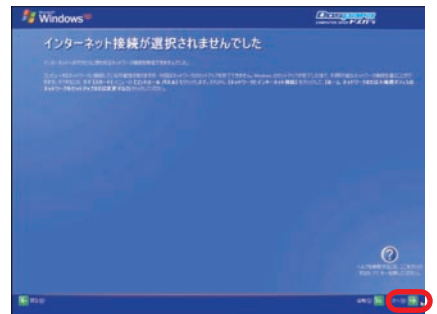
ご利用のインターネット環境を選択して、[次へ]をクリックします。後でネットワーク接続をセットアップする場合は [省略] をクリックします。



### ■ ネットワーク接続されていない場合

「インターネット接続が選択されませんでした」が表示されます。

[次へ] をクリックします。



## ⑦ 「Windows のライセンス認証の手続きを行う準備はできましたか?」が表示されます

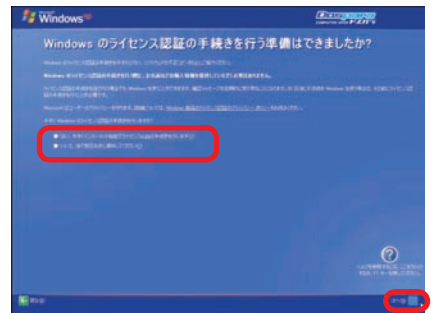
### ■ ネットワーク接続されている場合

[はい、今すぐインターネット経由でライセンス認証の手続きを行います] を選択してください。

### ■ ネットワーク接続されていない場合

[いいえ、後で数日おきに通知してください] を選択してください。

選択したら [次へ] をクリックします。



## 8 「設定が完了しました」が表示されます

[完了]をクリックします。



## 9 デスクトップ画面が表示されます

Windows XP のデスクトップ画面が表示されたらセットアップ完了です。



## 10 ライセンス認証（プロダクトアクティベーション）

Windows XP インストール完了後、必ず 30 日以内にライセンス認証(プロダクトアクティベーション)を行ってください。詳しい認証方法は、99 ページ「プロダクトアクティベーションの方法」をご参照ください。

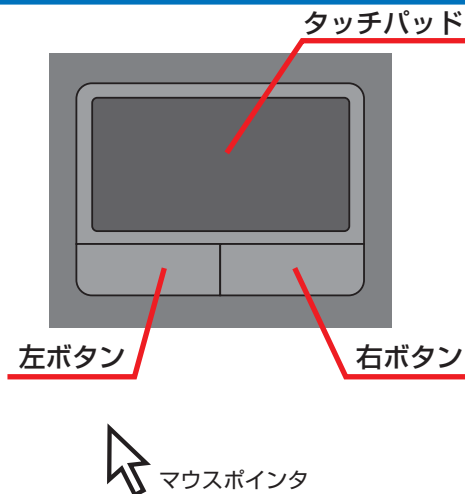
### プロダクトアクティベーションとは？

- 「Microsoft® Office」 「Windows® XP」 「Windows Vista®」 「Windows® 7」などに不正利用を防ぐ目的で導入されているライセンス認証技術です。
- Windows XP インストール後 30 日以内にライセンス認証（プロダクトアクティベーション）を行わないと Windows XP が使えなくなります。

## タッチパッドの使い方

タッチパッドはマウスの代わりにノートパソコンに搭載されている入力機器です。

場所を取らず、何処でも使用できます。下記の操作法は一例です。モデルにより操作方法が変わる場合がありますのでご了承ください。



### ポインターの操作

タッチパッドの上に指を置き移動させます。タッチパッドの端まできましたら、指を持ち上げてタッチパッドの中心に戻します。

### マウスボタン・ホイールの操作

<b>クリック [ 選択 ]</b>	マウスポインタを画面上の対象物に合わせ、左ボタンを1回カチッと押します。または、タッチパッドを1回軽くたたきます。
<b>ダブルクリック [ ソフトの起動・実行 ]</b>	マウスポインタを画面上の対象物に合わせ、左ボタンを2回カチカチッと押します。またはタッチパッドを2回軽くたたきます。
<b>右クリック [ 関連メニュー画面の表示 ]</b>	マウスポインタを画面上の対象物に合わせ、右ボタンを1回カチッと押すと関連したメニュー画面が表示されます。
<b>ドラッグアンドドロップ [ ファイルの移動など ]</b>	マウスポインタを画面上の対象物に合わせ、左ボタンをクリックし、左ボタンを押したままカーソルを目的の場所まで移動して左ボタンを離します。または、タッチパッドを2回軽くたたき指を離さず、カーソルを目的の場所まで移動して指を離します。
<b>スクロール [ 上下への移動 ]</b>	対象のウィンドウを選択し、タッチパッドの右端に指を置き上下に移動させると、選択されているウィンドウの表示が上下にスクロールします。

### タッチパッドの設定変更

マウスのプロパティを開きます。

- ・ Windows 7 / Windows Vista

[ スタートメニュー ] → [ コントロールパネル ] → [ ハードウェアとサウンド ] → [ マウス ] → [ マウスのプロパティ ]

- ・ Windows XP

[ スタートメニュー ] → [ コントロールパネル ] → [ プリントとその他のハードウェア ] → [ マウス ] → [ マウスのプロパティ ]

上のボタンタブからクリックの反応速度、ポインタオプションタブからポインタの移動速度を使いやすさに合わせて調節してください。調節が終わったら下の [OK] をクリックして設定します。

**!** 購入時の構成により上記の方法ではなく、専用の設定ソフトで設定する場合があります。

## タッチパッドの停止方法

タッチパッドを使用しない場合、動作を停止することができます。  
モデルにより停止スイッチが付いているものとソフトウェアで停止するものがあります。

**⚠** モデルによりタッチパッドの停止ができないモデルもあります。

### ■ スイッチ設定

タッチパッドのオン・オフをスイッチで変更できる機種は右図のようなスイッチが付いていたり、キーボードにスイッチが割り当てられています。



例：Fn+F9

このスイッチによりタッチパッドのオン・オフを設定します。

**⚠** キーボードにスイッチが割り当てられている場合は「Fn キー」と同時に押すことで設定をします。

### ■ ソフトウェア設定 (マウスのプロパティ)

タッチパッドのオン・オフをソフトウェア設定で変更できる機種はマウスのプロパティ設定で行います。

#### ● マウスのプロパティの表示方法

- ・ Windows Vista / Windows 7  
[スタートメニュー] → [コントロールパネル] → [ハードウェアとサウンド] → [マウス] → [マウスのプロパティ] → [デバイス設定]
- ・ Windows XP  
[スタートメニュー] → [コントロールパネル] → [プリンタとその他のハードウェア] → [マウス] → [マウスのプロパティ] → [デバイス設定]

#### ● タッチパッドの設定

タッチパッド設定用ソフトウェアには主に下記の2種類があります。

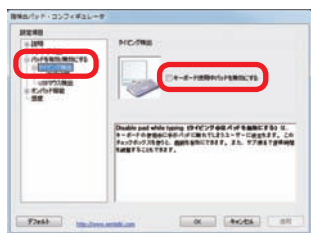
A : 「Sentelic」 設定方法

「マウスのプロパティ」で [指検出パッド] を選択して [設定する] をクリックし「指検出パッド・コンフィギュレーション」を表示します。



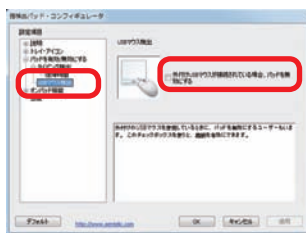
A - 1 : タイピング検出

「キーボード使用中にパッドを無効にする」にチェックを入れ [OK] をクリックします。



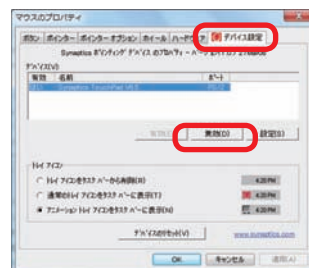
A - 2 : USB マウス検出

「外付け USB マウスが接続されている場合、パッドを無効にする」にチェックを入れ [OK] をクリックします。



B : 「Synaptics」 設定方法

- 「マウスのプロパティ」で [デバイス設定] を選択して「無効」をクリックします。



① ご利用前に

② 基本操作

③ インストール

④ 困ったときは

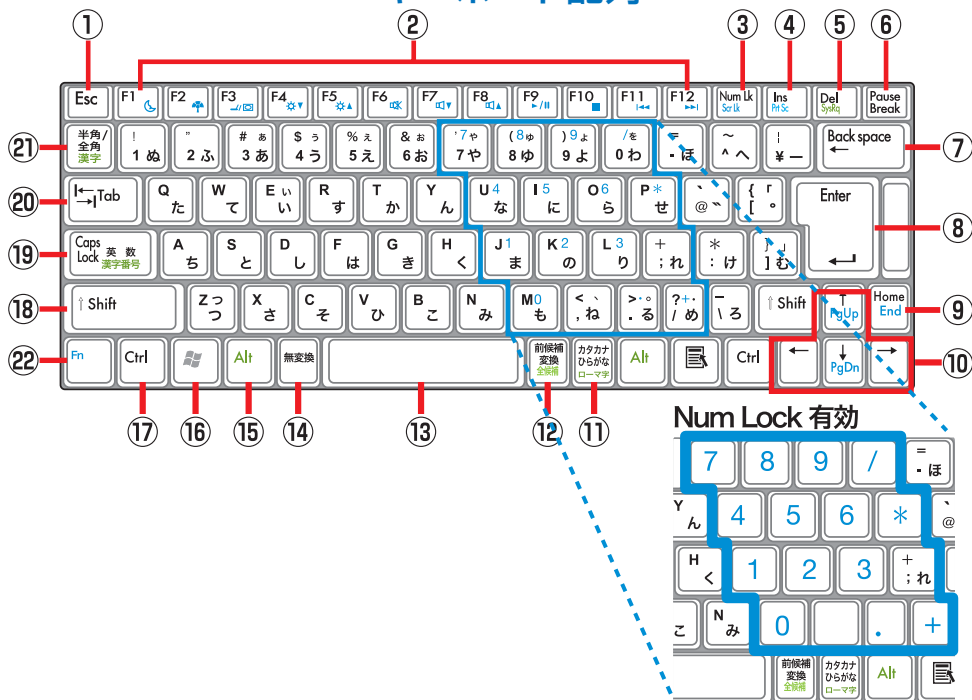
⑤ ご案内



## キーボードの使い方

ノートキーボード（日本語対応）の説明をします。  
ご購入時の構成によりキーの配置は変わりますのでご了承ください。

## キーボード配列



## [キーの名称と一般的な機能]

①	<b>ESC</b> エスケープ	現在の作業を取り消します。
②	<b>F1 ~ F12</b> エフ1 ~ 12	特定の機能が割り当てられたキーです。 ソフトにより割り当てられる機能が異なります。
③	<b>Num Lock</b> ナムロック	「Num Lock」を有効にするとアルファベットキーの一部を「テンキー入力用」に切り替えます。「Num Lock」を有効にすると図の青枠内のアルファベットキーがテンキーとして使用できます。切り替わる役割は、各キートップに一回り小さく違う色で印字されています。
④	<b>Insert</b> インサートキー	挿入モードのオンとオフを切り替えます。挿入モードがオンの場合は、入力したテキストがカーソル位置に挿入されます。挿入モードがオフの場合は、入力したテキストが既存の文字列と置き換わります。解除するには、再度 [Insert] キーを押してください。
⑤	<b>Delete</b> デリートキー	カーソルの後にある 1 文字、または選択したテキストを削除します。
⑥	<b>Pause/Break</b> ポーズブレイク	このキーは通常使用しません。
⑦	<b>Back Space</b> バックスペースキー	カーソルの直前にある文字、または選択したテキストを削除します。
⑧	<b>Enter</b> エンターキー	入力内容を確定します。次の行の先頭へカーソルを移動します。ダイアログボックスで Enter キーを押すと、強調表示されたボタンを確定できます。
⑨	<b>Home</b> ホームキー	行の先頭、または Web ページの最上部にカーソルを移動します。

# キーボード・タッチパッドの使い方

①ご利用前に

②基本操作

③インストール

④困ったときは

⑤ご案内

⑩	↑ ↓ ← → カーソルキー	カーソルや選択項目を、矢印の方向に 1 スペース分または 1 行分移動します。 あるいは、矢印の方向に Web ページをスクロールします。
⑪	カタカナ・ひらがな / ローマ字	日本語入力システムがオンのとき、Alt+「カタカナ・ひらがな / ローマ字」を押すと、 ローマ字入力とかな入力が切り替わります。Shift+「カタカナ・ひらがな / ローマ字」 押すと、カタカナモードになります。解除するには、再度「カタカナ・ひらがな / ローマ 字」キーを押します。
⑫	変換	日本語入力システムがオンのとき、入力した文字列を変換します。入力済みの文字 を指定して変換します。
⑬	スペース	空白を入力します。また、日本語入力システムがオンのとき、入力した文字列を変 換します。
⑭	無変換	日本語入力システムがオンのとき、入力した文字列を、「全角カタカナ」、「半角カタ カナ」、「全角ひらがな」に変換します。入力済みの漢字などを指定して、「全角カ タカナ」、「半角カタカナ」、「全角ひらがな」に変換します。
⑮	Alt オルトキー	他のキーと同時に押すことで、様々な機能を実行します。 参照：34 ページ Windows 共通ショートカット一覧
⑯	Ctrl コントロールキー	
⑰	Shift シフトキー	
⑱	Windows キー ウィンドウズキー	[スタート] メニューを開きます。また [Windows キー] と他のキーを同時に押す ことによって、ショートカットとして操作します。
⑲	Caps Lock キャップスロックキー	Caps Lock がオンになっているときは、アルファベットが大文字で入力されます。 [Shift] と [Caps Lock] を同時に押すことで、Caps Lock をオンにします。 [Caps Lock] をオンにすると、キーロック表示ランプの Caps Lock ランプが点灯 します。解除するには、再度 [Shift] と [Caps Lock] を同時に押してください。
⑳	Tab タブキー	文章入力時に、カーソルを一定文字数だけ前方へ移動します。 またフォームに記入する際、次のテキストボックスへ移動します。
㉑	半角 / 全角、漢字	日本語入力システムをオン・オフします。
㉒	Fn エフエヌキー	他のキーと同時に押すことで、様々な機能を実行します。 切り替わる役割は、各キートップに一回り小さく違う色で印字されています。(FN との組合で切り替わる役割や配置、シンボルマークは、ご購入時の構成により変わ ります)

## [Fn キーとの組合せと機能]



Fn+F1		スリープモードに入る	Fn+	Scr Lk (スクロールロック) : 通常使用し ません。
Fn+F2		無線LANのオン・オフ切り替え	Fn+In	PrtSc (プリントスクリーン) : 画面全体の イメージ (スクリーン ショット) がキャプ チャされ、クリップボードにコピーされます。 コピーしたイメージは、Microsoft ペイント などの描画ツールに画像として貼り付けるこ とができます。
Fn+F3		外付けディスプレイとの表示切り替え	Fn+	End (エンドキー) : 行の末尾、または Web ページの最上部にカーソルを移動します。
Fn+F4		液晶ディスプレイの明るさを下げる	Fn+ ↑	PgUp : (ページアップキー) カーソルまた はページを 1 画面上へ移動します。
Fn+F5		液晶ディスプレイの明るさを上げる	Fn+ ↓	PgDn : (ページダウンキー) カーソルまた はページを 1 画面下へ移動します。
Fn+F6		スピーカのオン / オフ切り替え		
Fn+F7		音量を下げる		
Fn+F8		音量を上げる		
Fn+F9		再生 / 一時停止		
Fn+F10		停止		
Fn+F11		前のトラック / チャプタへ		
Fn+F12		次のトラック / チャプタへ		

## Windows 共通ショートカット一覧

目的	キー操作 「+」は同時に押します。 「⇒」は連続して押します。
[スタート]メニューの表示と非表示を切り替える	Windows キー
タスクバーの通知領域にフォーカスを設定する	Windows キー + B
デスクトップを表示する	Windows キー + D
エクスプローラを開く	Windows キー + E
ファイルまたはフォルダを検索する	Windows キー + F
ネットワークドメインに接続しているときにコンピュータをロックする。または、ネットワークドメインに接続していないときにユーザーを切り替える	Windows キー + L
すべてのウィンドウを最小化する	Windows キー + M
[ファイル名を指定して実行] ダイアログ ボックスを開く	Windows キー + R
ユーティリティ マネージャを開く	Windows キー + U
Windows ヘルプを表示する	Windows キー + F1
[システムのプロパティ] ダイアログ ボックスを表示する	Windows キー + Pause/Break
最小化したウィンドウを復元する	Windows キー + Shift + M
選択した項目をコピーする	Ctrl キーを押しながら項目をドラッグ アンドドロップする
すべて選択する	Ctrl + A
コピーする	Ctrl + C
切り取り	Ctrl + X
貼り付け	Ctrl + V
元に戻す	Ctrl + Z
カーソルを前の段落の先頭に移動する	Ctrl + ↑ (上矢印)
カーソルを次の段落の先頭に移動する	Ctrl + ↓ (下矢印)
カーソルを次の単語の先頭に移動する	Ctrl + → (右矢印)
カーソルを前の単語の先頭に移動する	Ctrl + ← (左矢印)
複数の文書を同時に開くことができるプログラムで、作業中の文書を閉じる	Ctrl + F4
[スタート]メニューを表示する	Ctrl + Esc
ダイアログ内の次のタブに移動する	Ctrl + Tab
選択した項目へのショートカットを作成する	Ctrl + Shift キーを押しながら項目を ドラッグアンドドロップする
テキスト ブロックを強調表示する	Ctrl + Shift + 方向キー
ダイアログ内の前のタブに移動する	Ctrl + Shift + Tab
ウィンドウを最小化する	Alt + Space ⇒ N
ウィンドウを最大化する	Alt + Space ⇒ X
ウィンドウを元のサイズに戻す	Alt + Space ⇒ Enter
ウィンドウを閉じる	Alt + F4
ヘルプを表示する	F1
選択した項目の名前を変更する	F2
ファイルまたはフォルダを検索する	F3
マイ コンピュータまたはエクスプローラでアドレス バーの一覧を表示する	F4
作業中のウィンドウを最新の情報に更新する	F5
ウィンドウ内またはデスクトップ上の画面要素を切り替える	F6
作業中のプログラムのメニュー バーをアクティブにする	F10

注意：一部のアプリケーションにおいて使用できない場合があります。

# 画面解像度の設定

接続したディスプレイや、使いやすさに合わせて画面解像度を設定しましょう。

## Windows 7 での画面解像度設定

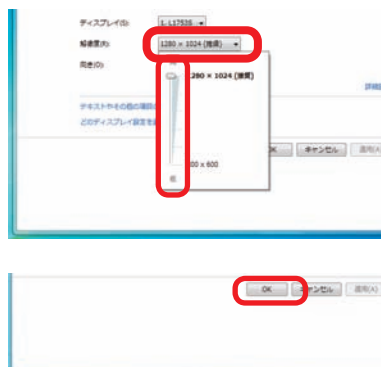
### ① 「コントロールパネル」 を選択

[スタートメニュー] → [コントロールパネル] → デスクトップのカスタマイズ内の [画面解像度の調整] を選択し「ディスプレイ表示の変更」を表示します。



### ② ディスプレイ表示の変更

[解像度] プルダウンメニューを開きつまみを上下に動かして変更します。変更が終わったら [OK] をクリックしてください。



### ③ 「ディスプレイ設定」 が表示されます

「このディスプレイ設定をそのままにしますか?」と質問が表示されるので、[変更を維持する] をクリックしてください。



## Windows Vista での画面解像度設定

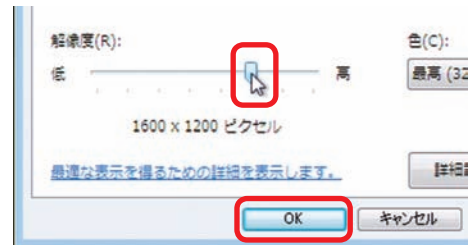
## ① 「コントロールパネル」 を選択

[スタートメニュー] → [コントロールパネル] → [デスクトップのカスタマイズ] → [個人設定] → [画面の設定] を選択し表示します。



## ② 画面解像度の変更

[解像度] のつまみを左右に動かして変更します。変更が終わったら [OK] をクリックしてください。



## ③ 「画面の設定」 が表示されます

「この画面設定をそのままにしますか?」 と質問が表示されるので、[はい] をクリックしてください。



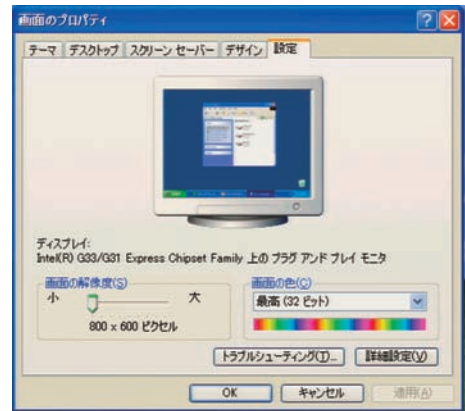
## ワンポイント

- ・解像度の変更について  
解像度は上げると表示できる領域が広がりますが、文字は小さくなります。反対に、解像度を下げると表示できる領域が小さくなりますが、文字は大きくなります。
- ・ディスプレイの最大解像度よりも大きく設定してしまい、画面が表示されなくなってしまう場合、パソコンの操作をせずに 15 秒程度待ってください。元の設定に戻り画面が表示されるので、再度設定しましょう。

## Windows XP での画面解像度設定

## ① 「コントロールパネル」 を選択

[スタートメニュー] → [コントロールパネル] → [デスクトップの表示とテーマ] → [画面] → [画面のプロパティ] → [設定] を選択し表示します。



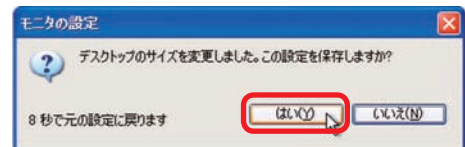
## ② 画面解像度の変更

[解像度] のつまみを左右に動かして変更します。変更が終わったら [OK] をクリックしてください。



## ③ 「モニターの設定」 が表示されます。

「この設定を保存しますか?」と質問が表示されるので、[はい] をクリックしてください。



## ワンポイント

## 液晶ディスプレイで文字がにじむ

画面解像度を使用しているディスプレイの最大解像度に設定してください。液晶ディスプレイはそのディスプレイの最大解像度で使用することが推奨されています。

推奨以外の解像度で使用すると、にじみなどの状態が見られる場合がありますので、ご注意ください。

① ご利用前に

② 基本操作

③ インストール

④ 困ったときは

⑤ ご案内

# 周辺機器の接続

各周辺機器の接続方法は、接続機器の取扱説明書を確認し作業手順に沿ってください。  
取り付け作業の一例としてプリンターの接続方法を記載いたします。

**⚠** 参考例であり、ご使用のプリンターにより作業内容が変化します。

①ご利用前に

②基本操作

③インストール

④困ったときは

⑤ご案内

## 1 必要なものを準備する

- プリンター
- ドライバー CD/DVD
- 接続ケーブル (USB ケーブル)



※製品に添付されているドライバー CD/DVD がご使用の OS に対応しているかご確認ください。

※ドライバー CD/DVD がない場合は、インターネットにて製造メーカーのホームページからドライバーをダウンロードすることもできます。

## 2 ドライバーのインストール

ドライバー CD/DVD をドライブに入れ、「SETUP.EXE」の実行または、自動再生から起動するメニューの操作に沿ってドライバーをインストールしてください。



## 3 プリンターの接続

プリンターを接続すると、デバイスが検出され接続及びドライバーのインストールが行われます。画面の手順に沿ってインストールしてください。



### ワンポイント

周辺機器によっては、ドライバーのインストール前にパソコンへ接続すると正しく動作しない場合があります。周辺機器を接続する際は付属されている取扱説明書をよく読み、正しい手順でドライバーをインストールします。

## インターネットとは

インターネットとは世界中のコンピューター同士を接続した巨大なネットワークです。インターネット上にはニュースや商品情報、サービス情報や様々な知識などの、あらゆる情報が公開されています。こうした情報はキーワードから検索することができるため、日常生活から専門分野まで幅広い知識を活用することができます。その他にメールをしたり、ショッピングをしたり、銀行振込や証券取引などを自宅に居ながら行うこともできます。また情報は見るだけでなく、掲示板やチャットでコミュニケーションをしたり、ウェブページやブログ（インターネットで公開する日記）を作ることによって、自分から情報を発信することもできます。インターネットをうまく活用して、楽しいパソコンライフを送りましょう！



## インターネットの種類

インターネットには様々な接続方法がありますので、ご利用環境に合わせて接続方法をご選択ください。

なお初めてインターネット接続される場合には回線工事が必要になりますが、建物によっては回線工事を行えない場合があります。事前に住宅管理会社などに確認をしましょう。

接続方法	通信速度	特徴
FTTH（光ファイバー）	速い	現状、一番安定して速いデータ通信が可能です。専用の光回線を引く必要があります。
ADSL	普通	電話回線を利用するためサービス提供エリアが広いです。中継局との距離が長いと、データ通信が遅くなります。
CATVインターネット	普通	ADSLに比べてデータ通信が安定しています。CATV（ケーブルテレビ）の専用線が必要です。

①ご利用前に

②基本操作

③インストール

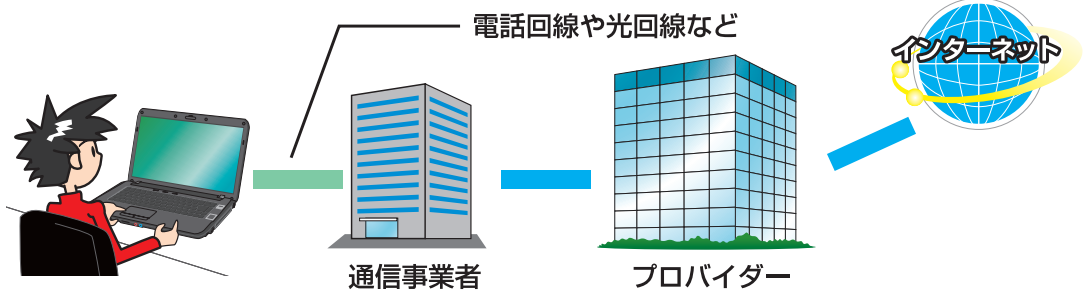
④困ったときは

⑤ご案内



## プロバイダーと契約

インターネットに接続するには、プロバイダーと契約を行いインターネット回線を開通させる必要があります。目的やご利用環境に合わせてプロバイダーと接続方法を選択しましょう。接続方法や通信速度、料金等はプロバイダーによって異なります。詳しい内容は各プロバイダーに直接お問い合わせください。



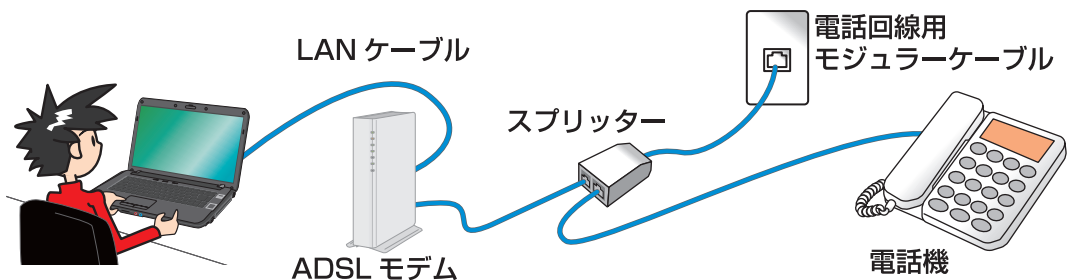
## インターネットに接続する

プロバイダーと契約すると、インターネットへの接続に必要な ID やパスワード、メールアドレスなどの設定情報と、接続手順が記載された説明書がプロバイダーより提供されます。

プロバイダーの説明書を参考に接続設定をしてください。

例：ADSL 接続

(下記の接続例は一例であり、ご契約業者により接続方法が違う場合があります)



## インターネットを使う上での注意

インターネットは便利な反面、コンピューターウイルスやスパイウェア、不正な接続によりパソコンが被害を受けたり、個人情報に盗まれてしまう場合があります。

これらに対してはセキュリティ対策を行って、自らを守る必要があります。Windows セキュリティセンターやセキュリティソフトなどを設定し、対策をしましょう。



## ワイヤレス LAN 接続時の注意

ワイヤレス LAN は電波を利用して情報のやり取りを行うので、電波の届く範囲であれば自由にインターネットに接続することができます。その反面、電波の届く範囲にいる第三者に通信内容を盗み見られたり、不正侵入されてしまう可能性があります。そのため、ワイヤレス LAN を使用する際は必ずセキュリティ対策を行いご利用ください。

セキュリティ対策については、ご使用のアクセスポイント（無線 LAN ルータ）の説明書をご確認ください。



①ご利用前に

②基本操作

③インストール

④困ったときは

⑤ご案内

## セキュリティ対策を行いましょ(アクションセンター・Windows セキュリティセンター)

アクションセンター・Windows セキュリティセンターを使い下記の対策を行います。

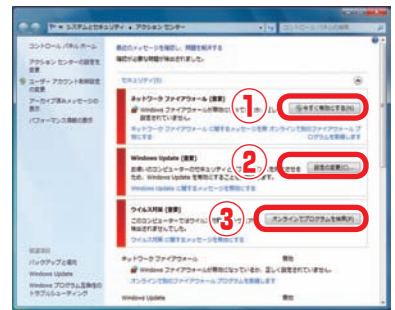
①ファイアウォール	インターネット通信を監視して、第三者の侵入を防ぎます。
②Windowsの自動更新	Windows を定期的に更新して、最新の状態に保つ機能です。
③ウイルス対策 (Windows 7、Windows XP)	スパイウェア対策ソフトウェアやアンチウイルスソフトウェアが導入されているか、また更新が最新かどうかを確認する機能です。
④マルウェア対策 (Windows Vista)	スパイウェア対策ソフトウェアやアンチウイルスソフトウェアが導入されているか、また更新が最新かどうかを確認する機能です。

アクションセンター・Windows セキュリティセンターを開き、状態を確認します。

## ● Windows 7 の場合

「アクションセンター」を開き、状態を確認します。  
[スタート]→[コントロールパネル]→[システムとセキュリティ]→[アクションセンター]を選択して表示します。各項目がすべて有効になっていれば問題ありません。有効になっていない場合は、右の写真で示される①・②・③をクリックして設定を行い有効にしてください。

右の写真は無効状態のものです。

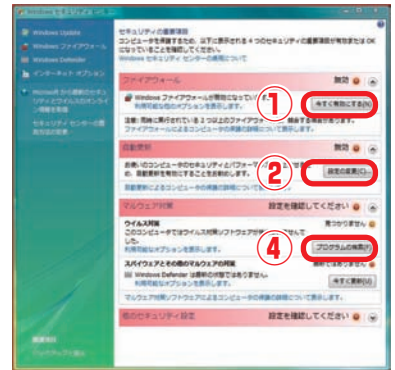


## ● Windows Vista の場合

「Windows セキュリティセンター」を開き、状態を確認します。

[スタート]→[コントロールパネル]→[セキュリティ]→[セキュリティセンター]を選択して表示します。各項目がすべて有効になっていれば問題ありません。有効になっていない場合は、右の写真で示される①・②・④をクリックして設定を行い有効にしてください。

右の写真は無効状態のものです。

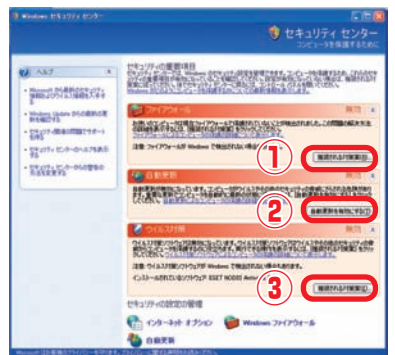


## ● Windows XP の場合

「Windows セキュリティセンター」を開き、状態を確認します。

[スタート]→[コントロールパネル]→[セキュリティ]→[セキュリティセンター]を選択して表示します。各項目がすべて有効になっていれば問題ありません。有効になっていない場合は、右の写真で示される①・②・③をクリックして設定を行い有効にしてください。

右の写真は無効状態のものです。

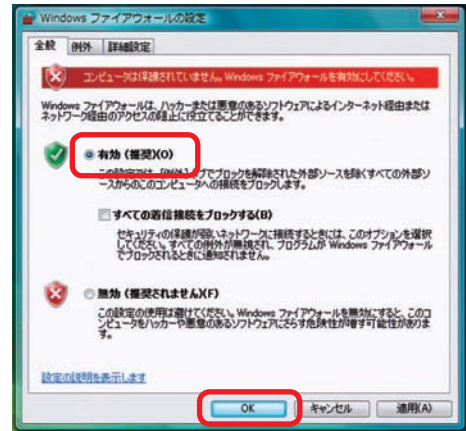


Windows 7、Windows Vista、Windows XP ともに基本的な操作法は変わりませんが、この項では例として Windows Vista でのセキュリティセンターについて説明します。

## ① ファイアウォール

P.42 の写真上①をクリックし「Windows ファイアウォールの設定」を表示します。

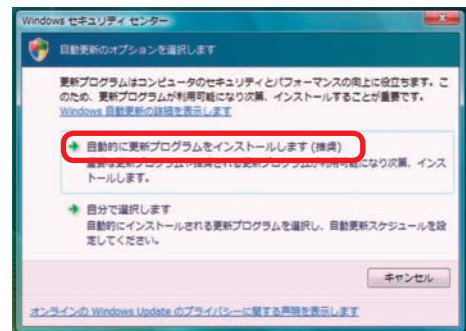
[有効 (推奨)] を選択して [OK] をクリックしてください。



## ② Windows の自動更新

P.42 の写真上②をクリックし「自動更新のオプションを選択します」を表示します。

[自動的に更新プログラムをインストールします (推奨)] を選択して [OK] をクリックしてください。



## ③・④ ウィルス対策・マルウェア対策

Windows 7、Windows Vista、Windows XP ともに、コンピューターウィルスの対策ソフトは標準では用意されていません。ウィルス感染を防ぐために、セキュリティソフトウェア (アンチウイルスソフトウェア) を導入し、対策をしましょう。

セキュリティソフトウェアには無料のフリーウェアと、販売されている製品があり、ソフトウェアによって機能が異なります。各種ソフトウェアを比較して、お客様のご利用形態に合ったものを導入して対策を行いましょう。

### ワンポイント

Microsoft でも、無料ウィルス対策ソフト「Microsoft Security Essentials」が提供されています。下記のホームページをご覧ください。

[http://www.microsoft.com/security\\_essentials/?mkt=ja-jp](http://www.microsoft.com/security_essentials/?mkt=ja-jp)

# 無線LANの設定および使用方法

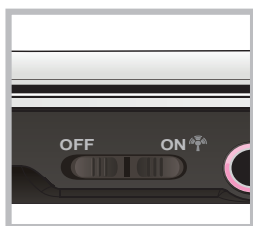
無線LANが内蔵されているノートパソコンは、「無線アクセスポイント」を準備することにより、ワイヤレスLANでインターネットに接続できます。自由に部屋の中を移動して、インターネットを楽しみましょう。

## 無線LANのON・OFF

無線LANを使用する場合は、無線LANのスイッチを入れましょう。

モデルにより、専用のスイッチが付いているものやキーボードにスイッチが割り当てられているものがあります。

無線LANを使用していないときは省電力やセキュリティのためにOFFにしましょう。



例: Fn+F2

**⚠** キーボードにスイッチが割り当てられている場合は「Fn キー」と同時に押し設定をします。

無線LANのスイッチやランプを示すマークの一例



## 無線LANの設定方法

無線LANの設定方法はドライバやソフトウェアによって変わります。ここでは、代表的な各種Windowsの標準機能を用いて接続する方法と、Intel PROSet/Wirelessを用いて接続する方法を説明します。

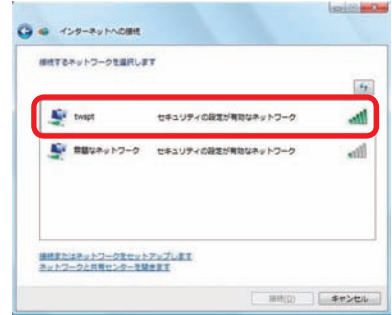
- Windows 7、Windows Vista上でWindowsの標準機能を用いて接続する : 45ページ
- Windows XP上でWindowsの標準機能を用いて接続する : 46ページ
- Windows Vista・XP共通、Intel PROSet/Wirelessを用いて接続する : 48ページ

## Windows 7、Windows Vista上でWindowsの標準機能を用いて接続する

## ① 「接続するネットワークを選択します」を表示します

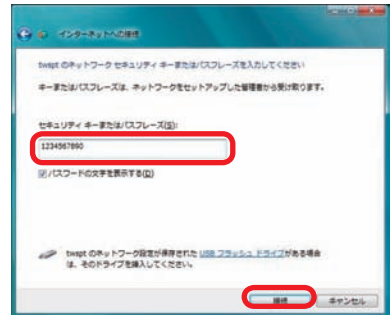
- ・[スタート]→[コントロールパネル]→[インターネットへの接続]→[ワイヤレス]を開きます。
- ・[接続するネットワークを選択します]に表示されているリストから、ご利用環境のアクセスポイントに設定されているワイヤレスネットワーク名をダブルクリックします。

⚠ 近くに別のワイヤレスネットワークがあると右記の図のように複数のワイヤレスネットワークが表示されます。間違えて他者のワイヤレスネットワークに接続しないようにしましょう。



## ② 「ネットワークセキュリティキーまたはパスワードを入力してください」が表示されます

アクセスポイント（無線LANルータ）でWEP等（暗号化キー）を設定している場合はこの画面が表示されるので、アクセスポイント側で設定したネットワークキーを入力して[接続]をクリックします。  
※[パスワードの文字を表示する]にチェックを入れ、ネットワークキーの入力確認をすれば、誤入力を防げます。



## ③ 「正しく接続しました」が表示されます

今回設定した項目を保存し、次回から自動接続を行いたい場合はそのまま[次へ]をクリックします。



## ④ 「インターネットに接続されています」が表示されます

[インターネットに接続されています]と表示されていれば無事アクセスポイントへの接続は完了です。



①ご利用前に

②基本操作

③インストール

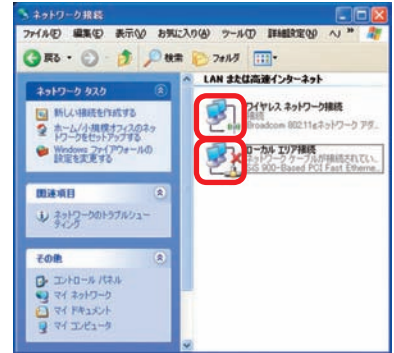
④困ったときは

⑤ご案内

## Windows XP上でWindowsの標準機能を用いて接続する

## 1 「ネットワーク接続」を表示します

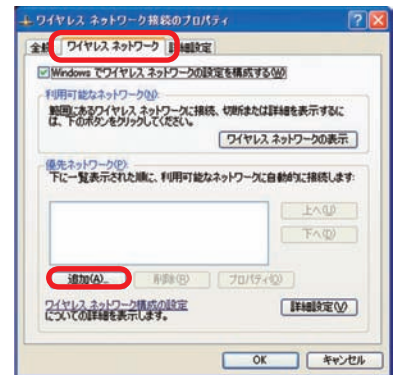
- ・[スタート]→[コントロールパネル]→[ネットワークとインターネット接続]→[ネットワーク接続]を開きます。
- ・[ワイヤレスネットワーク接続]以外の使用していないアイコンを無効にします。  
(無効にしたいアイコンを右クリックし、[無効]を選択することでその接続は無効になります。)



⚠ ここで[ネットワークブリッジ]アイコンが表示されている場合、右クリックし[削除]をクリックしてください。

## 2 「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」を表示します

- ・[ワイヤレスネットワーク接続]を右クリックしメニューを開き、[プロパティ]をクリックします。
- ・[ワイヤレスネットワーク]タブをクリックします。
- ・[追加]をクリックし「ワイヤレスネットワークのプロパティ」を表示します。

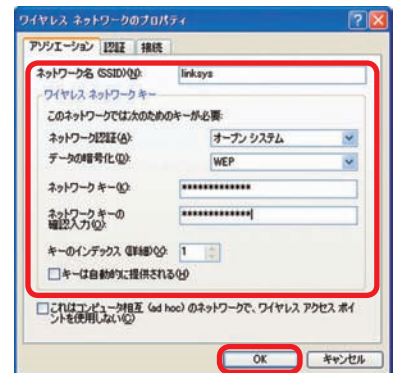


## 3 「ワイヤレスネットワークのプロパティ」が表示されます

ワイヤレスネットワークキーを設定します。

- ・ネットワーク名 (SSID) : ルーターやアクセスポイントと同じネットワーク名 (SSID)
- ・ネットワーク承認 : アクセスポイント (無線 LAN ルータ) で設定をした内容に沿って指定してください。
- ・データの暗号化 : 同上
- ・ネットワークキー : 同上
- ・ネットワークキーの確認入力 : 同上

設定が終わったら [OK] をクリックしてください。  
暗号化の設定方法は、ご使用のアクセスポイント (無線 LAN ルータ) の説明書をご確認ください。



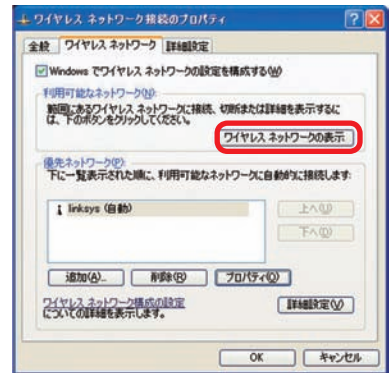
**注意** 無線 LAN を使用する際には必ずワイヤレスネットワークキーの設定を行い、ネットワークを暗号化してください。暗号化していない場合、第三者にネットワークを利用されたり、大切なデータを覗かれてしまう場合があります。暗号化以外でも下記の保護機能のあるアクセスポイント（無線 LAN ルータ）もありますので、説明書を確認し、設定の上ご利用ください。  
 MAC アドレスフィルタ：許可した ID (MAC アドレス) の端末のみ制限を許可  
 ステルス SSID：アクセスポイントの存在を隠す

①ご利用前に

②基本操作

#### 4 「ワイヤレスネットワークの表示」を表示します

[ワイヤレスネットワークの表示] をクリックします。  
 「ワイヤレスネットワークの表示」が表示されます。

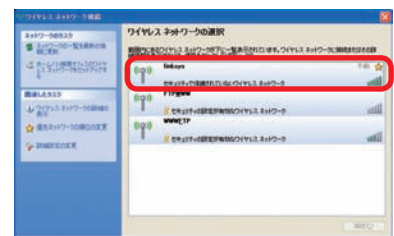


③インストール

#### 5 「ワイヤレスネットワークの選択」が表示されます

ネットワーク接続を確認します。  
 ・正常に設定が完了すると作成したワイヤレスネットワーク名が表示されるのでダブルクリックします。  
 ・「接続」が表示されれば、アクセスポイントへの接続は完了です。

**注意** 近くに別のワイヤレスネットワークがあると一緒に表示されます。誤って自分以外のワイヤレスネットワークに接続しないようにしましょう。右記の例では下の2つは、近くにある別のワイヤレスネットワークです。



④困ったときは



⑤ご案内

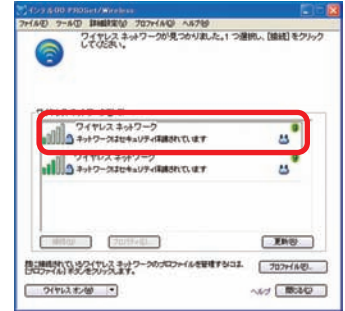


## Windows Vista・XP共通、Intel PROSet Wirelessを用いて接続する

## ① 「インテル PROSet/Wireless」 を表示します

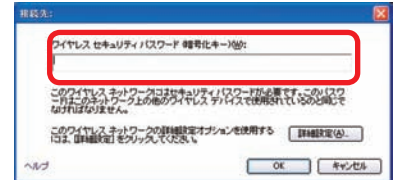
デスクトップの右下端に表示されているワイヤレス接続状態アイコンをダブルクリックし [インテル PROSet/Wireless を開く] をクリックします。

ワイヤレスネットワークリストから、自分のアクセスポイントに設定されているワイヤレスネットワーク名を選択しクリックします。



## ② 「接続先：」 が表示されます

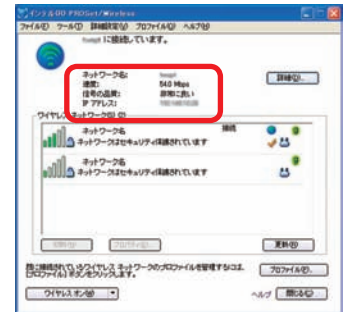
アクセスポイントで WEP 等 (暗号化キー) を設定している場合はこの画面が表示されるので、アクセスポイント側で設定したネットワークキーを入力して [OK] をクリックします。詳細設定を選択する場合は、④へ進んでください。



## ③ 「(ワイヤレスネットワーク名) に接続しています」と表示されます

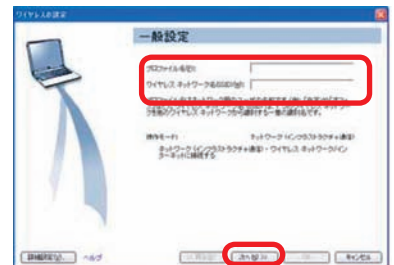
上記の表示がされればアクセスポイントへの接続は完了です。

上記 (ワイヤレスネットワーク名) にはお客様が選択された名前が表示されます。



## ④ 「一般設定」 が表示されます

②で、詳細設定をクリックした場合、一般設定が表示されるので [プロファイル名]、アクセスポイント側で設定している [ワイヤレスネットワーク名 (SSID)] を入力し、[次へ] をクリックします。



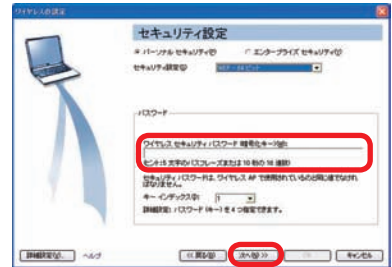
## 5 「セキュリティ設定」が表示されます

選択したワイヤレスネットワークのセキュリティを検出しています。アクセスポイントで WEP 等（暗号化キー）を設定している場合はこの画面が表示されるので [次へ] をクリックします。



## 6 入力します

個人ユーザーまたは小規模ビジネスユーザーの場合は、パーソナルセキュリティをご使用ください。アクセスポイント側で設定したセキュリティ設定、ネットワークキー等を入力して [次へ] をクリックします。



## 7 「設定済み」が表示されます

[OK] をクリックします。

これでワイヤレスネットワークへの接続がされました。



① ご利用前に

② 基本操作

③ インストール

④ 困ったときは

⑤ ご案内

## DVD ビデオの再生方法

パソコンで映画やアニメなどの DVD ビデオを見ることができます。  
例として DVD ビデオ再生ソフトの「Power DVD」の操作方法を説明します。

## DVD ビデオの再生

- 1 光学ドライブに DVD メディアを入れます
- 2 Power DVD が起動し再生が始まります

- ・「自動再生」が表示された場合

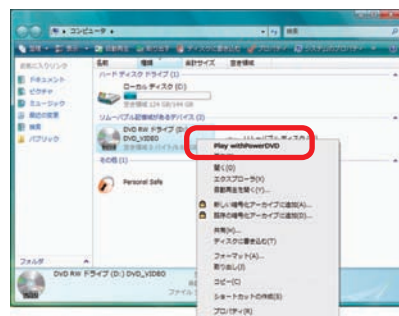
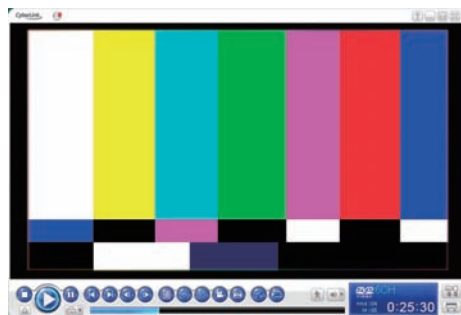
[DVD-Video タイトル再生 -Power DVD 使用] をクリックしてください。再生が始まります。

- ・何も表示されない場合

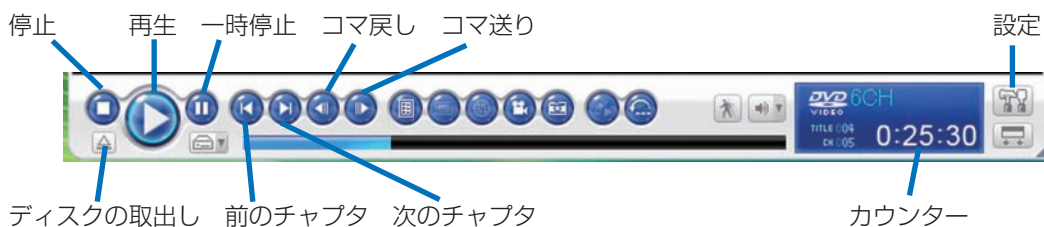
[スタート] → [コンピュータ] をクリックしてください。DVD ドライブで右クリックをして、メニューを開きます。  
メニューから [Play with Power DVD] をクリックしてください。再生が始まります。

## ワンポイント

リージョンコードとは DVD-Video の再生可能な地域を限定するコードのことです。ドライブとメディアのリージョンコードが一致しないと再生できない仕組みです。日本国内の店頭で販売されているソフトはリージョンコード 2 (日本・ヨーロッパ・南アフリカ) に指定されていますので、間違えないようにご注意ください。設定を変更することもできますが、回数に制限がありますので、変更は行わないでください。



## 操作ボタンの説明



# 光学ドライブへの書き込み方法

パソコンのデータ保存や音楽・映像メディアを作成することができます。

## データの書き込み

この項目では、データ書き込みソフト（Power2Go）を使用した、CD-R メディアへのデータの書き込み方法を説明します。

### 1 ライティングソフト（Power2Go）の起動

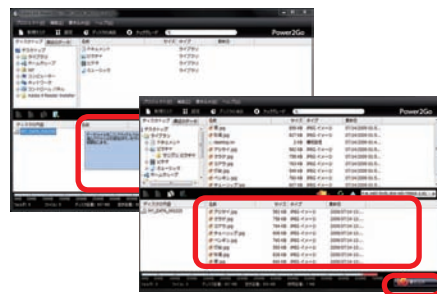
- ・[すべてのプログラム] → [Cyberlink DVD Suite] → [Power2Go] → [Power2Go] をクリックします。
- ・「ディスクユーティリティ」が表示されます。[データディスク（メディアと書類ボタン）] をクリックします。下に表示された [CD] をクリックします。



### 2 書き込むデータの選択

「Power2Go」が表示されます。

- ・使用する空の CD-R メディアを光学ドライブに入れます。
- ・書き込むデータを下段のウィンドウヘドロックアンドドロップしてください。
- ・書き込むデータの選択が終わったら、[書き込み] をクリックしてください。



### 3 書き込み設定

「設定／情報」が表示されます。

- ・コピー枚数：作成する枚数を設定します。
- ・設定完了後に [書き込み] をクリックしてください。



### 4 書き込み開始

書き込みが開始されると、書き込みのプロセス状態が表示されます。

- ・「作業が終了しました」画面が表示されたら書き込み完了です。[OK] をクリックして終了します。



**!** 購入時の構成により、今回説明した Power2Go（ライティングソフト）以外のソフトが添付されている場合もあります。それぞれの詳しい操作方法は、ソフトに付随するヘルプをご覧ください

①ご利用前に

②基本操作

③インストール

④困ったときは

⑤ご案内

万一の故障に備えて、日頃からデータ（お客様が作られた画像やファイルなど）をバックアップ（保存）しましょう。ハードウェア的な故障に限らず、Windows が起動しない等のソフトウェア的なトラブルでも、データ消失の可能性があります。

## Windows 7 でのバックアップ方法 (Windows Complete PCバックアップ)

Windows Complete PCバックアップは、OSドライブ全体や任意のドライブをバックアップすることができます。

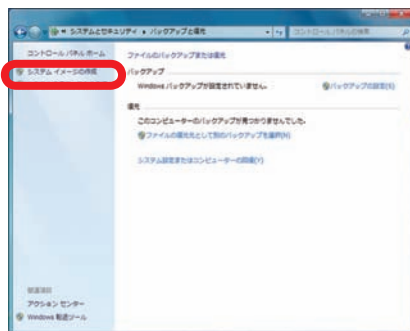
### ① 「バックアップと復元」 を起動します

[スタートメニュー] → [コントロールパネル] → [システムとセキュリティ] → [バックアップの作成] をクリックします。



### ② 「バックアップと復元」 が表示されます

「バックアップと復元」の左上にある [システムイメージの作成] をクリックします。



### ③ 「バックアップをどこに保存しますか？」 が表示されます

バックアップしたデータの保存場所を選択します。

#### ワンポイント

バックアップしたデータを C ドライブと同じハードディスクに保存した場合、ハードディスクの不具合発生時に復元できない場合があります。バックアップしたデータは、他のハードディスクやメディアに保存してください。

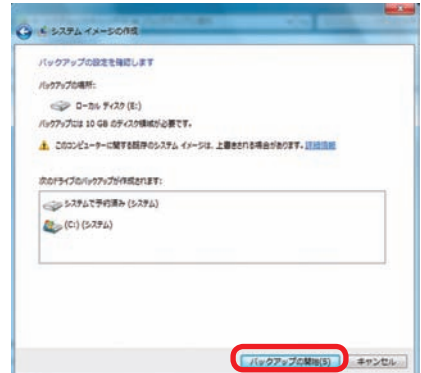


#### 4 「バックアップの設定を確認します」が表示されます

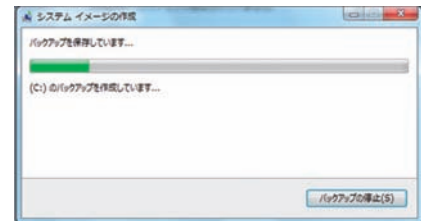
設定を確認し問題が無ければ[バックアップの開始]をクリックします。

##### ワンポイント

バックアップするドライブに「システムで予約済み(システム)」が表示されます。このドライブはWindows7のシステム用のドライブで、コンピュータでは確認できないドライブです。



「バックアップを保存しています…」が表示されバックアップが開始されます。

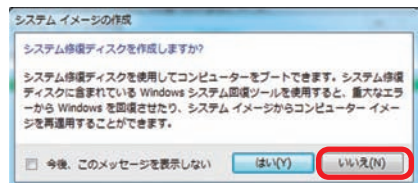


#### 5 「システム修復ディスクを作成しますか？」が表示されます

[いいえ] をクリックします。

##### ワンポイント

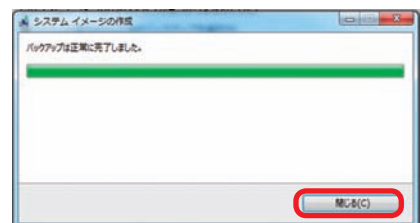
「**4**バックアップをどこに保存しますか？」でバックアップデータを「ネットワークの場所上」に指定した場合は[はい]をクリックして修復ディスクを作成してください。



#### 6 「バックアップは正常に完了しました。」が表示されます

[閉じる] をクリックします。  
これでシステムのバックアップは完了です。

バックアップメディアやストレージを大切に保管してください。



①ご利用前に

②基本操作

③インストール

④困ったときは

⑤ご案内

## Windows 7 での復元方法 (Windows Complete PCバックアップ)

①ご利用前に

②基本操作

③インストール

④困ったときは

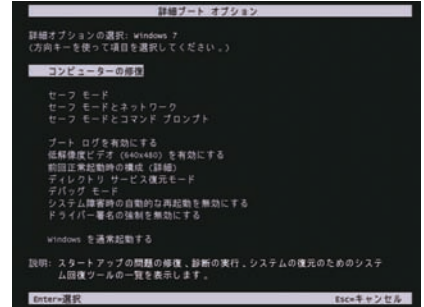
⑤ご案内

## ① 「システムの回復オプション」 を起動します

「システムの回復オプション」 を起動するには 3 つの方法があります。状況にあった方法を選択してください。

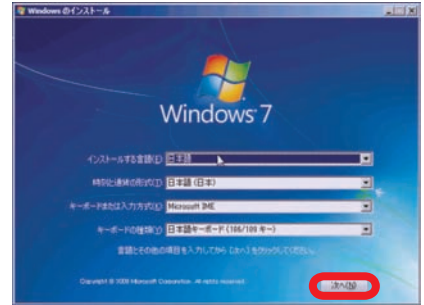
## ・詳細ブートオプションから起動

電源を入れた時に [F8 キー] を連打します。BIOS 画面のあとに「詳細ブート オプション」が表示されます。[コンピューターの修復] を選択してください。

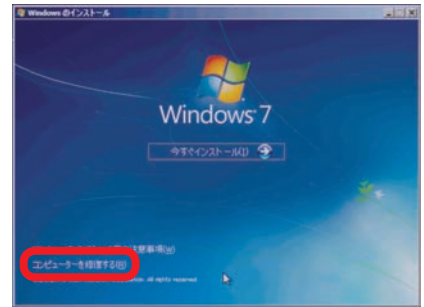


## ・Windows 7 インストールディスクから起動

ご利用される言語、時刻、キーボードの入力方法、キーボードの種類を指定して、[次へ] をクリックしてください。

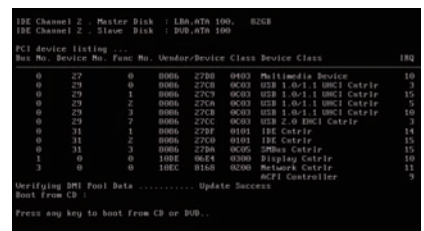


[コンピューターを修復する] をクリックします。



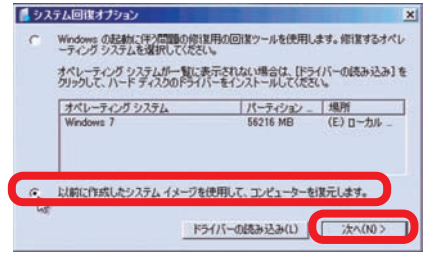
## ・システム修復ディスクから起動

- システム修復ディスクを入れた状態で電源を入れるかパソコンを再起動させます。
- パソコンが起動するまでに画面には様々な文字や数字が表示されますが、しばらく待つと画面左下に「Boot from CD」という表示が出ます。
- 数秒で「Boot from CD」の 1 行下に、「Press any key to boot from CD or DVD」(CD か DVD から起動するには、いずれかのキーを押してください) と表示されるので、Enter キーを押します。



## ② 「システムの回復オプション」が表示されます

「以前に作成したシステムイメージを使用して、コンピューターを復元します。」を選択して[次へ]をクリックします。

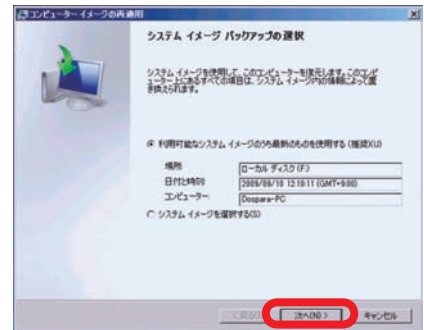


① ご利用前に

## ③ 「システムイメージバックアップの選択」が表示されます

選択されているバックアップデータに問題が無ければ[次へ]をクリックします。

変更したい場合は「システムイメージを選択する」を選択してください。

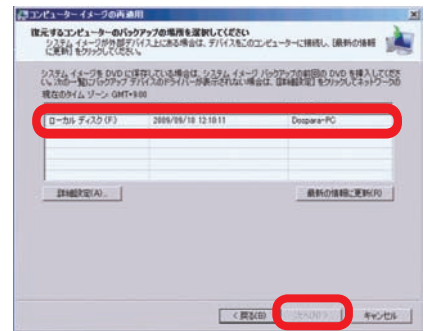


② 基本操作

## ④ 「復元するコンピューターのバックアップの場所を選択してください」が表示されます

復元するバックアップデータを選択して[次へ]をクリックします。

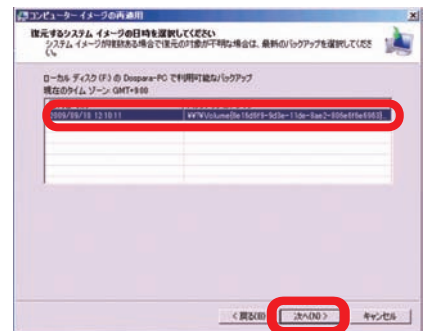
- バックアップデータがメディアや外部ストレージにある場合は接続して「最新の情報に更新」をクリックします。
- バックアップデータが「ネットワークの場所上」にある場合は「詳細設定」をクリックして、データの場所を指定してください。



③ インストール

## ⑤ 「復元するシステム イメージの日数を選択してください」が表示されます

最新の日時を選択して[次へ]をクリックします。



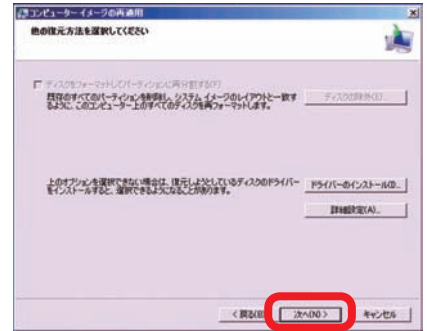
④ 困ったときは

⑤ ご案内



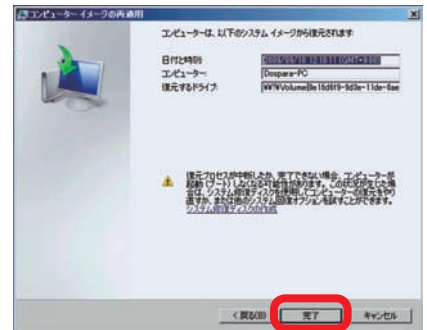
## ⑥ 「他の復元方法を選択してください」が表示されます

[次へ] をクリックします。

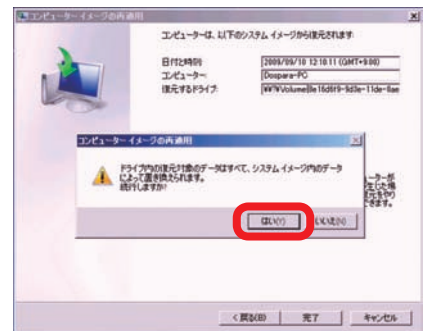


## ⑦ 「コンピューターは、以下のシステムイメージから復元されます」が表示されます

選択したバックアップデータに問題が無ければ [完了] をクリックします。



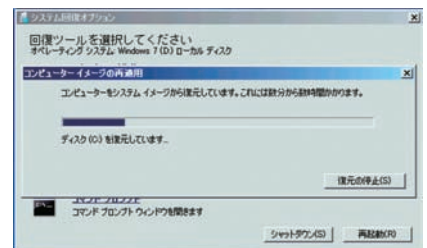
警告メッセージが表示されるので [はい] をクリックします。



## ⑧ 「コンピューターをシステムイメージから復元しています。これには数分から数時間かかります。」が表示されます

復元が開始されました。復元完了しましたらパソコンが再起動を行います。

再起動後、バックアップ対象が復元されていれば完了です。



## Windows転送ツールを使用したバックアップ方法

この項目では Windows 7、Windows Vista、Windows XP で Windows 転送ツールを使用して、Windows メール (Outlook Express) やマイドキュメントなど特定の設定とフォルダのみをバックアップ対象としています。それ以外でお客様が必要とされる設定やデータについては、別途バックアップをお願いいたします。

Windows 7 でのバックアップ方法	: 57 ページへ
Windows 7 でのバックアップ復元方法	: 60 ページへ
Windows Vista でのバックアップ方法	: 63 ページへ
Windows Vista でのバックアップ復元方法	: 65 ページへ
Windows XP でのバックアップ方法	: 68 ページへ
Windows XP でのバックアップ復元方法	: 70 ページへ

## Windows 7 でのバックアップ方法

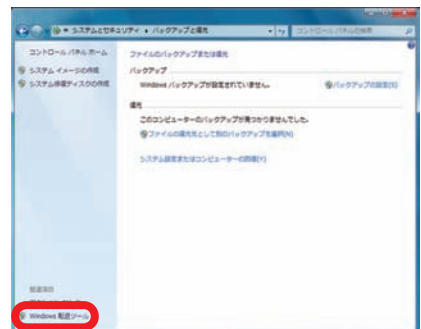
### 1 「バックアップの復元」を起動します

[スタートメニュー] → [コントロールパネル] → [システムとセキュリティ] → [バックアップの作成] をクリックします。



### 2 「バックアップの復元」が表示されます

「バックアップの復元」の左下にある [Windows 転送ツール] をクリックします。



①ご利用前に

②基本操作

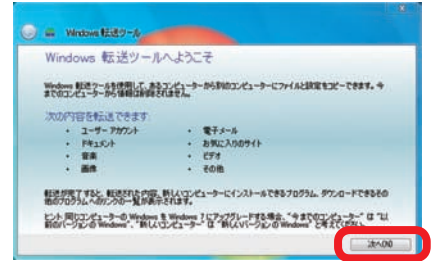
③インストール

④困ったときは

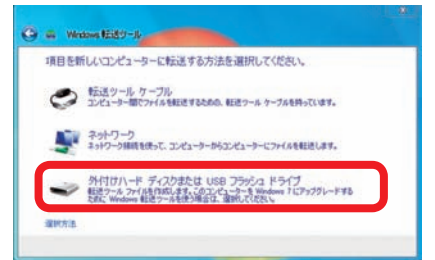
⑤ご案内

**3** 「Windows 転送ツールへようこそ」が表示されます

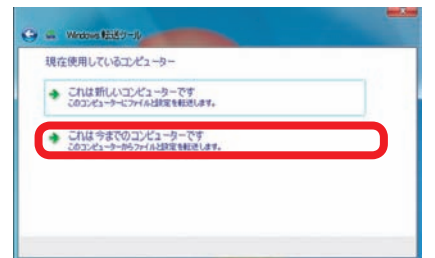
[次へ] をクリックします。

**4** 「項目を新しいコンピューターに転送する方法を選択してください。」が表示されます

[外付けハードディスクまたは、USB フラッシュドライブ] を選択します。

**5** 「現在使用しているコンピューター」が表示されます

[これは今までのコンピューターです] を選択します。

**6** 「このコンピューターから転送する内容を選択します」が表示されます

転送する項目にチェックを入れ [次へ] をクリックします。

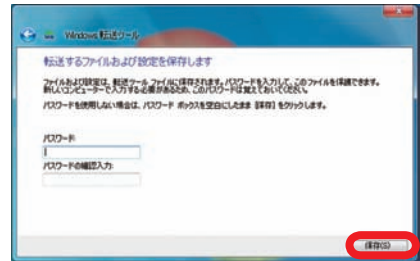
「カスタマイズ」をクリックすると、個別に項目を選択できます。



## 7 「転送するファイルおよび設定を保存します」が表示されます

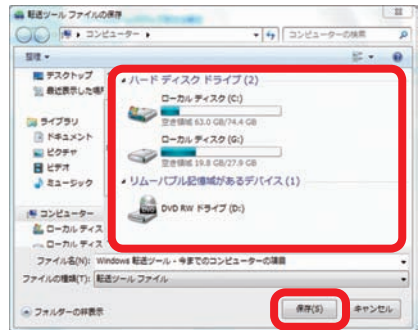
バックアップデータを保護する場合は、パスワードを入力します。

パスワードを使用しない場合は空白にしたまま [保存] をクリックします。



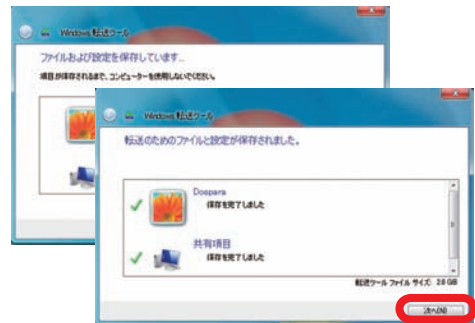
## 8 「転送ツール ファイルの保存」が表示されます

保存場所を指定して [保存] をクリックします。データの保存が開始されます。



## 9 「ファイルおよび設定を保存しています…」が表示されます

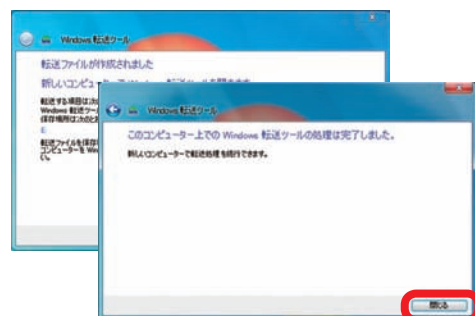
「転送のためのファイルと設定が保存されました。ファイルおよび設定を保存しています」が表示されると、バックアップファイルの作成完了です。[次へ] をクリックしてください。



## 10 「転送ファイルが作成されました」が表示されます

バックアップファイルの保存場所の確認が表示されるので書きとめてください。準備ができましたら [次へ] をクリックしてください。

「このコンピューター上での Windows 転送ツールの処理は完了しました。」が表示されます。[閉じる] をクリックします。データのバックアップが完了です。バックアップメディアやストレージを大切に保管してください。



①ご利用前に

②基本操作

③インストール

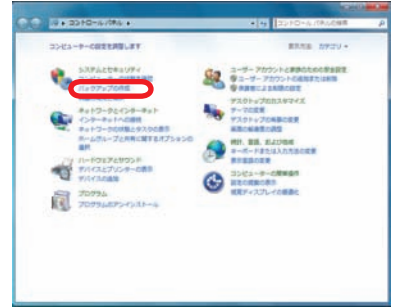
④困ったときは

⑤ご案内

## Windows 7 でのバックアップ復元方法

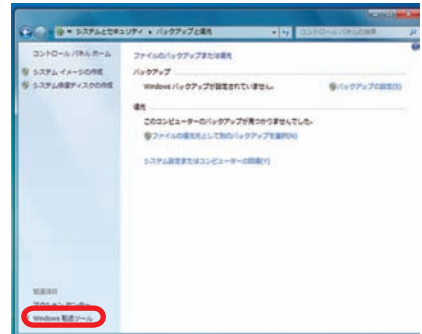
## ① 「バックアップと復元」 を起動します

[スタートメニュー] → [コントロールパネル] → [システムとセキュリティ] → [バックアップの作成] をクリックします。



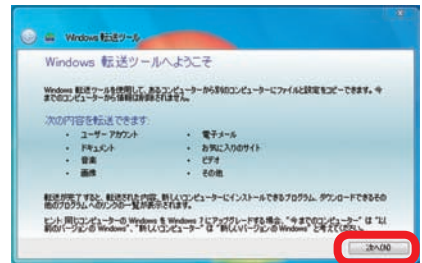
## ② 「バックアップと復元」 が表示されます

[バックアップと復元] の左下にある [Windows 転送ツール] をクリックします。



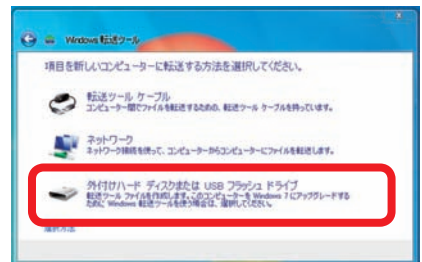
## ③ 「Windows 転送ツールへようこそ」 が表示されます

[次へ] をクリックします。



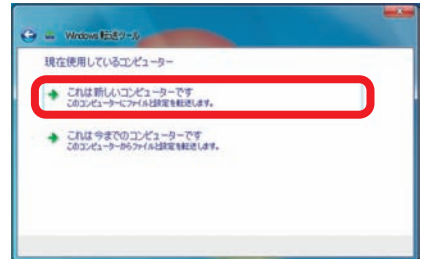
## ④ 「項目を新しいコンピューターに転送する方法を選択してください。」が表示されます

[外付けハードディスクまたは、USB フラッシュドライブ] を選択します。



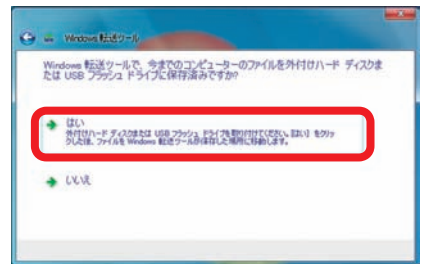
## 5 「現在使用しているコンピューター」が表示されます

「これは新しいコンピューターです」を選択します。



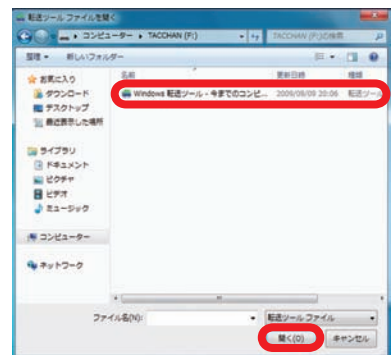
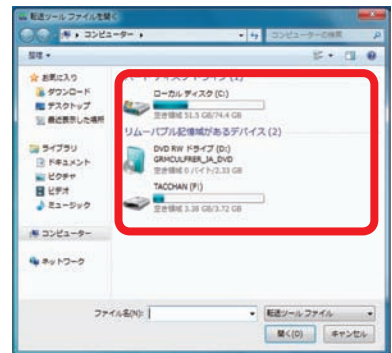
## 6 「Windows 転送ツールで、今までのコンピューターのファイルを保存済みですか？」が表示されます

「はい」を選択します。



## 7 「転送ツール ファイルを開く」が表示されます

「Windows 7 でのバックアップ方法⑧」で指定した保存先、ファイル名を指定して「開く」をクリックします。



①ご利用前に

②基本操作

③インストール

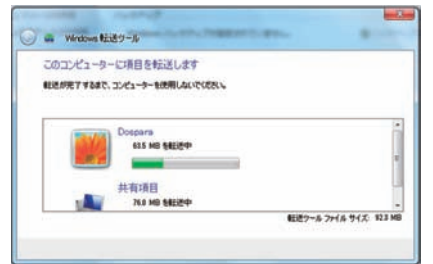
④困ったときは

⑤ご案内

## 8 「このコンピューターに転送する内容を選択します」が表示されます

転送する項目にチェックを入れ「転送」をクリックします。

「カスタマイズ」をクリックすると、個別に項目を選択できます。

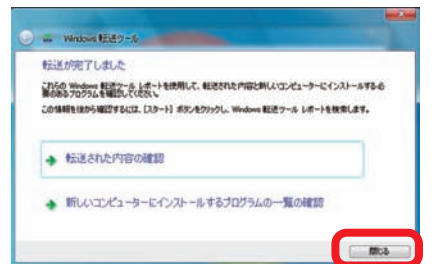


## 9 「転送が完了しました」が表示されます

「閉じる」をクリックします。

再起動を求められますので「はい」をクリックして再起動を行います。

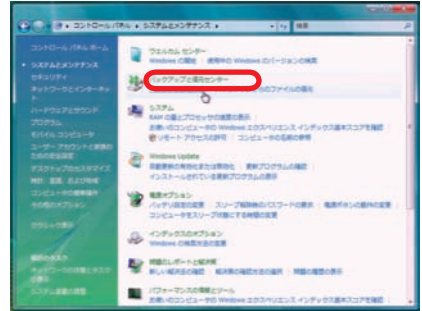
再起動後バックアップ対象が復元されていれば完了です。



## Windows Vista でのバックアップ方法

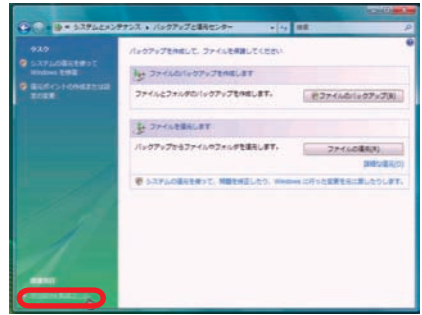
### ① 「バックアップと復元センター」を起動します

[スタートメニュー] → [コントロールパネル] → [システムとメンテナンス] → [バックアップと復元センター] をクリックします。



### ② 「バックアップと復元センター」が表示されます

「バックアップと復元センター」の左下にある「Windows 転送ツール」をクリックします。

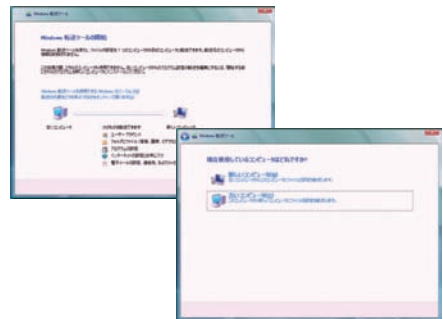


### ③ 「現在使用しているコンピュータはどれですか？」が表示されます

「Windows転送ツール」画面の「Windows転送ツールの開始」を確認し、[次へ] をクリックします。

⚠️ 2回目以降の場合「新しい転送を開始する/実行中の転送を続行する」の選択肢がでますので、「新しい転送を開始する」をクリックします。

現在使用しているコンピュータの状態が表示されます。[古いコンピュータ]を選択します。



### ④ 「新しいコンピュータにどうファイルと設定を転送するか選択してください」が表示されます

[CD、DVD、または他のリムーバブルディスクを使用する] を選択します。

ワンポイント  
今回はバックアップの保存ですが、直接他のパソコンへのデータ移行にもご利用できます。



①ご利用前に

②基本操作

③インストール

④困ったときは

⑤ご案内



## 5 「ファイルとプログラムをどう転送するかを選択してください。」が表示されます

	容量	保存性	スピード	価格
CD または DVD	×	○	×	○
USB フラッシュドライブ	△	△	○	△
外付けハードディスクまたはネットワークの場所	○	△	○	×

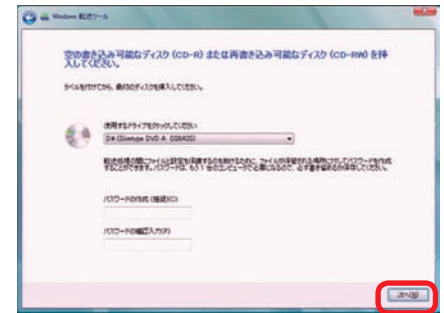
今回は [ CD または DVD ] をクリックします。



## 6 バックアップディスクの挿入を求める画面が表示されます

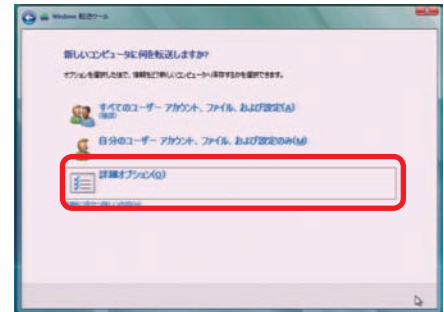
メディアを挿入して、使用するドライブを確認後に [ 次へ ] をクリックします。

バックアップデータにパスワードを設定する時は、[ パスワードの作成 / 確認 ] で指定してください。



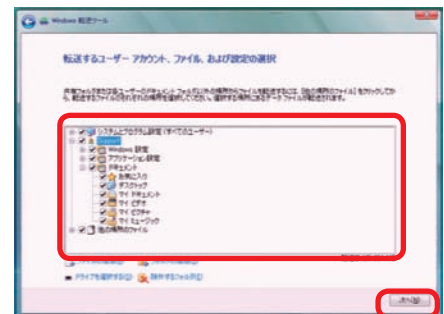
## 7 「新しいコンピュータに何を転送しますか？」が表示されます

[ 詳細オプション ] をクリックします。



## 8 「転送するユーザーアカウント、ファイル、および設定の選択」が表示されます

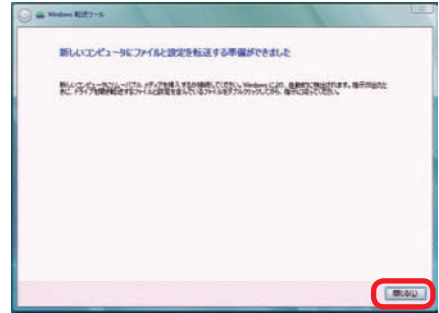
転送するデータにチェックを入れ [ 次へ ] をクリックします。データの保存が開始されます。



9 「新しいコンピュータにファイルと設定を転送する準備ができました」が表示されます

[閉じる] をクリックします。データのバックアップが完了です。

バックアップメディアやストレージを大切に保管してください。



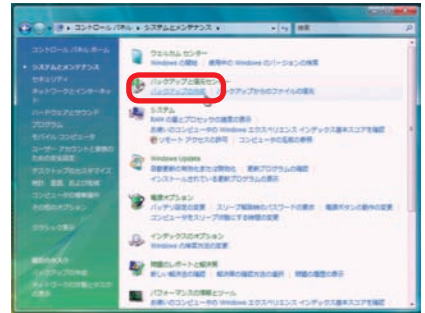
① ご利用前に

② 基本操作

Windows Vista でのバックアップ復元方法

1 「バックアップと復元センター」を起動します

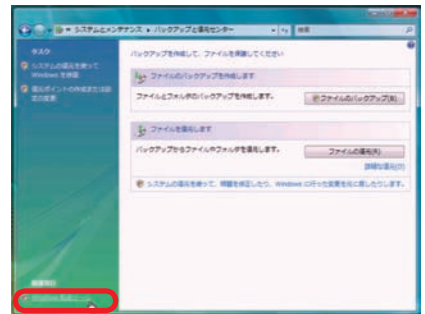
[スタートメニュー] → [コントロールパネル] → [システムとメンテナンス] → [バックアップの作成] をクリックします。



③ インストール

2 「バックアップと復元センター」が表示されます

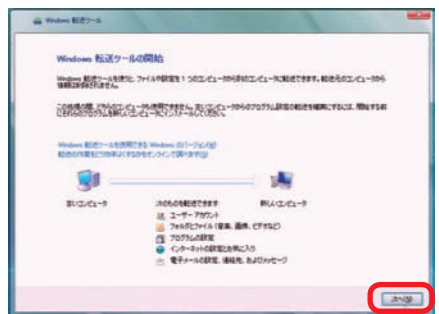
「バックアップと復元センター」の左下にある [Windows 転送ツール] をクリックします。



④ 困ったときは

3 現在使用しているコンピュータの状態が表示されます

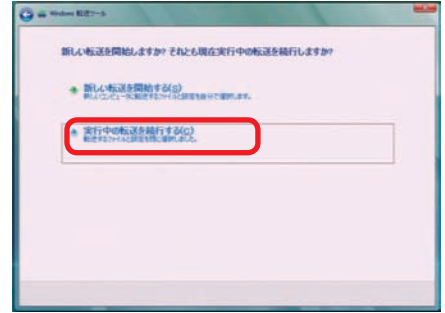
「Windows 転送ツール」画面の「Windows 転送ツールの開始」を確認し、[次へ] をクリックします。



⑤ ご案内

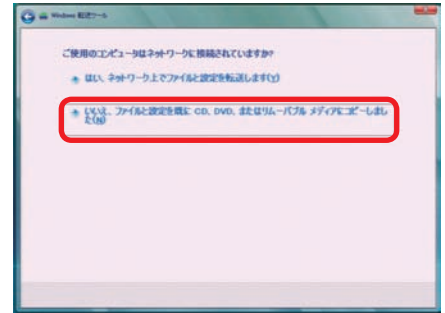
#### 4 「新しい転送を開始しますか？それとも現在実行中の転送を続行しますか？」が表示されます

[実行中の転送を続行する]をクリックします。



#### 5 「ご使用のコンピュータはネットワークに接続されていますか？」が表示されます

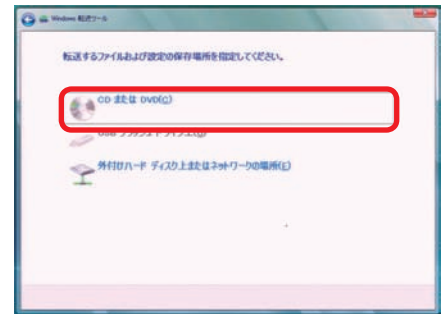
[いいえ、ファイルと設定を既に CD、DVD または リムーバブルメディアにコピーしました]をクリックします。



#### 6 「転送するファイルおよび設定の保存場所を指定してください。」が表示されます

前項でバックアップを保存したメディアやストレージを指定します。

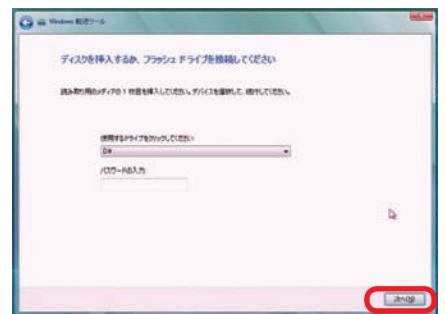
今回は [CD または DVD] をクリックします。



#### 7 「ディスクを挿入するか、フラッシュドライブを接続してください」が表示されます

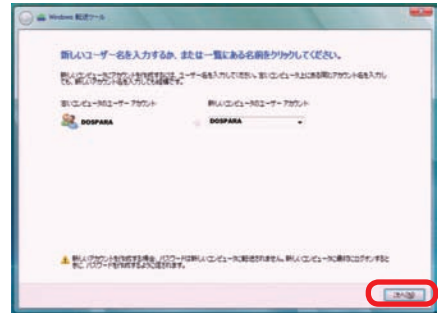
バックアップメディアを挿入して、使用するドライブを選択してください。

作業ができましたら [次へ] をクリックします。データの転送準備が開始されます。



## 8 「新しいユーザー名を入力するか、または一覧にある名前をクリックしてください」が表示されます

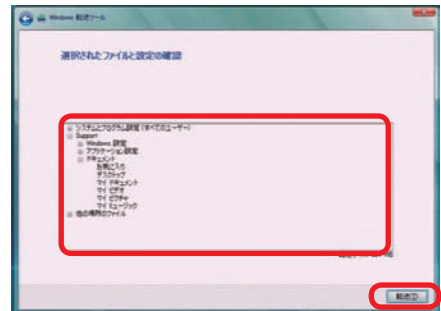
古いコンピュータのユーザーアカウントと同じユーザーアカウントを新しいコンピュータに指定して、[次へ]をクリックします。



## 9 「選択されたファイルと設定の確認」が表示されます

転送ファイルを確認して[転送]をクリックします。

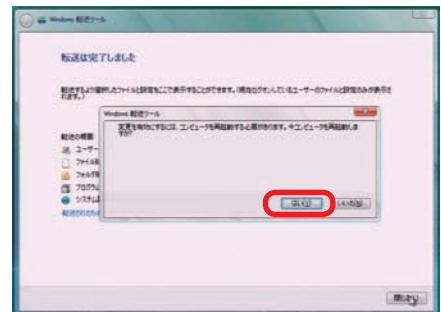
データの転送が開始されます。



## 10 「転送は完了しました」が表示されます

[閉じる]をクリックします。再起動を求められますので[はい]をクリックして再起動を行います。

再起動後バックアップ対象が復元されていれば完了です。



### ワンポイント

「Windows 転送ツール」を利用すると、Windows XPなどの別のパソコンのファイルや設定を移行することもできます。

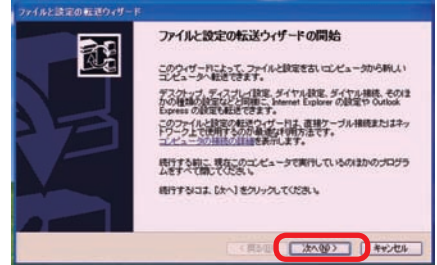
詳しくは下記マイクロソフトサポートオンラインをご覧ください。

<http://support.microsoft.com/kb/928634/ja>

## Windows XP でのバックアップ方法

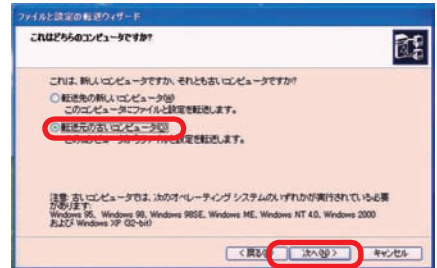
## ① ファイルの設定と転送ウィザードを起動します

[スタートメニュー] → [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [システムツール] → [ファイルと設定の転送ウィザード] を選択し、[ファイルと設定の転送ウィザードの開始] 画面が表示されたら [次へ] をクリックします。



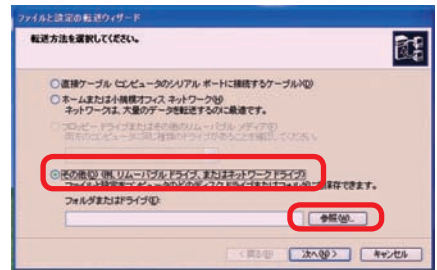
## ② 「これはどちらのコンピュータですか？」が表示されます

[転送元の古いコンピュータ] を選択し、[次へ] をクリックします。



## ③ 「転送方法を選択してください」が表示されます

[その他] を選択し、[参照] をクリックします。

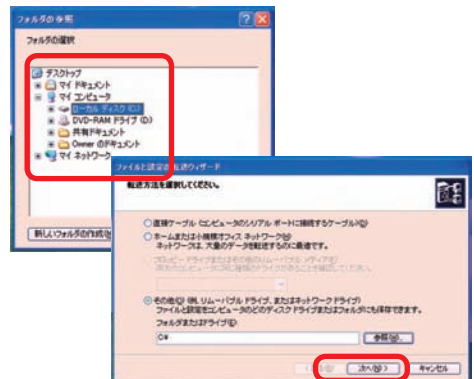


## ④ 「フォルダの参照」が表示されます

バックアップフォルダを作成するドライブを指定して、[OK] をクリックします。

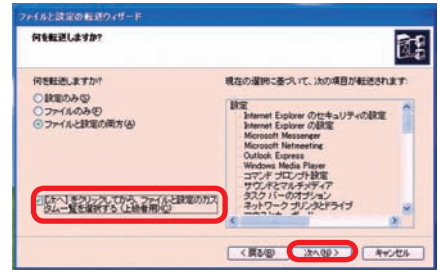
例として C ドライブに作成しますが、任意のドライブを指定することもできます。

「転送方法を選択してください」の表示へ戻ります。C ドライブが選択されていることを確認したら [次へ] をクリックします。



5 「何を転送しますか？」が表示されます

[[次へ] をクリックしてからファイルと設定のカスタム一覧を選択する] にチェックを入れて [次へ] をクリックします。

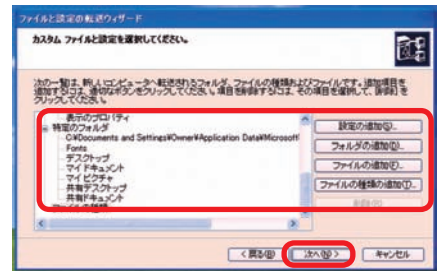


6 「カスタムファイルと設定を選択してください。」が表示されます

バックアップされる設定やファイルの種類が表示されますので良く確認してください。

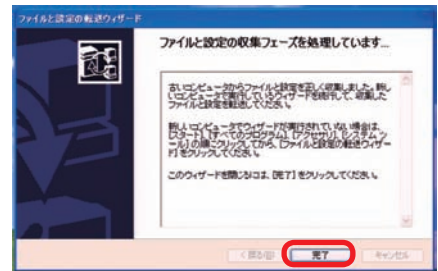
必要に応じて、バックアップする設定項目やファイルの種類、フォルダを追加します。

確認が終わったら、[次へ] をクリックします。



7 「ファイルと設定の収集フェーズを処理しています…」が表示されます

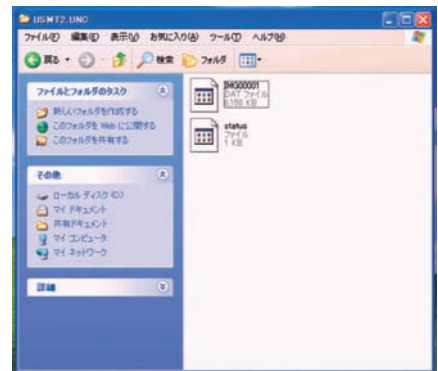
[完了] をクリックしてバックアップ完了です。



8 バックアップデータの保存

Cドライブに作成されたバックアップフォルダ「USMT2.UNC」を開くと、「IMG00001」と「status」ファイルが確認できます。IMGファイルの容量に見合ったバックアップメディア(CD-R/DVD-R/外付けHDDなど)を用意して「USMT2.UNC」フォルダ内のファイルを全て保存してください。

(IMGファイルは1ファイル2.0GBまでで、2.0GBを超えるごとにIMG00002、IMG00003と増えていきます。)



①ご利用前に

②基本操作

③インストール

④困ったときは

⑤ご案内

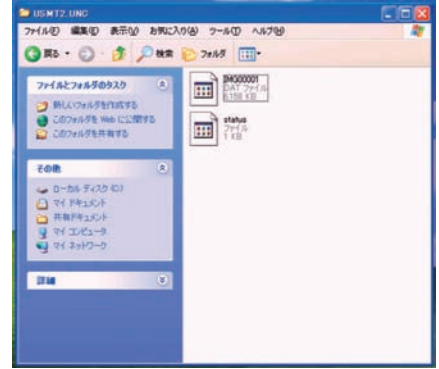
## Windows XP でのバックアップ復元方法

## ① バックアップファイルを準備します

まず、C ドライブに「USMT2.UNC」フォルダを手動で作成し、そこに前項のバックアップで保存したファイル全てをコピーします。

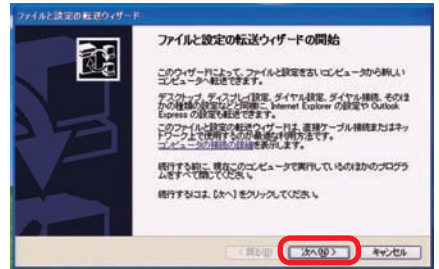
「USMT2.UNC」フォルダを作成するドライブは任意です。

分かりやすい場所を指定してください。



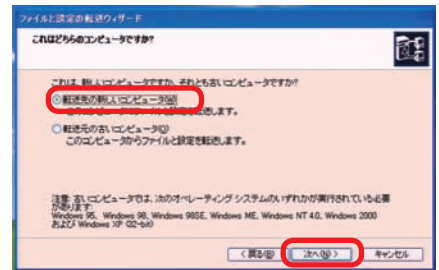
## ② 「ファイルの設定と転送ウィザード」を起動します

[スタート] → [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [システムツール] → [ファイルと設定の転送ウィザード] を選択し、[ファイルと設定の転送ウィザードの開始] 画面が表示されたら [次へ] をクリックします。



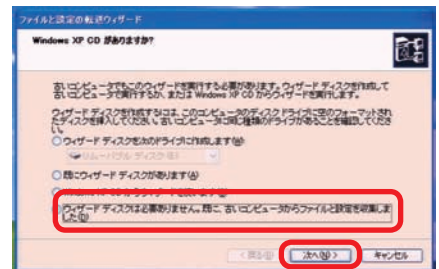
## ③ 「これはどちらのコンピュータですか？」が表示されます

[転送先の新しいコンピュータ] を選択し、[次へ] をクリックします。



## ④ 「Windows XP CD がありますか？」が表示されます

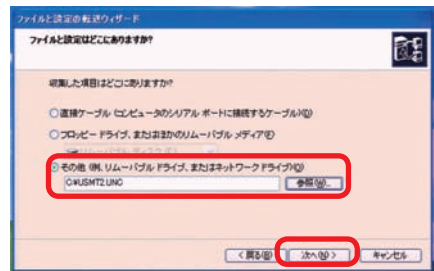
[ウィザードディスクは必要ありません。既に、古いコンピュータからファイルと設定を収集しました] を選択して、[次へ] をクリックしてください。



## 5 「ファイルと設定はどこにありますか？」が表示されます

[その他] を選択し、[参照] をクリックしてバックアップフォルダ「USMT2.UNC」を作成したドライブを指定します。

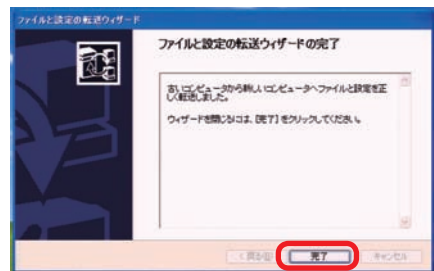
[次へ] をクリックすると復元が開始されます。



## 6 「ファイルと設定の転送ウィザードの完了」が表示されます

[完了] をクリックすると、ログオフを要求されるので [はい] をクリックしてログオフします。

ログインし直してバックアップ対象が復元されていれば完了です。



① ご利用前に

② 基本操作

③ インストール

④ 困ったときは

⑤ ご案内



# OSインストール前の準備

ご購入時に OS（オペレーティングシステム）を選択されていないパソコンには、OS はインストールされていません。BIOS POST 画面が表示されたあとそのまま時間がたちますと「Reboot and Select proper Boot device or Insert Boot Media in selected Boot device and press a key...」というメッセージが表示されますが、これはハードディスクドライブに OS がインストールされていないためです。お客様で準備されている OS をインストールすることでパソコンが使用できる状態になります。

## OS インストール前の準備

### 1 プロダクトキーの確認

- OS インストールモデルでは、本体に貼り付けてあるシールに 25 桁の英数字で記載されています。
- 別途 DSP 版の OS をご用意されている場合、プロダクトキーはパッケージの裏面、または包装フィルムに貼られているシールに 25 桁の英数字で記載されています。
- 製品版は CD ケースに貼られているシールに 25 桁の英数字で記載されています。
- プロダクトキーシールは再発行できませんので大切に保管してください。

### 2 外付ハードディスクやプリンター、WEB カメラなどの周辺機器は外して OS インストールしてください

USB 機器やその他の周辺機器を接続したままインストールすると時間がかかる場合や、インストールに失敗するなどのトラブルの原因となる場合があります。事故防止のため、USB 機器やその他の周辺機器を取り外す時は必ず本体の電源を切ってから行ってください。

### 3 外付ハードディスクやプリンター、WEB カメラなどの周辺機器の設定は、OS インストール後に行います

OS インストール後に各種周辺機器を接続して設定を行います。また、ご使用の Windows に対応しているか確認しドライバーソフトが必要な場合には、あらかじめご用意ください。各種 OS への対応状況については、各製品のメーカーにお問い合わせください。

参考 製品により、Windows 標準のドライバーソフトで動作する場合があります。

### 4 Prime リカバリ搭載モデルの確認

Prime リカバリ搭載モデルをご使用の方は、106 ページ「Prime リカバリ」をご参照ください。



ご使用のモデルが Prime リカバリ搭載モデルか解らない場合、下記の方法で確認をしてください。

Windows 7 : 108 ページ「Prime リカバリ」を参照して項目④の「Prime リカバリ ユーティリティ」が表示されるか確認をしてください。

Windows Vista: 107 ページ「Prime リカバリ」を参照して項目①の「コンピュータの修復」が表示されるか確認をしてください。

## 5 パソコンの BIOS の設定を DVD/CD-ROM から起動できるようにしておく必要があります

弊社で販売しているパソコンは、標準設定で DVD/CD-ROM から起動できるようになっています。

### インストール前の準備が整ったら

インストール前の準備が整ったら、今回実行するインストール作業を確認し、指定ページをご参照ください。

#### ■ OS がインストールされていない方は

Windows 7 のインストール	: 74 ページへ
Windows Vista のインストール	: 82 ページへ
Windows XP のインストール	: 90 ページへ

OS インストールを行いパソコンを使用できる状態にします。  
また、お客様にてインストール作業が難しい場合には、弊社において有償にて OS インストールの作業代行を承っております。詳しくは裏表紙のサポート料金表をご覧ください。

#### ■ ご購入時の状態に戻したい方は

Windows 7 の再インストール	: 100 ページへ
Windows Vista の再インストール	: 102 ページへ
Windows XP の再インストール	: 104 ページへ

再インストールを行うことによって、以前にインストールされているプログラム、データ ファイル、およびパソコンの設定等は削除され初期のインストール状態に戻ります。  
(ハードディスク内にあるデータは全て削除されます。必要なデータは、事前にバックアップを取ってからインストールを行ってください)

#### ■ ご使用の OS が うまく動かなくなった方は

Windows 7 のスタートアップ修復	: 110 ページへ
Windows Vista のスタートアップ修復	: 112 ページへ
Windows XP の修復インストール	: 114 ページへ

修復インストールを実行することによって、インストールされたプログラム、データファイル、およびパソコンの設定を保存したまま、OS を正常に起動できるようになります。

**⚠** Prime リカバリ搭載モデルをご使用の方は上記のインストール操作を行うと、リカバリができなくなります。Prime リカバリ搭載モデルをご使用の場合は、106 ページ「Prime リカバリ」をご参照ください。

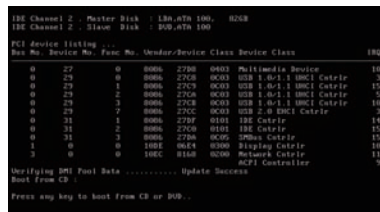
# Windows 7のインストール

## ① Windows 7 インストールメディアを入れた状態で電源を入れるかパソコンを再起動させます

無事にインストールメディアから起動できると、「Windows is loading files...」が表示され、下にステータスバーが表示されます。もし起動できなかった場合はインストールメディアを入れたまま再起動させます。

※ Prime パソコンの構成によっては上記の方法で自動 CD ブート（起動）ができない場合があります。起動できない場合は、手動で CD ブートを行います。

- インストールメディアを入れた状態で電源を入れるかパソコンを再起動させます。
- パソコンが起動するまでに画面には様々な文字や数字が表示されますが、しばらく待つと画面左下に「Boot from CD」という表示が出ます。
- 数秒で「Boot from CD」の 1 行下に、「Press any key to boot from CD or DVD」（CD か DVD から起動するには、いずれかのキーを押してください）と表示されるので、Enter キーを押します。



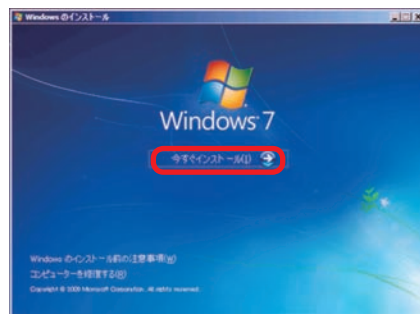
## ② しばらくすると「Windows のインストール」が表示されます

言語、時刻、キーボードの入力方法などを指定して [次へ] をクリックします。



## ③ Windows 7 ロゴが表示されます

[今すぐインストール] をクリックします。



#### 4 「開始しています」が表示されます

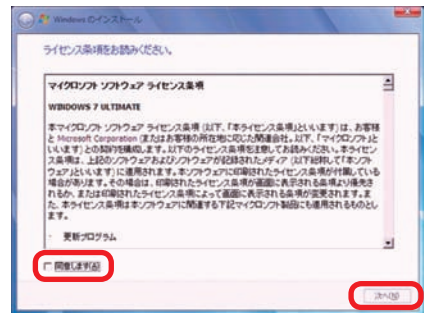
しばらくすると、画面が変わります。



#### 5 「マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項」が表示されます

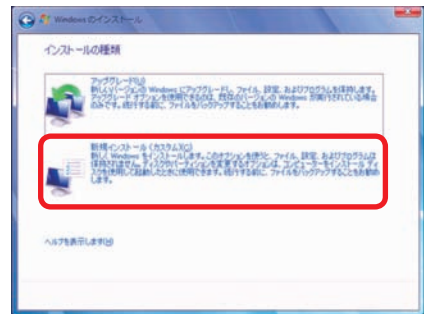
マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項を確認し、[同意します]のチェックボックスをクリックしてチェックを入れます。

チェックを入れたら[次へ]をクリックします。



#### 6 「インストールの種類」が表示されます

[新規インストール (カスタム)] を選択します。



① ご利用前に

② 基本操作

③ インストール

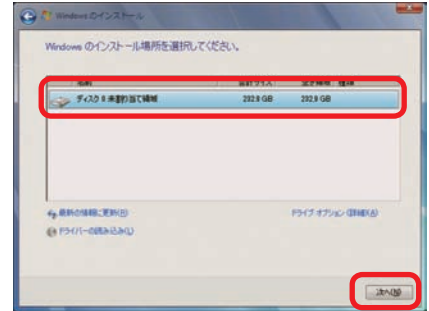
④ 困ったときは

⑤ ご案内

## 7 「Windows のインストール場所を選択してください。」が表示されます

### 7-1 ドライブ全体を1つのパーティションとしてインストールする場合

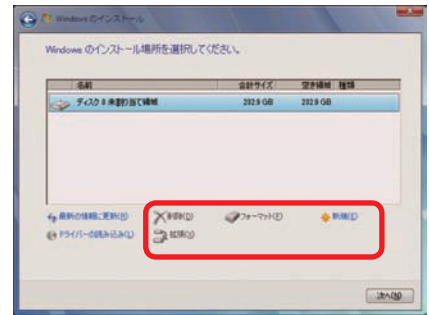
Windows をインストールするドライブの未割り当て領域を選択して[次へ]をクリックします。



### 7-2 複数のパーティションに分割してインストールする場合

[ドライブオプション (詳細)] をクリックすると、[削除] [フォーマット] [新規] [拡張] が表示されます。

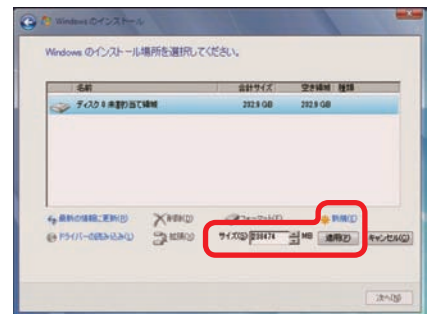
**!** パーティションの削除やフォーマットを行うと既存のデータは消去されるのでご注意ください。



[新規] をクリックすると「サイズ」が表示されます。

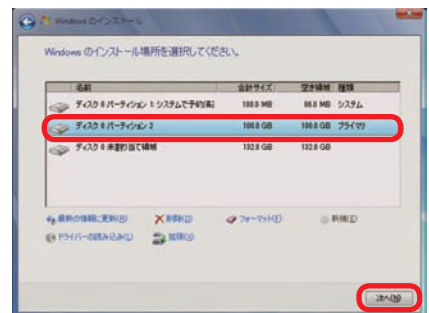
パーティションのサイズを指定して [適用] をクリックします。

パーティションの削除方法は、101 ページ「Windows 7 の再インストール②」をご参照ください。



分割したパーティションが表示されます。更に分割する場合は、未割り当て領域を選択し [新規] をクリックして、上記の作業を繰り返します。

パーティション分割が完了したら、Windows をインストールするパーティションを選択して [次へ] をクリックします。



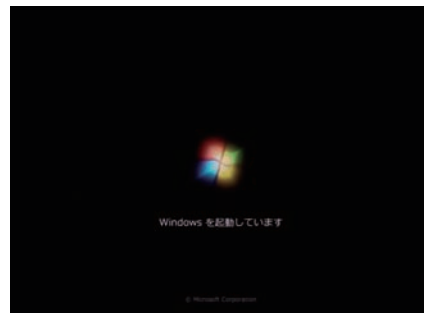
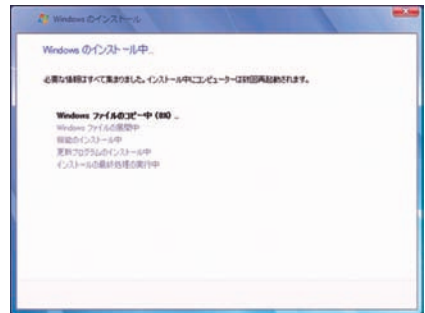
**!** 「システムで予約済み (100MB)」のパーティションが作られる場合がありますが、Windows 7 のシステムに必要な領域です。

## 8 「Windows のインストール中…」が表示されます

インストール用ファイルをハードディスクにコピーします。

ファイルの展開、機能のインストール、更新プログラムのインストールと始まりしばらくすると、「コンピューターを再起動した後、セットアップを続行します」と表示され、再起動が開始されます。

再起動時は DVD-ROM から起動せず、ハードディスクから起動してください。



## 9 「新しいアカウントのユーザー名と、コンピューターをネットワーク上で識別するためのコンピューター名を入力してください。」が表示されます

例を参考にユーザー名とコンピューター名を入力し [次へ] をクリックします。

※ユーザー名、コンピューター名には日本語も使用できます。



① ご利用前に

② 基本操作

③ インストール

④ 困ったときは

⑤ ご案内

## ⑩ 「ユーザーアカウントのパスワードを設定します」が表示されます

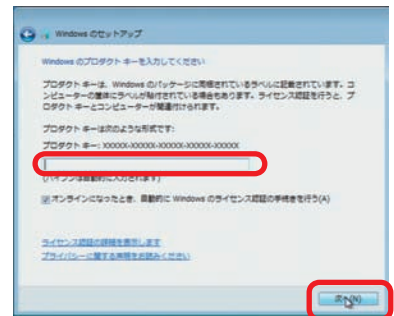
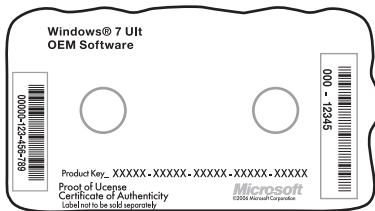
パスワードを入力します。パスワードの入力は間違えないように同じ文字列を2回入力します。次に、パスワードのヒントを入力します。パスワードを忘れた際に、表示されるヒントを入力します。その後[次へ]をクリックします。

※パスワードは未入力でも先に進めます(後から設定することが可能です)。



## ⑪ 「Windows のプロダクトキーを入力してください」が表示されます

プロダクトキーを入力して[次へ]をクリックします。

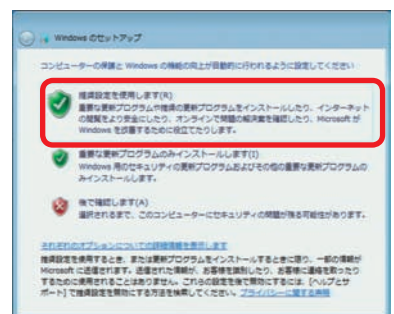


- 別途 DSP 版の OS をご用意されている場合はパッケージの裏面または、包装フィルムに貼られているシールに 25 桁の英数字で記載されています。
- OS インストールモデルでは本体に貼り付けてあるシールに 25 桁の英数字で記載されています。(貼付位置は 17 ページ「COA ラベル貼付場所の確認」をご覧ください)

## ⑫ 「コンピューターの保護と Windows の機能の向上が自動的に行われるように設定してください」が表示されます

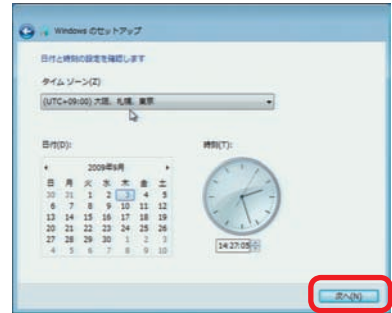
[ 推奨設定を使用します ] をクリックします。

※推奨設定以外でも先に進むことはできます。それぞれの内容は画面の [それぞれのオプションについて詳細情報を表示します] をクリックし、確認してください。



### 13 「日付と時刻の設定を確認します」が表示されます

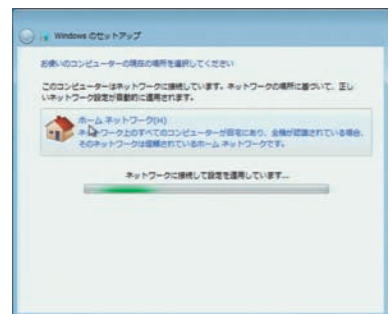
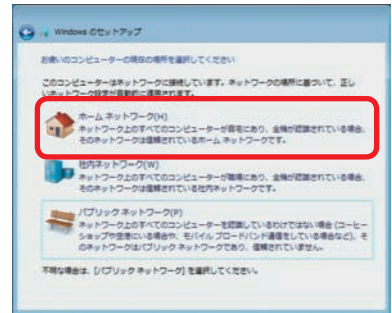
「タイムゾーン」「日付」「時刻」が違う場合には、修正した後 [次へ] をクリックします。



### 14 「お使いのコンピューターの現在の場所を選択してください」が表示されます

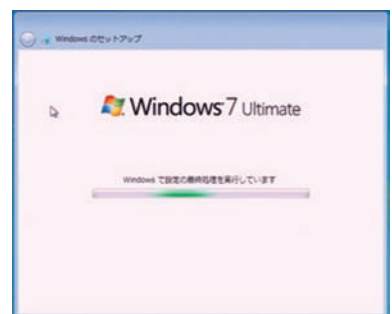
OS をインストールしているパソコンを主に使用する場所を選択してください。

自宅で使用の場合 [ホームネットワーク] をクリックしてください。



### 15 「Windows で設定の最終処理を実行しています」が表示されます

以上の設定で作業完了です。最終処理が完了すると自動で再起動が行われます。



①ご利用前に

②基本操作

③インストール

④困ったときは

⑤ご案内



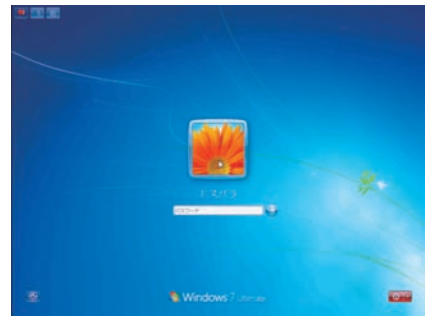
## 16 これで Windows 7 のインストールは完了しました

必ず 30 日以内に「スタートメニュー」→「コンピューター」→ツールバーの「システムのプロパティ」を起動して、[自動ライセンス認証が始まるまで\*\*日です。今すぐ行う場合にはここをクリックしてください]をクリックし、ライセンス認証（プロダクトアクティベーション）を行ってください。

※ 30 日を経過すると Windows 7 にログインできなくなります。ライセンス認証を行うとログインができるようになります。

2 回目以降の起動時に、パスワード入力画面が表示されます。⑩にて入力したパスワードを入力し、Enter を押してください。

※パスワード未入力の場合は表示されません。



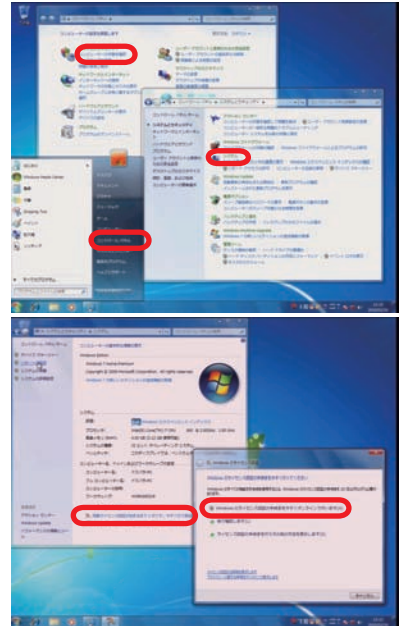
### プロダクトアクティベーションとは？

- 「Microsoft® Office」「Windows® XP」「Windows Vista®」「Windows® 7」などに不正利用を防ぐ目的で導入されているライセンス認証技術です。
- Windows インストール後 30 日以内にライセンス認証（プロダクトアクティベーション）を行わないと機能制限モードに切り替わります。
- ライセンス認証後でも「120 日以内に 10 種類の識別パーツ（CPU、メモリ、ハードディスク、ビデオカード、CD/DVD-ROM ドライブ、LAN カード、SCSI カードなど）が大幅に変更された場合」は再度ライセンス認証が必要になります。

## Windows 7 プロダクトアクティベーションの方法

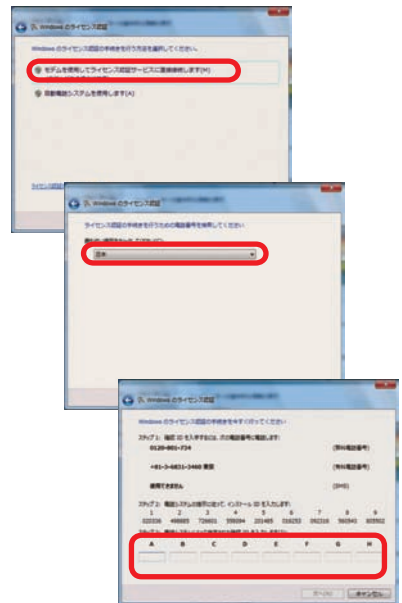
## ● インターネットに接続できる場合はインターネット経由で認証手続きを行います。

- ▼ Windows 7 を起動し、インターネットに接続できる状態で画面左下 [ スタートメニュー ] → [ コントロールパネル ] → [ システムとセキュリティ ] → [ システム ] を起動して、下の段の [ Windows のライセンス認証を XX 日以内に行ってください。今すぐ行う場合にはここをクリックしてください。 ] をクリックします。
- ▼ 「Windows のライセンス認証」の画面が表示されるので、[ Windows のライセンス認証の手続きを今すぐオンラインで行います ] をクリックします。
- ▼ 以降は画面の手順に沿って認証手続きを進めてください。



## ● インターネットに接続できない場合は電話で認証手続きを行います。

- ▼ 「Windows のライセンス認証」の画面までは上記と同じ手順で進めた後、[ ライセンス認証の手続きを行うその他の方法を表示します ] をクリックします。
- ▼ [ 自動電話システムでライセンス認証をします ] をクリックします。
- ▼ 「最も近い場所をクリックしてください」で [ 日本 ] を選択し [ 次へ ] をクリックします。( [ 日本 ] は一覧の下部の方にあります )
- ▼ 表示されている電話番号に電話をします。
- ▼ 「インストール ID」を確認して進めます。
- ▼ ライセンス認証専用窓口から受け取った「確認 ID」を入力して [ 次へ ] をクリックします。
- ▼ 以降は画面の手順に沿って認証手続きを進めてください。



①ご利用前に

②基本操作

③インストール

④困ったときは

⑤ご案内

詳しくはマイクロソフトのホームページをご覧ください。

<http://windows.microsoft.com/ja-JP/windows7/Activate-Windows-on-this-computer>

## ① Windows Vista インストールメディアを入れた状態で電源を入れるかパソコンを再起動させます

無事にインストールメディアから起動できると、「Windows is loading files...」が表示され、下にステータスバーが表示されます。もし起動できなかった場合はインストールメディアを入れたまま再起動させます。

※ Prime パソコンの構成によっては上記の方法で自動 CD ブート（起動）ができない場合があります。起動できない場合は、手動で CD ブートを行います。

- インストールメディアを入れた状態で電源を入れるかパソコンを再起動させます。
- パソコンが起動するまでに画面には様々な文字や数字が表示されますが、しばらく待つと画面左下に「Boot from CD」という表示が出ます。
- 数秒で「Boot from CD」の 1 行下に、「Press any key to boot from CD or DVD」（CD か DVD から起動するには、いずれかのキーを押してください）と表示されるので、Enter キーを押します。

```

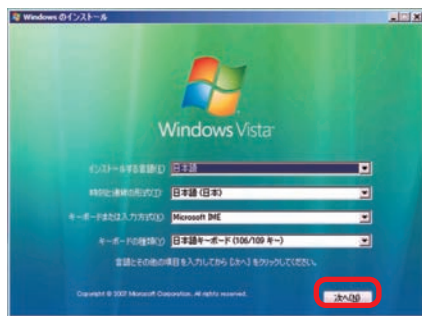
IDE Channel 2 - Master Disk : LBA,ATA 100, 82GB
IDE Channel 2 - Slave Disk : P0P,ATA 100

PCI device listing ...
Bus No. Device No. Func. No. Vendor/Device Class Device Class
0 27 0 0006 2700 0403 Multimedia Device
0 29 0 0006 2700 0403 USB 1.0/1.1 UHCI Contr
0 29 1 0006 2700 0403 USB 1.0/1.1 UHCI Contr
0 29 2 0006 2700 0403 USB 1.0/1.1 UHCI Contr
0 29 3 0006 2700 0403 USB 1.0/1.1 UHCI Contr
0 29 7 0006 2700 0403 USB 2.0 EHCI Contr
0 31 1 0006 2700 0101 IDE Contr
0 31 2 0006 2700 0101 IDE Contr
0 31 3 0006 2700 0205 SATA Contr
1 0 0 105E 06E4 0300 Display Contr
3 0 0 10C2 8160 0200 Network Contr ACPI Controller

Verifying DMI Pool Data ..... Update Success
Boot From CD
Press any key to boot from CD or DVD...
  
```

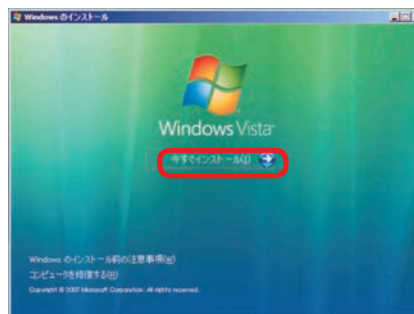
## ② しばらくすると「Windows のインストール」が表示されます

言語、時刻、キーボードの入力方法などを指定して [次へ] をクリックします。



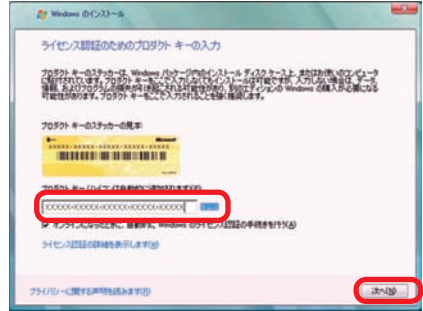
## ③ Windows Vista ロゴが表示されます

[今すぐインストール] をクリックします。



4 「プロダクトキー」 入力画面が表示されます

プロダクトキーを入力して [次へ] をクリックします。

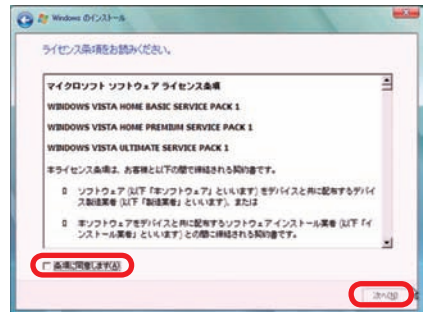


- 別途 DSP 版の OS をご用意されている場合はパッケージの裏面または、包装フィルムに貼られているシールに 25 桁の英数字で記載されています。
- OS インストールモデルでは本体に貼り付けてあるシールに 25 桁の英数字で記載されています。(貼付位置は 17 ページ「COA ラベル貼付場所の確認」をご覧ください)

5 「マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項」が表示されます

マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項を確認し、[条項に同意します]のチェックボックスをクリックしてチェックを入れます。

チェックを入れたら [次へ] をクリックします。



6 「インストールの種類」が表示されます

[カスタム (詳細)] を選択します。



①ご利用前に

②基本操作

③インストール

④困ったときは

⑤ご案内

## 7 「Windows のインストール場所を選択してください。」が表示されます

### 7-1 ドライブ全体を1つのパーティションとしてインストールする場合

Windows をインストールするドライブの未割り当て領域を選択して[次へ]をクリックします。



### 7-2 複数のパーティションに分割してインストールする場合

[ドライブオプション (詳細)] をクリックすると、[削除] [フォーマット] [新規] [拡張] が表示されます。

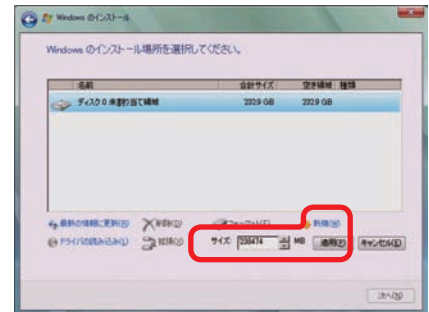
**!** パーティションの削除やフォーマットを行うと既存のデータは消去されますのでご注意ください。



[新規] をクリックすると「サイズ」が表示されます。

パーティションのサイズを指定して[適用] をクリックします。

パーティションの削除につきましては、103ページ「Windows Vista の再インストール②」をご参照ください。



分割したパーティションが表示されます。更に分割する場合は、未割り当て領域を選択し[新規]をクリックして、上記の作業を繰り返します。

パーティション分割が完了したら、Windows をインストールするパーティションを選択して[次へ] をクリックします。



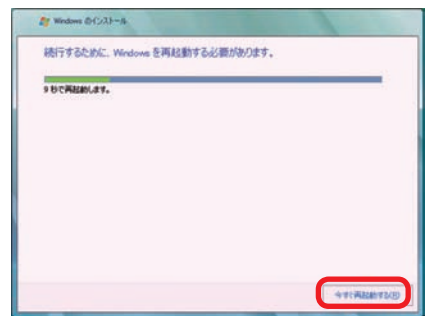
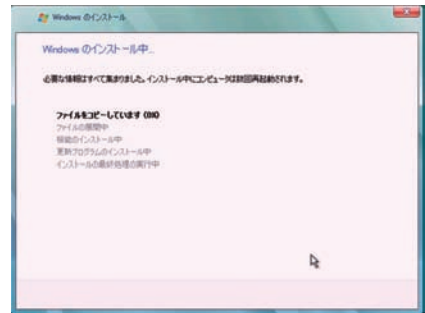
## 8 「Windows のインストール」が表示されます

インストール用ファイルをハードディスクにコピーします。

ファイルの展開、機能のインストール、更新プログラムのインストールと始まりしばらくすると、[Windows を再起動する必要があります。]と表示されます。

しばらくお待ちいただくか、[今すぐ再起動する]をクリックします。

再起動時は DVD-ROM から起動せず、ハードディスクから起動してください。



## 9 Windows Vista がハードディスクから起動します

スタートアップ画面が表示され、しばらくするとインストール画面に切り替わり、右図の状態が続きます。



①ご利用前に②基本操作③基本操作

③インストール

④困ったときは

⑤ご案内

## 10 「ユーザー名と画像の選択」が表示されます

- ・例を参考にユーザー名を入力します。  
※ユーザー名には日本語も使用できます。
- ・パスワードを入力します。  
※パスワードは未入力でも先に進めます（後から設定することが可能です）。
- ・下部の画像から、このユーザーアカウントで使用  
する画像を選択します。
- ・設定が完了したら [次へ] をクリックします。



## 11 「コンピュータ名とデスクトップ背景の設定」が表示されます

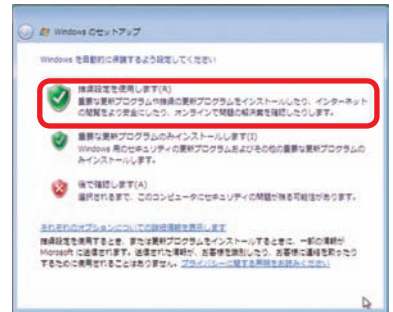
- ・例を参考にコンピュータ名を入力します。  
※コンピュータ名には日本語も使用できます。
- ・下部の画像から背景を選択してクリックします。  
設定が完了したら [次へ] をクリックします。



## 12 「Windows を自動的に保護するよう設定してください」が表示されます

[ 推奨設定を使用します ] をクリックします。

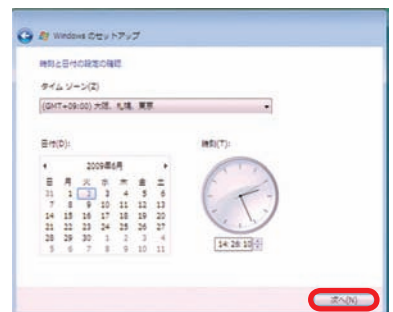
※推奨設定以外の項目を選択することもできます。それぞれの内容を確認するには [それぞれのオプションについて詳細情報を表示します] をクリックします。



## 13 「時刻と日付の設定の確認」が表示されます

「タイムゾーン」「日付」「時刻」を確認します。設定が異なっている場合には、それぞれを修正します。

設定が完了したら [次へ] をクリックします。



## 14 「お使いのコンピュータの現在の場所を選択してください」が表示されます

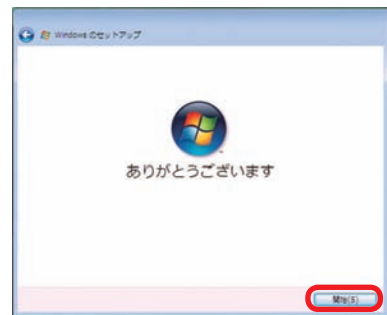
OS をインストールしているパソコンを主に使用する場所を選択してください。自宅で使用の場合 [ 家庭 ] をクリックしてください。

※ネットワークケーブルが接続されていない場合は表示されません。

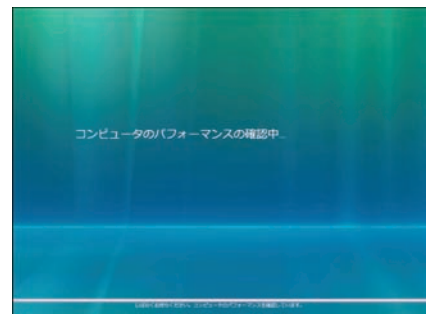


## 15 「ありがとうございます」が表示されます

[ 開始 ] をクリックします。

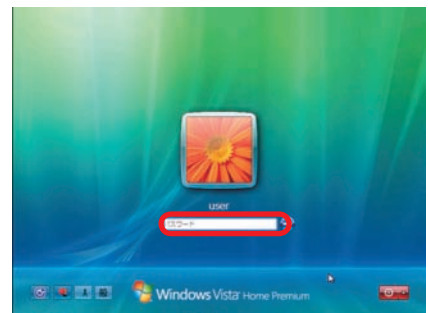


次に「コンピュータのパフォーマンスを確認しています」が表示され、パフォーマンスを調べ始めます。



しばらくするとパスワード入力画面が表示されます。⑩にて入力したパスワードを再入力し、Enter を押してください。

※パスワード未入力の場合は表示されません。



① ご利用前に

② 基本操作

③ インストール

④ 困ったときは

⑤ ご案内



## 16 これですべて Windows Vista のインストールは完了しました

必ず 30 日以内に [スタートメニュー] → [ウェルカムセンター] → [詳細を表示します] を起動して、[ライセンス認証を XX 日以内に行ってください。今すぐ行う場合にはここをクリックしてください。] をクリックし、ライセンス認証 (プロダクトアクティベーション) を行ってください。

※ 30 日を経過すると Windows Vista にログインできなくなります。ライセンス認証を行うとログインができるようになります。



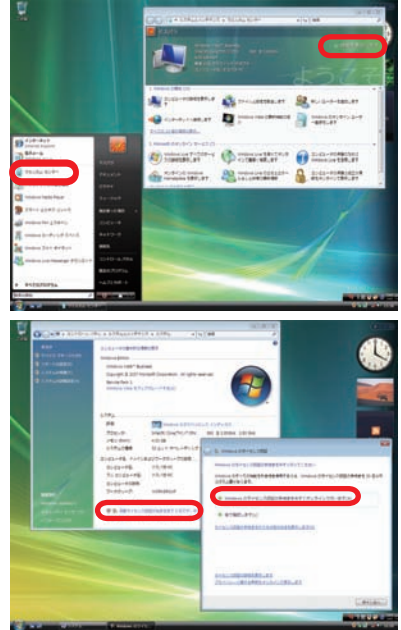
### プロダクトアクティベーションとは？

- 「Microsoft® Office」 「Windows® XP」 「Windows Vista®」 「Windows® 7」 などに不正利用を防ぐ目的で導入されているライセンス認証技術です。
- Windows インストール後 30 日以内にライセンス認証 (プロダクトアクティベーション) を行わないと機能制限モードに切り替わります。
- ライセンス認証後でも「120 日以内に 10 種類の識別パーツ (CPU、メモリー、ハードディスク、ビデオカード、CD/DVD-ROM ドライブ、LAN カード、SCSI カードなど) が大幅に変更された場合」は再度ライセンス認証が必要になります。

## Windows Vista プロダクトアクティベーションの方法

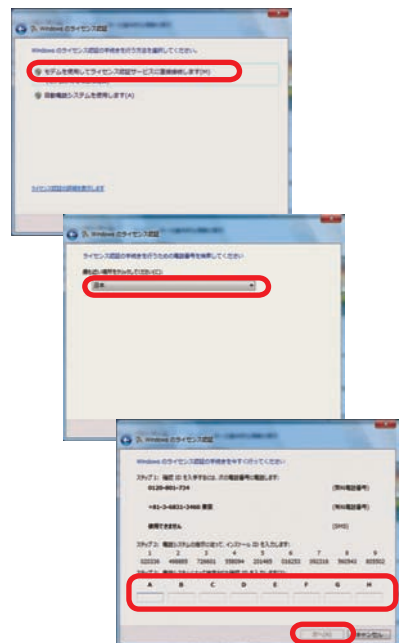
## ● インターネットに接続できる場合はインターネット経由で認証手続きを行います。

- ▼ Windows Vista を起動し、インターネットに接続できる状態で画面左下 [ スタート ] → [ ウェルカムセンター ] → [ 詳細を表示します ] を起動して、下の段の [ ライセンス認証を XX 日以内に行ってください。今すぐ行う場合にはここをクリックしてください。 ] をクリックします。
- ▼ 「Windows のライセンス認証」の画面が表示されるので、[ Windows のライセンス認証の手続きを今すぐオンラインで行います ] をクリックします。
- ▼ 以降は画面の手順に沿って認証手続きを進めてください。



## ● インターネットに接続できない場合は電話で認証手続きを行います。

- ▼ 「Windows のライセンス認証」の画面までは上記と同じ手順で進めた後、[ ライセンス認証の手続きを行うその他の方法を表示します ] をクリックします。
- ▼ [ 自動電話システムでライセンス認証をします ] をクリックします。
- ▼ 「最も近い場所をクリックしてください」で [ 日本 ] を選択し [ 次へ ] をクリックします。( [ 日本 ] は一覧の下部の方にあります )
- ▼ 表示されている電話番号に電話をします。
- ▼ 「インストール ID」を確認して進めます。
- ▼ ライセンス認証専用窓口から受け取った「確認 ID」を入力して [ 次へ ] をクリックします。
- ▼ 以降は画面の手順に沿って認証手続きを進めてください。



詳しくはマイクロソフトのホームページをご覧ください。

<http://windows.microsoft.com/ja-JP/windows-vista/Activate-Windows-on-this-computer>

①ご利用前に

②基本操作

③インストール

④困ったときは

⑤ご案内

# Windows XP のインストール

## ① Windows XP インストールメディアを入れた状態で電源を入れるか、パソコンを再起動させます

無事にインストールメディアから起動できると、「Windows is loading files...」が表示され、下にステータスバーが表示されます。もし起動できなかった場合はインストールメディアを入れたまま再起動させます。

※ Prime パソコンの構成によっては上記の方法で自動 CD ブート（起動）ができない場合があります。起動できない場合は、手動で CD ブートを行います。

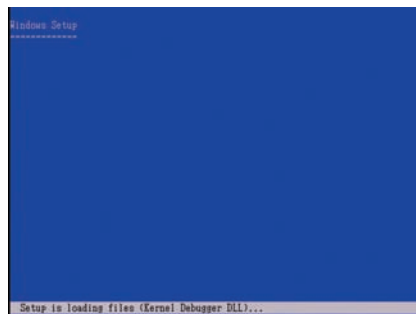
- インストールメディアを入れた状態で電源を入れるかパソコンを再起動させます。
- パソコンが起動するまでに画面には様々な文字や数字が表示されますが、しばらく待つと画面左下に「Boot from CD」という表示が出ます。
- 数秒で「Boot from CD」の 1 行下に、「Press any key to boot from CD or DVD」（CD か DVD から起動するには、いずれかのキーを押してください）と表示されるので、Enter キーを押します。

```
IDE Channel 2 : Master Disk : LBA,67A 100, 82GB
IDE Channel 2 : Slave Disk : D0B,67A 100

PCI device listing ...
Bus No. Device No. Func. No. Vendor/Device Class Device Class IRQ
0 27 0 0006 2700 0403 Multimedia Device 10
0 29 0 0006 27C0 0C03 USB 1.0/1.1 UHCI Contr 3
0 29 1 0006 27C9 0C03 USB 1.0/1.1 UHCI Contr 15
0 29 2 0006 27CA 0C03 USB 1.0/1.1 UHCI Contr 5
0 29 3 0006 27CB 0C03 USB 1.0/1.1 UHCI Contr 3
0 29 7 0006 27CC 0C03 USB 2.0 EHCI Contr 3
0 31 1 0006 272F 0101 IDE Contr 14
0 31 2 0006 27C9 0101 IDE Contr 15
0 31 3 0006 272A 0C95 SMBus Contr 15
1 0 0 102E 0014 0300 Display Contr 10
3 0 0 10C0 8160 0200 Network Contr 11
ACPI Controller 3

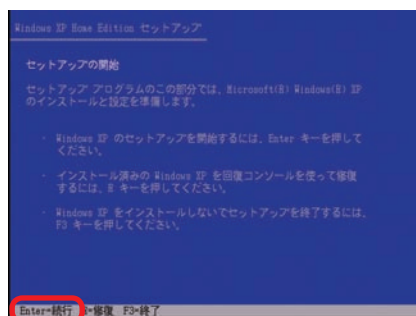
Verifying DMI Pool Data ..... Update Success
Boot from CD :
Press any key to boot from CD or DVD...
```

## ② 「Windows Setup」が表示されます



## ③ しばらくすると、「Windows XP セットアップ」が表示されます

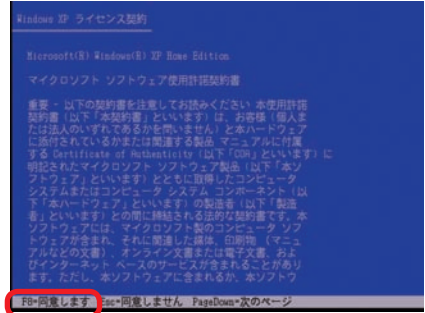
「Windows XP のセットアップを開始するには、Enter キーを押してください。」を実行します。[Enter] キーを押してください。



#### 4 「Windows XP ライセンス契約」が表示されます

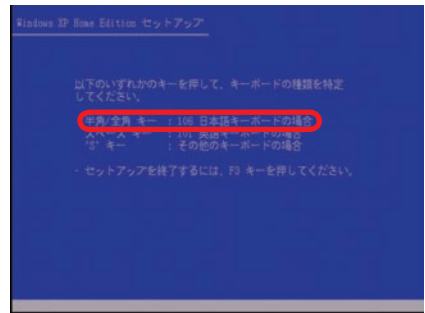
マイクロソフト ソフトウェア使用許諾契約書を確認し、「同意します」を選択します。

[F8] キーを押してください。



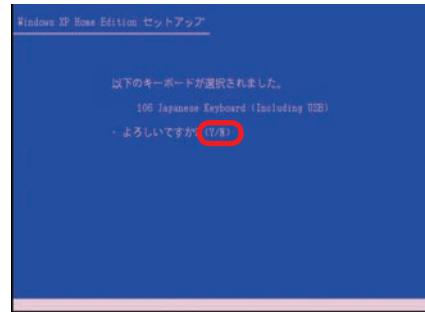
#### 5 キーボードの種類を選択する画面が表示されます

キーボードの左上にある [半角 / 全角] キーを押します。



#### 6 キーボード種類の確認画面が表示されます

[Y] キーを押します。



① ご利用前に

② 基本操作

③ インストール

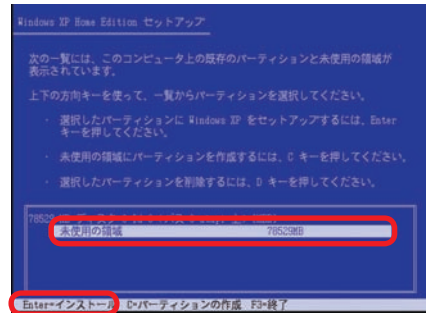
④ 困ったときは

⑤ ご案内

## 7 既存のパーティションと未使用領域が表示されます

⑦ -1: ドライブ全体を1つのパーティションとしてインストールする場合

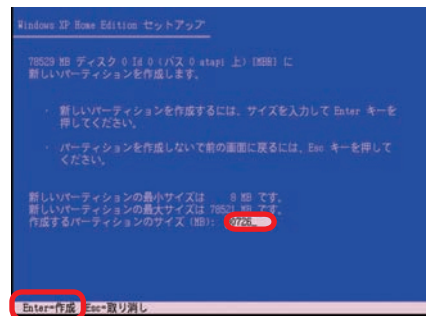
インストールするドライブの未使用領域を選択して [Enter] キーを押します。



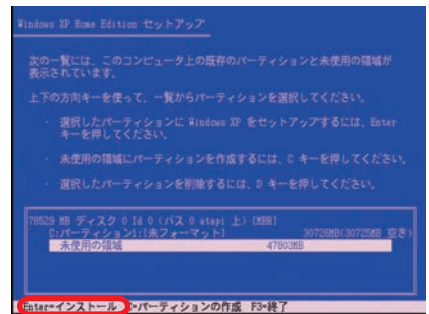
⑦ -2: 複数のパーティションへ分割してインストールする場合

未使用領域を選択して [C] キーを押します。

パーティションのサイズ設定画面が表示されるので、分割するパーティションを指定して、[Enter] キーを押します。



分割したパーティションが表示されます。続けて分割を行う場合は未使用領域を選択して [C] キーを押して、上記の作業を繰り返してください。インストールを行うには、パーティションを選択して [Enter] キーを押します。



### ワンポイント

パーティション分割の際には、下記の計算に沿ってサイズを指定してください。

サイズ GB = サイズ × 1024 + 1 = \*\*\*\* MB

例: 200GB = 200 × 1024 + 1 = 204801MB

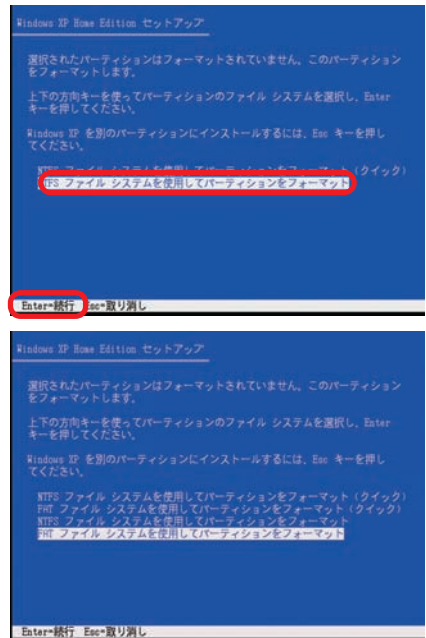
上記の計算はパソコン内部では 10 進法ではなく 2 進法で計算されているために起こる現象です。

## 8 フォーマットを選択する画面が表示されます

[NTFS ファイルシステムを使用してパーティションをフォーマット] を選択して [Enter] キーを押します。

※選択肢にある「クイック (クイックフォーマット)」は、必要最低限の消去作業のみを行うので短い時間で完了します。完全な消去を行いたい場合は、「クイック」を行わないでください。

パーティションを 32GB 以下に設定している場合、上記の選択肢とは別に、「FAT ファイルシステムを使用してパーティションをフォーマット」の選択肢が増えます。通常は [NTFS] を選択してください。



### NTFS ファイルシステムとは？

- セキュリティ機能に優れたファイルシステムです。
- Windows 98・Windows Me は NTFS に対応していないため、読み書きはできません。

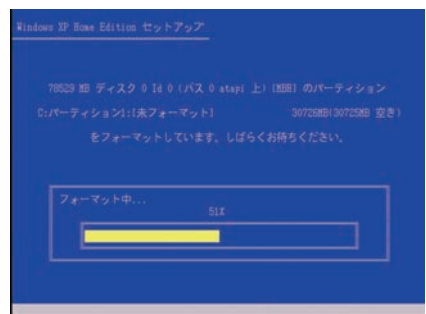
### FAT ファイルシステムとは？

- Windows 98・Windows Me などで使用していた形式のファイルシステムです。
- 2GB 以上を 1 つのパーティションで扱う場合は FAT32 となります。
- FAT32 の 1 パーティション最大容量は 32GB です。
- FAT32 の 1 ファイル最大容量は 4GB です。

## 9 フォーマットが開始されフォーマット状況が表示されます

ハードディスクの容量が多いほど、フォーマットには時間がかかります。

フォーマットは数分から数時間かかる場合があります。



①ご利用前に

②基本操作

③インストール

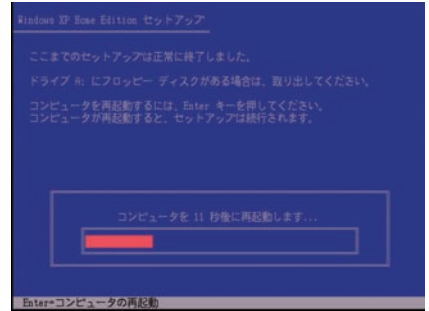
④困ったときは

⑤ご案内

## 10 フォーマットが終わると、Windows XP インストール用ファイルをハードディスクにコピーします

しばらくすると「ここまでのセットアップは正常に終了しました。」…「コンピュータを 15 秒後に再起動します…」と表示されるので [Enter] キーを押します。

再起動時はインストールメディアから起動せず、ハードディスクから起動してください。



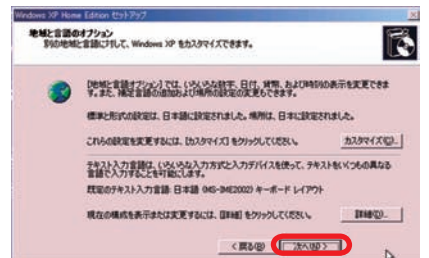
## 11 Windows XP がハードディスクから起動されて起動画面が表示されます

右の画面が表示され、しばらくこの状態が続きます。



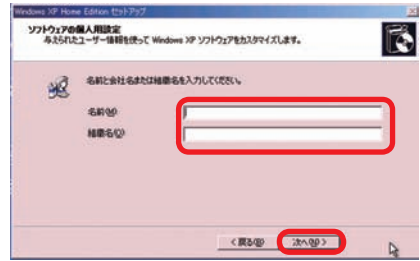
## 12 「地域と言語のオプション」画面が表示されます

[次へ] をクリックします。



## 13 「ソフトウェアの個人用設定」画面が表示されます

「名前」「組織」の入力を求められるので、任意の文字を入力して、[次へ]をクリックします。



## 14 「プロダクトキー」画面が表示されます

プロダクトキーを入力して [次へ] をクリックします。



- Windows XP インストールモデルは、25 桁のプロダクトキーが記載されたプロダクトシール (右下図) がパソコンに貼られています。
- プロダクトキーには使用されない文字があります。

使用されない数字 [ 1、5、0 ]

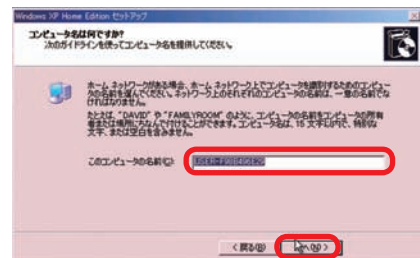
使用されない文字 [ A、E、I、L、N、O、S、U、Z ]

プロダクトキー入力画面では、使用されない文字は入力できない設定になっています。



## 15 「コンピュータ名は何ですか？」画面が表示されます

「コンピュータ名」に任意の文字を入力して、[次へ]をクリックします。「コンピュータ名」には 15 文字以内の英数字を入力します。他のパソコンとネットワーク接続した時はこの名前がネットワーク上で表示されます。



① ご利用前に

② 基本操作

③ インストール

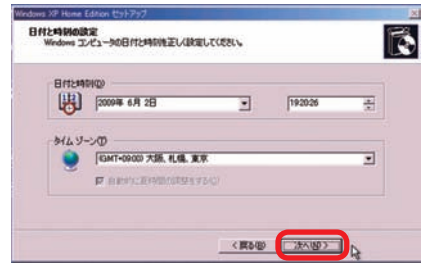
④ 困ったときは

⑤ ご案内

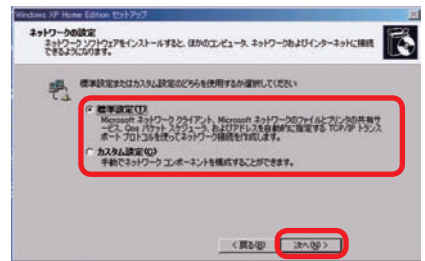


**16** 「日付と時刻の設定」画面が表示されます

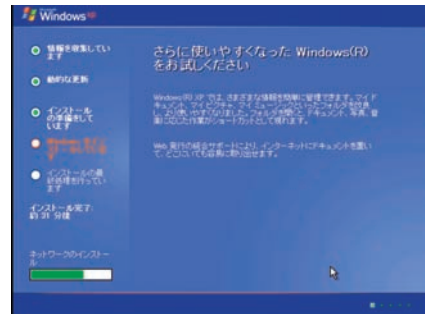
「日付と時刻」「タイムゾーン」が違う場合は修正した後 [次へ] をクリックします。

**17** Windows XP が LAN 機能検出に成功した場合は、「ネットワークの設定」画面が表示されます

「標準設定」になっているのを確認して、[次へ] をクリックします。

**18** インストール画面が表示され、しばらくこの状態が続いた後、再起動されます

再起動時は一旦インストールメディアを抜き、ハードディスクから起動してください。

**19** Windows XP 起動画面が表示されます

「Microsoft Windows へようこそ」画面が表示されるので、[次へ] をクリックします。

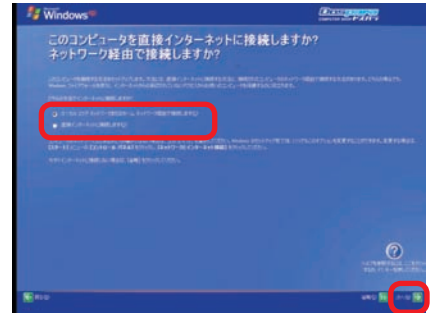


## 20 ネットワーク接続の確認画面が表示されます

### ■ ネットワーク接続されている場合

「このコンピュータを直接インターネットに接続しますか？ ネットワーク経由で接続しますか？」が表示されます。

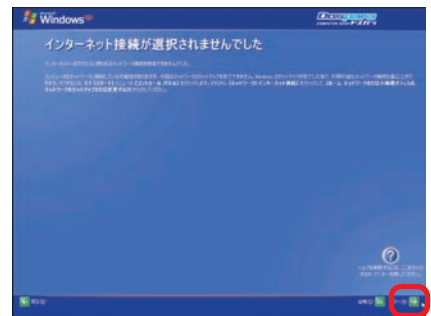
ご利用のインターネット環境を選択して、[次へ]をクリックします。後でネットワーク接続をセットアップする場合は[省略]をクリックします。



### ■ ネットワーク接続されていない場合

「インターネット接続が選択されませんでした」が表示されます。

[次へ]をクリックします。



## 21 「Windows のライセンス認証の準備はできましたか？」が表示されます

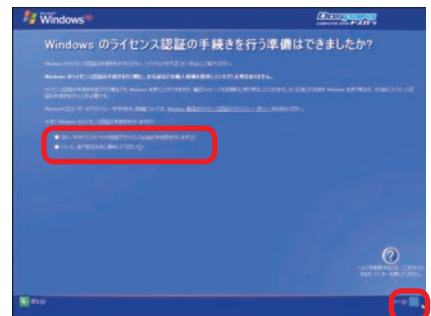
### ■ ネットワーク接続されている場合

[はい、今すぐインターネット経由でライセンス認証の手続きを行います]を選択してください。

### ■ ネットワーク接続されていない場合

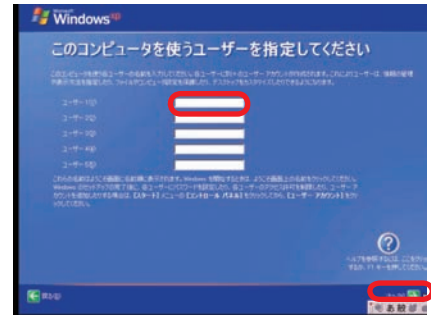
[いいえ、後で数日おきに通知してください]を選択してください。

選択したら [次へ] をクリックします。



## 22 「このコンピュータを使うユーザーを指定してください」画面が表示されます

使用するユーザー名を最低でも1人分入力し、[次へ]をクリックします。⑬で入力した名前と同じである必要はありません。



## 23 これで Windows XP のインストールは無事完了しました

必ず 30 日以内に「スタートメニュー」の「Windows のライセンス認証」を起動して、ライセンス認証（プロダクトアクティベーション）を行ってください。

※ 30 日を経過すると Windows XP にログインできなくなります。ライセンス認証を行うとログインができるようになります。



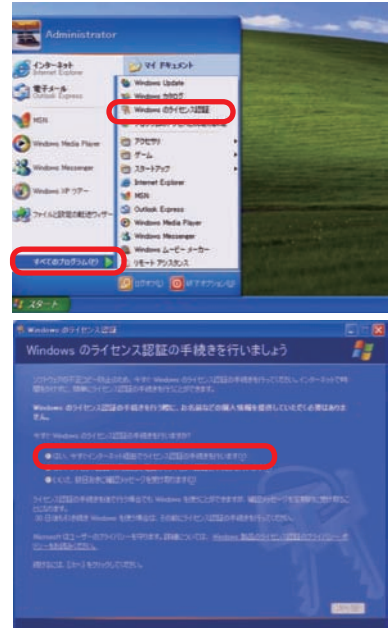
## プロダクトアクティベーションとは？

- 「Microsoft® Office」 「Windows® XP」 「Windows Vista®」 「Windows® 7」などに不正利用を防ぐ目的で導入されているライセンス認証技術です。
- Windows XP インストール後 30 日以内にライセンス認証(プロダクトアクティベーション)を行わないと Windows XP にログインできなくなります。
- ライセンス認証後でも「120 日以内に 10 種類の識別パーツ (CPU、メモリー、ハードディスク、ビデオカード、光学ドライブ、LAN カード、SCSI カードなど) が大幅に変更された場合」は再度ライセンス認証が必要になります。

## Windows XP プロダクトアクティベーションの方法

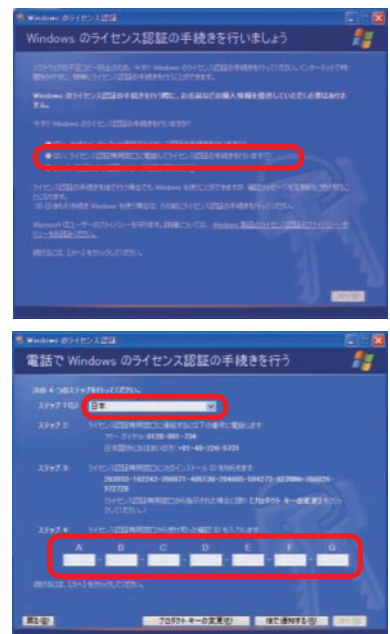
## ● インターネットに接続できる場合はインターネット経由で認証手続きを行います。

- ▼ Windows XP が初期設定終了後、通常に起動している状態で画面左下 [ スタート ] → [ すべてのプログラム ] を選択後 [Windows XP のライセンス認証] をクリックします。
- ▼ 「Windows のライセンス認証」の画面が表示されるので、[ はい、今すぐインターネット経由でライセンス認証の手続きを行います ] を選択し、[ 次へ ] をクリックします。
- ▼ 以降は画面の手順に沿って認証手続きを進めてください。



## ● インターネットに接続できない場合は電話で認証手続きを行います。

- ▼ 「Windows のライセンス認証」の画面までは上記と同じ手順で進めた後、[ はい、ライセンス認証専用窓口で電話してライセンス認証の手続きを行います ] を選択し、[ 次へ ] をクリックします。
- ▼ 「最も近い場所をクリックしてください」で [ 日本 ] を選択し [ 次へ ] をクリックします。( [ 日本 ] は一覧の下部の方にあります )
- ▼ 表示されている電話番号に電話します。
- ▼ 「インストール ID」を確認して進めます。
- ▼ ライセンス認証専用窓口から受け取った「確認 ID」を入力して [ 次へ ] をクリックします。
- ▼ 以降は画面の手順に沿って認証手続きを進めてください。



詳しくはマイクロソフトのホームページをご覧ください。

<http://support.microsoft.com/kb/880506/ja>

① ご利用前に

② 基本操作

③ インストール

④ 困ったときは

⑤ ご案内

ご購入時の状態に戻したい方は

### ⚠ 作業前の注意事項

再インストールを行う場合、ハードディスク内のデータは消えてしまいます。ハードディスクに必要なデータがある場合は予めバックアップを行ってください。バックアップ作業は、52 ページ「バックアップ方法」をご参照ください。

## 1 Windows 7 のインストールメディアを挿入します

インストールメディアを光学ドライブに挿入し、パソコンを再起動させます。

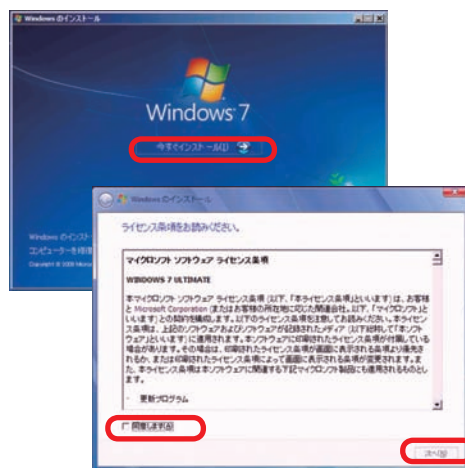
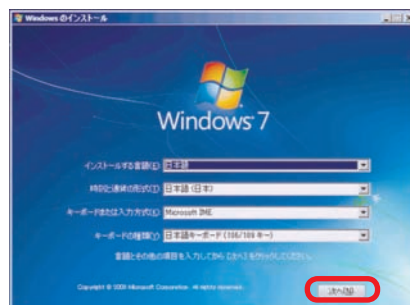
インストールメディアからパソコンを起動します。

「Press any key to boot from CD or DVD」というメッセージが表示された場合は、キーボードの任意のキーを押します。(キーの指定は特にありません。)

「Windows のインストール」が表示されます。

画面の手順に沿って「インストール場所を選択してください」が表示されるまで作業を進めてください。

詳しくは、74 ページ「Windows 7 のインストール①～⑦」をご参照ください。



## 2 「インストール場所を選択してください」が表示されます

[ドライブオプション(詳細)]をクリックすると、[削除][フォーマット][拡張]が表示されます。

設定されているパーティションを削除して初期状態に戻し再インストールを開始します。

[パーティション1]を選択してください。パーティションを選択後、[削除]をクリックします。同様にパーティション2を削除します。

⚠ パーティション1 はシステム用の領域です。OS 起動後の「コンピュータ」等では表示されません。

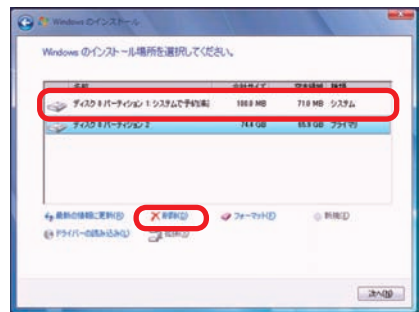
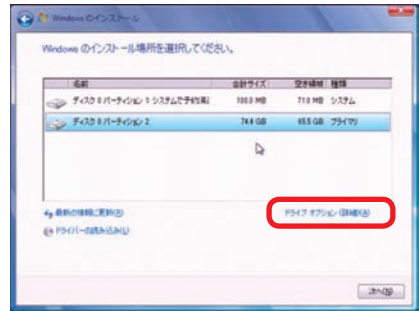
⚠ パーティションを分割している場合は、パーティション2以降が表示されます。同様に削除を行います。

完了しましたら[次へ]をクリックしインストールを開始します。

パーティション分割方法は、76 ページ「Windows 7 のインストール⑦」をご参照ください。

## 3 以降のインストール作業

以降のインストール作業は、77 ページ「Windows 7 のインストール⑧」以降をご参照ください。



① ご利用前に

② 基本操作

③ インストール

④ 困ったときは

⑤ ご案内

## ご購入時の状態に戻したい方は

## ⚠ 作業前の注意事項

再インストールを行う場合、ハードディスク内のデータは消えてしまいます。ハードディスクに必要なデータがある場合は予めバックアップを行ってください。バックアップ作業は、52 ページ「バックアップ方法」をご参照ください。

## ① Windows Vista のインストールメディアを挿入します

インストールメディアを光学ドライブに挿入し、パソコンを再起動させます。

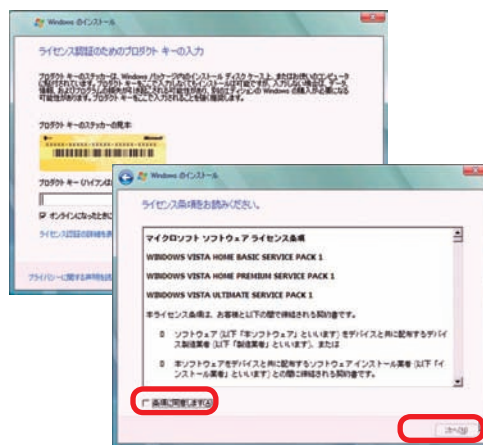
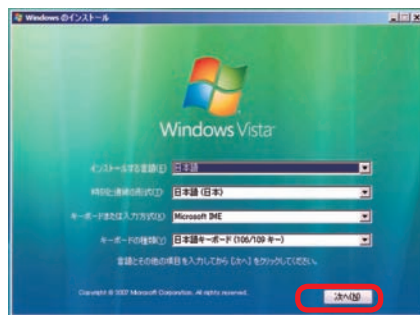
インストールメディアからパソコンを起動します。

「Press any key to boot from CD or DVD」というメッセージが表示された場合は、キーボードの任意のキーを押します。(キーの指定は特にありません。)

「Windows のインストール」が表示されます。

画面の手順に沿って「インストール場所を選択してください」が表示されるまで作業を進めてください。

詳しくは、82 ページ「Windows Vista のインストール①～⑦」をご参照ください。



## 2 「インストール場所を選択してください」が表示されます

【ドライブオプション（詳細）】をクリックすると、【削除】【フォーマット】【拡張】が表示されます。

設定されているパーティションを削除して初期状態に戻し再インストールを開始します。

【パーティション1】を選択してください。パーティションを選択後、【削除】をクリックします。

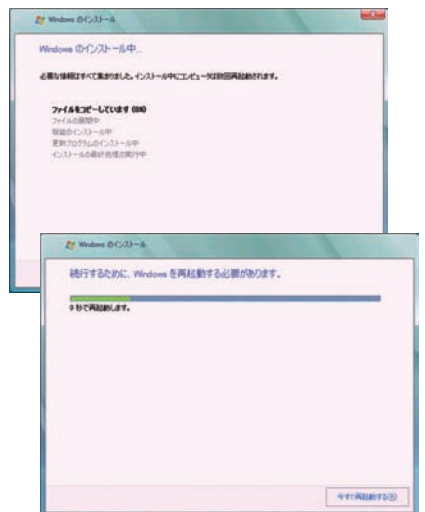
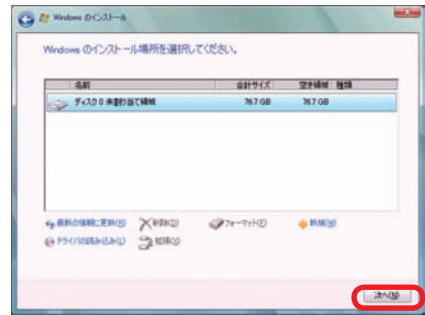
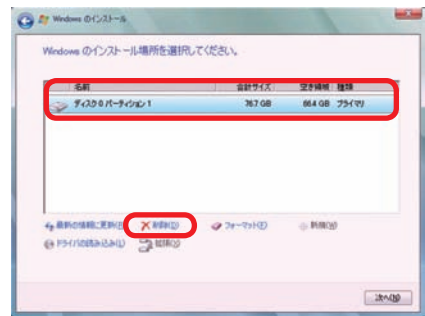
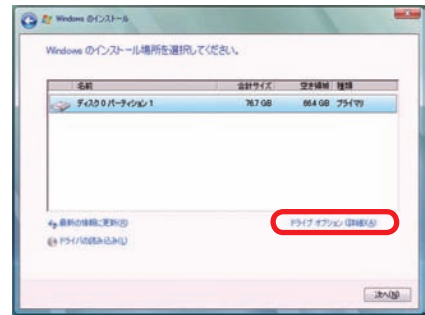
**⚠** パーティションを分割している場合は、パーティション1以降が表示されます。同様に削除を行います。

完了しましたら【次へ】をクリックしインストールを開始します。

パーティション分割方法は、84 ページ「Windows Vista のインストール⑦」をご参照ください。

## 3 以降のインストール作業

以降のインストール作業は、85 ページ「Windows Vista のインストール⑧」以降をご参照ください。



① ご利用前に

② 基本操作

③ インストール

④ 困ったときは

⑤ ご案内



## ご購入時の状態に戻したい方は

## ⚠ 作業前の注意事項

再インストールを行う場合、ハードディスク内のデータは消えてしまいます。ハードディスクに必要なデータがある場合は予めバックアップを行ってください。バックアップ作業は、52 ページ「バックアップ方法」をご参照ください。

## ① Windows XP インストールメディアを挿入します

インストールメディアを光学ドライブに挿入し、パソコンを再起動します。インストールメディアからパソコンを起動します。

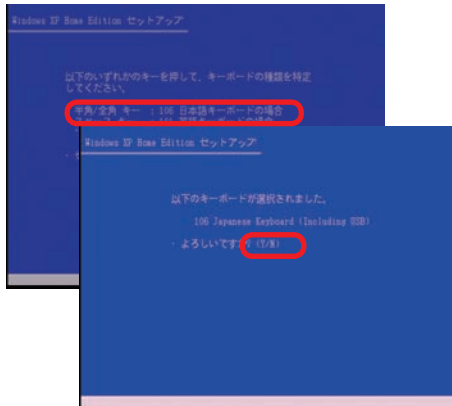
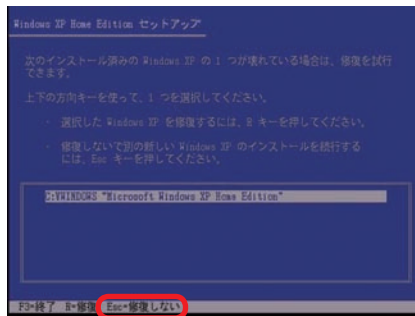
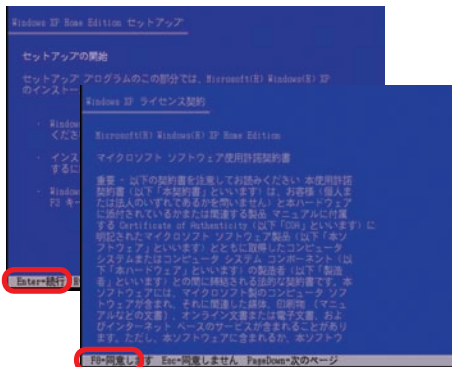
「Press any key to boot from CD or DVD」というメッセージが表示された場合は、キーボードの任意のキーを押します。(キーの指定は特にありません。)[Windows のインストール]が表示されます。

「Windows Setup」が表示されます。

再インストールの場合は、インストールされている Windows が表示されますので、[ESC] キーを押し作業を進めます。

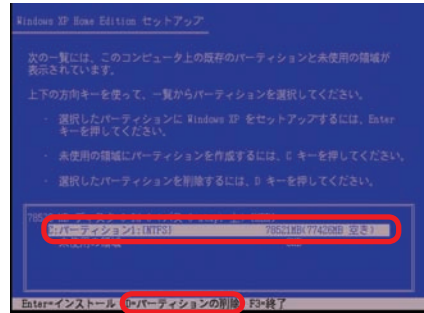
画面の手順に沿って「現在のパーティション状態」が表示されるまで作業を進めてください。

詳しくは 90 ページ「Windows XP のインストール①～⑥」をご参照ください。



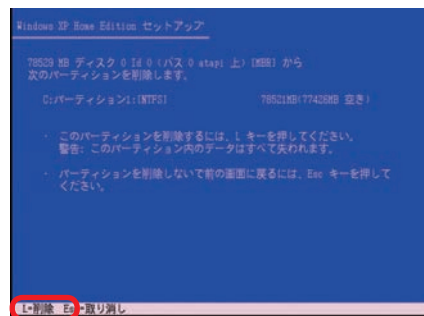
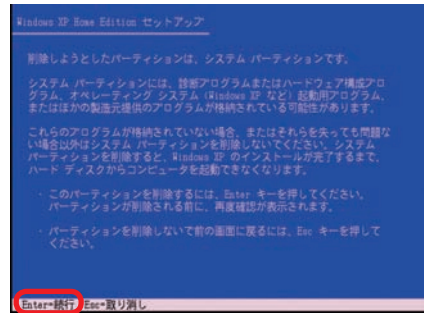
## 2 現在のパーティション状態が表示されます

既存 OS を完全に削除してインストールするため、インストールされている既存のパーティション(ドライブ)を選択して [D] キーを押しパーティションの削除を開始します。



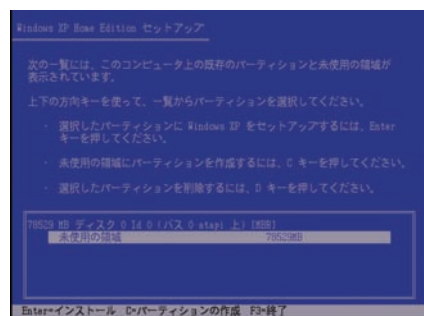
## 3 パーティション削除の確認が表示されます

システムパーティション削除のため、作業確認が要求されるのでそれぞれ [Enter] 及び [L] キーを押しパーティションの削除を実行します。



## 4 以降のインストール作業

以降のインストール作業は、92 ページ「Windows XP のインストール⑦」以降をご参照ください。



① ご利用前に

② 基本操作


③ インストール

④ 困ったときは

⑤ ご案内

## リカバリとは


弊社 Prime リカバリモデルには Windows RE (Windows 回復環境) システムが予めセットアップされています。リカバリとは上記システムを利用してハードディスクをフォーマット(初期化)し、Windows を再インストールすることです。コンピュータウイルス感染やファイルの誤削除、ソフトウェアのインストール・アンインストールを繰り返すなど、何らかの原因でパソコンが起動できなくなってしまった、または動作が不安定になってしまった場合に、有効な作業です。

 ハードウェアの障害が原因で不安定になったシステムに対しては、効果が得られない場合もあります

### ■ ハードディスク内のリカバリ用データは絶対に削除しないでください。

Prime リカバリモデルは、リカバリ(パソコンに何らかのトラブルが発生し正常に動作しなくなった場合などに行う復旧作業)のためのデータをハードディスク内に格納しています。このリカバリ領域は Windows 7 約 8GB、Windows Vista 32bit 版約 4GB、64bit 版約 6GB あります。誤って消去することを防ぐため、リカバリ用データ領域は通常の方法では表示されないようになっていますが、市販のディスクユーティリティをお客様ご自身でインストールした場合や、ディスクの管理を使用するなど特別な手段で、この領域を削除、変更またはデータの追加などを行うと、リカバリができなくなります。これらの操作を行わないでください。

削除してしまった場合の復旧は有償となります。サポートコールセンター 0570-028-119 (PHS・IP 電話からは 045-330-1577) にご相談ください。


 リカバリ用データ領域を通常のドライブとして、使用することはできません。予めご了承ください。

## リカバリの前に

ご購入後に、増設または交換されたパーツや周辺機器はすべて取り外して元の状態に戻してください。特に、USB フロッピーディスクドライブや USB 接続の外付けハードディスク、外付け CD/DVD ドライブを接続したままでは、再インストールが正常に行われません。

### ■ リカバリを行うと、全てのデータが初期化されます。

インストールしたアプリケーションソフトやメールの履歴などお客様が作成したデータは、他のメディアや外付けのハードディスクへ必ずバックアップを取っておいてください。リカバリを実行すると、ハードディスクの内容は消去され、工場出荷時の状態に戻ります。

 データ用のパーティションを作成していた場合でも、予期しない誤動作/誤操作によりデータが消去される恐れがあります。

### ■ Galleria モデルご購入のお客様へ。

ご購入特典の壁紙やスクリーンセーバー等のソフトウェアはリカバリ後データが初期化されるため、お使いいただけません。

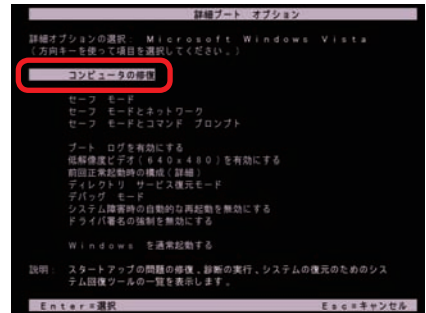
ご購入特典ソフトウェアの再提供については、サポートコールセンター 0570-028-119 (PHS・IP 電話からは 045-330-1577) までご連絡ください。

 途中で電源を切るなどして、リカバリを中止しないでください。

Windows が起動しなくなったり、データが消失してリカバリを実行できなくなったりする恐れがあります。

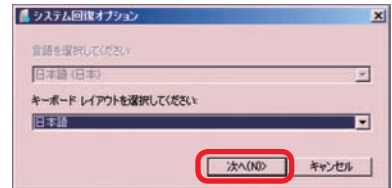
- 1 パソコンの電源を入れ、BIOS ロゴが表示されたときに「F8」キーを押し、詳細ブート オプションを起動します

そこから「コンピュータの修復」を選択し、Enter キーを押します。



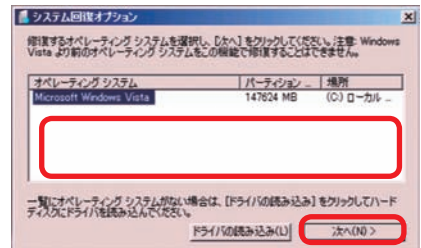
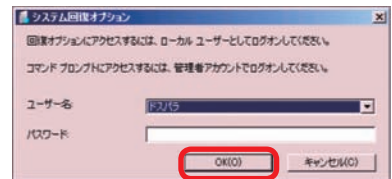
- 2 [次へ] をクリックします

※すでに選択されている言語とキーボードレイアウト以外は指定しないでください。



- 3 それぞれの復元方法に進みます

- **Windows Vista 32bit の復元の場合**  
Windows で登録したユーザーアカウント名を選び、設定したパスワードを入力し、[OK] をクリックします。
- **Windows Vista 64bit、Windows 7 の復元の場合**  
OS 選択ウィンドウの空白部分をクリックし、[次へ] をクリックします。



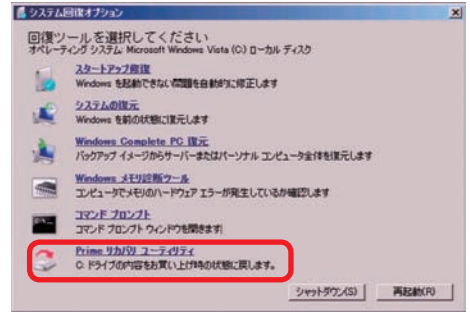
① ご利用前に

② 基本操作

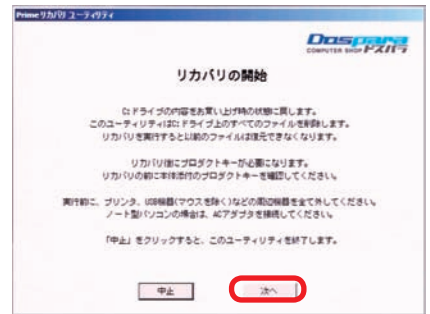
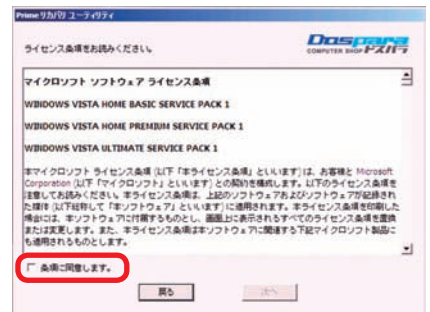
③ インストール

④ 困ったときは

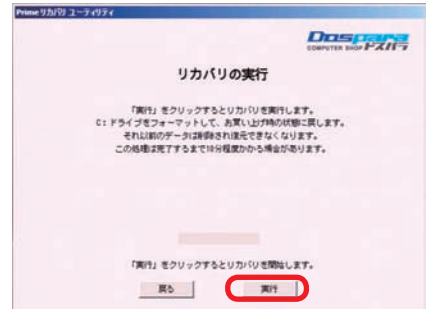
⑤ ご案内

4 [Prime リカバリ ユーティリティ] を  
クリックします

## 5 [次へ] をクリックします

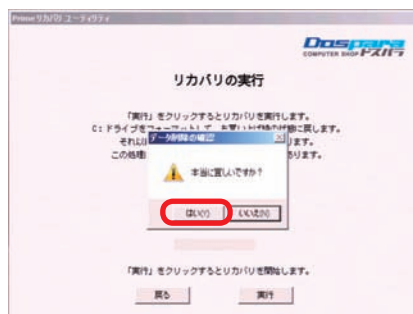
6 ライセンス条項を読み、[条項に同意します]  
をクリックし、[次へ]  
をクリックします

## 7 [実行] をクリックします



## 8 最終確認のメッセージが表示されたら、[はい]をクリックします

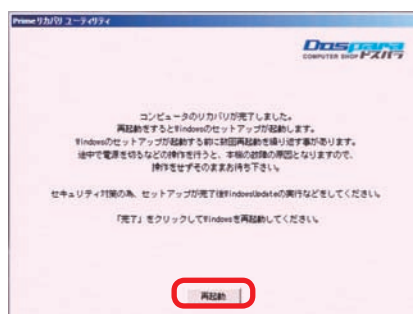
リカバリを行うと、全てのデータが初期化されます。



## 9 リカバリが終了し、再起動のメッセージが表示されたら、[再起動]をクリックします

以上で Windows のリカバリ作業が完了しました。

通常通りに Windows を起動し、セットアップ作業を行ってください。



## リカバリの後に

**⚠ リカバリを行った後は、以下の作業を行ってください。**

- セキュリティ対策のため、Windows Update を行います。
- ライセンスの関係上、DVD の再生 / ライティングソフトや Microsoft Office(オプションをご選択いただいたお客様) 等のソフトウェアはリカバリではインストールされません。製品に同梱されているソフトウェアの CD/DVD-ROM を使用してインストールします。

### ■ セットアップ方法

#### ● DVD の再生 / ライティングソフト

付属の CD/DVD-ROM をドライブに入れ、オートラン機能により起動したメニュー画面に従いインストールを行ってください。

詳しくは 121 ページ「各種ソフトウェアのインストール手順」をご参照ください。

#### ● Microsoft Office

同梱されている取扱説明書、およびオンラインマニュアルに記載の手順に沿ってインストールを行ってください。

① ご利用前に

② 基本操作

③ インストール

④ 困ったときは

⑤ ご案内

スタートアップ修復は、システム ファイルが見つからなかったり破損しているなど、特定の問題を修正できる Windows 7 の回復ツールです。

こうした問題があると、Windows は正しく起動しない可能性があります。スタートアップ修復を実行すると、パソコンの問題がスキャンされ、パソコンが正常に起動できるように問題の解消が試行されます。

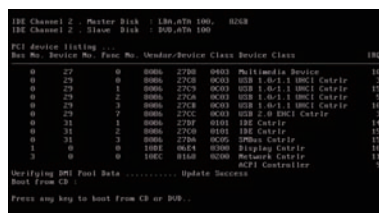
### ワンポイント

ハードディスク内のデータは作業中に何らかの原因により消えてしまう場合があります。必要なデータがある場合は予めバックアップを取りましょう。バックアップ作業は 52 ページ「バックアップ方法」をご参照ください。

## ① インストールメディアからの起動

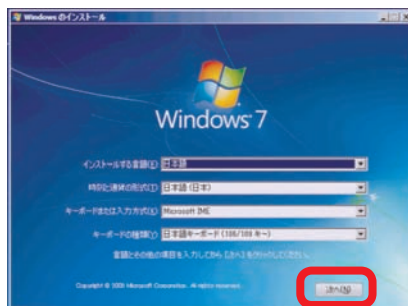
インストールメディアを光学ドライブに挿入し、パソコンを再起動させます。

インストールメディアからパソコンを起動します。「Press any key to boot from CD」というメッセージが表示された場合は、キーボードの任意のキーを押します。(キーの指定は特にありません。)



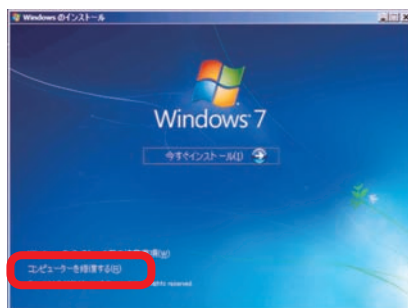
## ② Windows のインストールが表示されます

ご利用される言語、時刻、キーボードの入力方法、キーボードの種類を指定して [次へ] をクリックします。



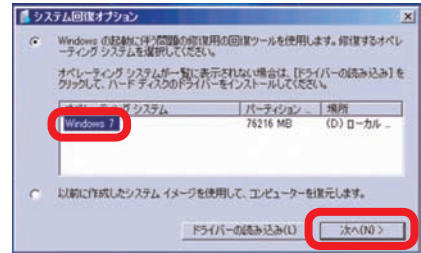
## ③ 「コンピューターを修復する」を選択します

[コンピューターを修復する] をクリックします。



## 4 「システム回復のオプション」が表示されます

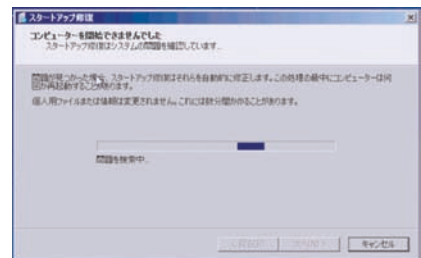
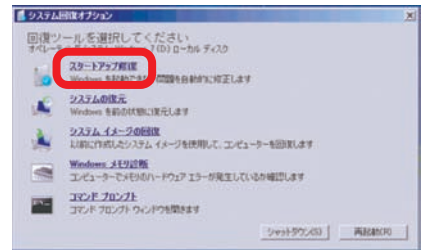
ダイアログ ボックスが表示されたら、目的のオペレーティング システムをクリックし、[次へ]をクリックします。



## 5 「回復ツールを選択してください」が表示されます

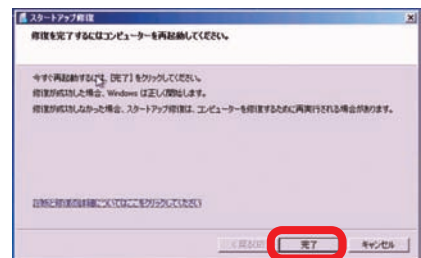
[スタートアップ修復] をクリックします。修復が開始されると、問題を修正するため選択を求めメッセージが表示される場合があります。

また修復するために、必要に応じて再起動する場合があります。



## 6 「修復を完了するにはコンピューターを再起動してください。」が表示されます

[完了] をクリックし、パソコンを再起動させます。また、スタートアップ修復を行っても、パソコンの状態が改善できない場合は、Windows 7 を購入時の状態に戻すため、Windows 7 の再インストールを行ってください。作業方法は、100 ページ「Windows 7 の再インストール」をご参照ください。



① ご利用前に

② 基本操作

③ インストール

④ 困ったときは

⑤ ご案内



スタートアップ修復は、システム ファイルが見つからなかったり破損しているなど、特定の問題を修正できる Windows Vista の回復ツールです。

こうした問題があると、Windows は正しく起動しない可能性があります。スタートアップ修復を実行すると、パソコンの問題がスキャンされ、パソコンが正常に起動できるように問題の解消が試行されます。

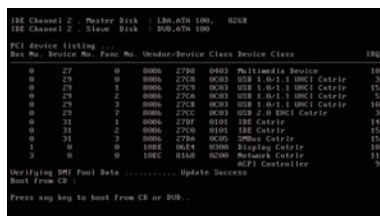
## ワンポイント

ハードディスク内のデータは作業中に何らかの原因により消えてしまう場合があります。必要なデータがある場合は予めバックアップを取りましょう。バックアップ作業は52 ページ「バックアップ方法」をご参照ください。

### ① インストールメディアからの起動

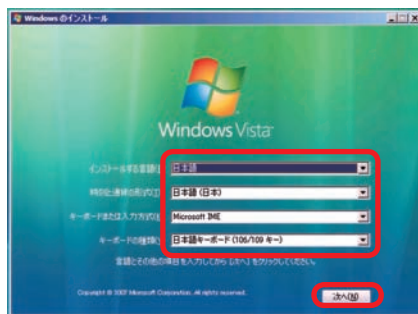
インストールメディアを光学ドライブに挿入し、パソコンを再起動させます。

インストールメディアからパソコンを起動します。「Press any key to boot from CD」というメッセージが表示された場合は、キーボードの任意のキーを押します。(キーの指定は特にありません。)



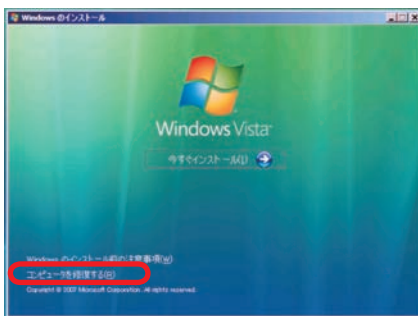
### ② Windows のインストールが表示されます

ご利用される言語、時刻、キーボードの入力方法、キーボードの種類を指定して[次へ]をクリックします。



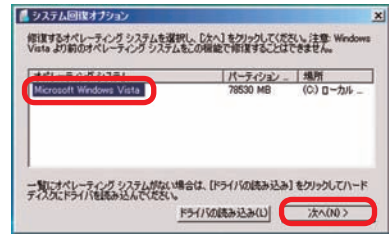
### ③ 「コンピュータを修復する」を選択します

[コンピュータを修復する]をクリックします。



## 4 「システム回復のオプション」が表示されます

ダイアログ ボックスが表示されたら、目的のオペレーティング システムをクリックし、[次へ]をクリックします。

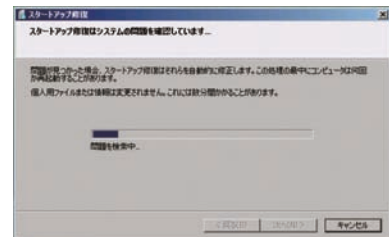
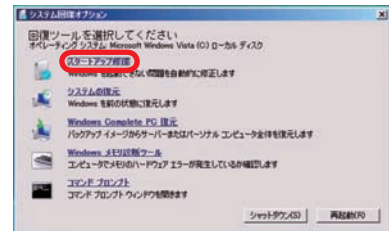


## 5 「回復ツールを選択してください」が表示されます

[スタートアップ修復] をクリックします。

修復が開始されると、問題を修正するため選択を求めるメッセージが表示される場合があります。

また、必要に応じて自動的に再起動する場合があります。



## 6 スタートアップ修復完了画面

[完了] をクリックし、パソコンを再起動します。

また、スタートアップ修復を行っても、パソコンの状態が改善できない場合は、Windows Vista を購入時の状態に戻すため、Windows Vista の再インストールを行ってください。

作業方法は、102 ページ「Windows Vista の再インストール」をご参照ください。



① ご利用前に

② 基本操作

③ インストール

④ 困ったときは

⑤ ご案内

# Windows XP の修復インストール

Windows XP の修復インストールはコンピューターの設定を保存したまま、元の構成に戻すことができます。ここでは修復インストールを実行する方法を説明します。

Windows XP を修復インストールするには下記の方法があります。

まず、方法 1 を実行してください。方法 2 は、方法 1 に失敗した場合に実行してください。

**方法 1 : Windows XP を起動した状態で修復インストールする。**

**方法 2 : Windows XP インストールメディアで起動して修復インストールする。**

## 方法 1 Windows XP を起動した状態で修復インストールする

### ① Windows XP インストールメディアを挿入します

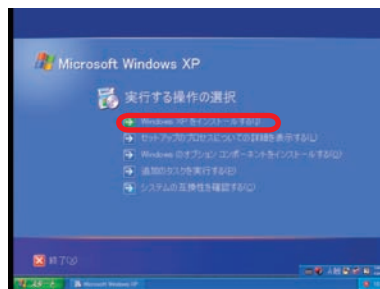
パソコンを起動します。Windows が起動したら光学ドライブに インストールメディアを挿入します。

### ② [実行する操作の選択] メニューが表示されます

[実行する操作の選択] メニューの [Windows XP をインストールする] をクリックし、Windows XP セットアップ ウィザードを開始します。

#### ワンポイント

ハードディスク内のデータは作業中に何らかの原因により消えてしまう場合があります。必要なデータがある場合は予めバックアップを取りましょう。バックアップ作業は、52 ページ「バックアップ方法」をご参照ください。



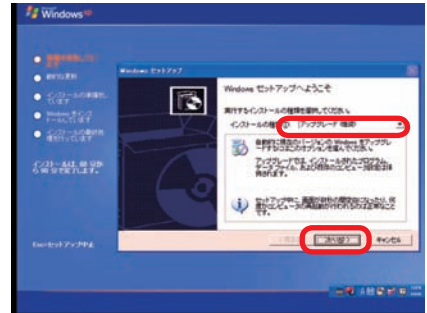
#### ◆補足

[実行する操作の選択] メニューが表示されない場合は、次の手順を実行します。

- Windows XP CD-ROM の内容を表示します。[スタート] ボタンをクリックし、[マイ コンピュータ] をクリックします。次に、[CD-ROM ドライブ] をダブルクリックします。
- [実行する操作の選択] メニューを表示します。SETUP.EXE ファイルをダブルクリックし、手順 3 に進みます。

### 3 Windows セットアップが表示されます

再インストールを開始します。[インストールの種類] ボックスの一覧から [アップグレード] をクリックし、[次へ] をクリックします。



### 4 ライセンス契約の使用許諾契約書を確認します

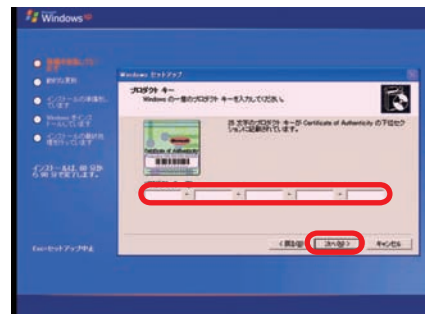
マイクロソフト「ソフトウェア使用許諾契約書」を確認し、[同意します] のチェックボックスをクリックしてチェックを入れます。

チェックを入れたら [次へ] をクリックします。



### 5 プロダクトキーを入力します

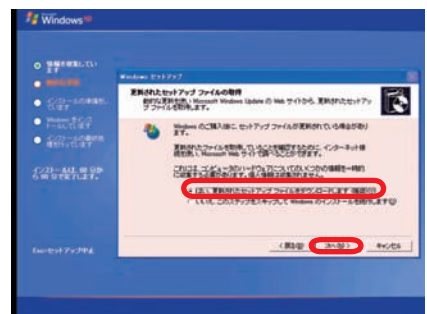
[プロダクトキー] ボックスに 25 文字のプロダクトキーを入力し、[次へ] をクリックします。



### 6 オプションを選択します

任意のオプションをクリックして選択し、[次へ] をクリックします。

ここでは例として、[はい、更新されたセットアップファイルをダウンロードします] をクリックして選択し、[次へ] をクリックします。



①ご利用前に

②基本操作

③インストール

④困ったときは

⑤ご案内

## 7 画面の手順に沿って再インストールを完了します

## ◆補足

この方法を実行できた場合は、修復インストールが正常にできているか確認してください。修復インストールを行うと、Windows XP が既定の状態に戻るため、Windows Update を実行して最新の状態にすることをお勧めします。

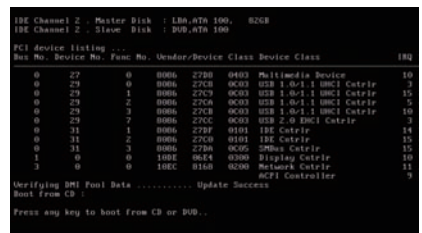
この方法で Windows XP を修復インストールできない場合は、方法 2 を実行してください。

## 方法 2 Windows XP インストールメディアで起動して修復インストールする

## 1 Windows XP インストールメディアを挿入します

インストールメディアを、光学ドライブに挿入し、パソコンを再起動させます。

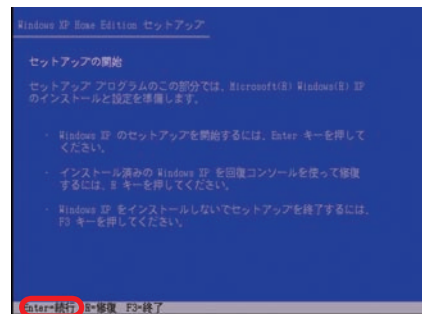
インストールメディアからパソコンを起動します。「Press any key to boot from CD」というメッセージが表示された場合は、キーボードの任意のキーを押します。  
(キーの指定は特にありません。)



## 2 セットアップ開始画面が表示されます

セットアップを開始します。

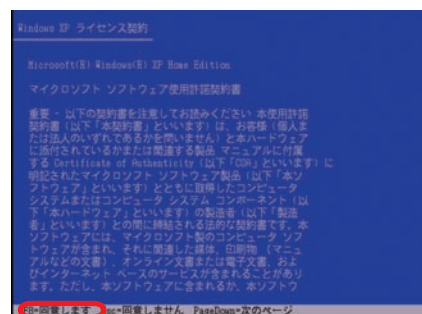
セットアップ画面が表示されたら、[Enter] キーを押します。



## 3 Windows XP ライセンス契約画面が表示されます

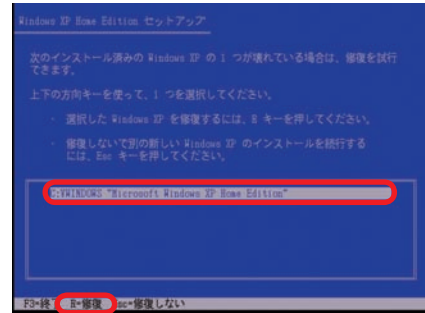
マイクロソフト「ソフトウェア使用許諾契約書」を確認し、[ 同意します ] を選びます。

[F8] キーを押してください。



## 4 Windows XP をインストールするパーティションを選択します

方向キーを使用して、Windows XP をインストールするパーティションを選択します。次に、[R] キーを押します。



## 5 画面の手順に沿って Windows XP 修復インストールを続行します

インストールの完了後、修復された Windows XP が起動します。

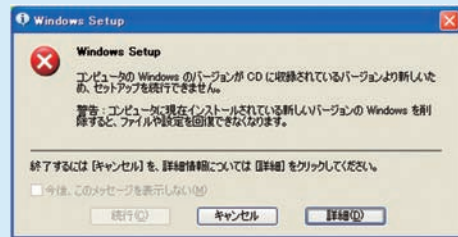
起動完了後、修復インストールが正常にできているか確認してください。修復インストールを行うと、Windows XP が既定の状態に戻るため、Windows Update を実行して最新の状態にすることをお勧めします。

また、修復インストール作業を行っても、パソコンの状態が改善できなかった場合は、Windows XP の再インストールを行ってください。作業方法は、104 ページ「Windows XP の再インストール」をご参照ください。

### ワンポイント

修復インストールを行うとエラーが発生する場合下記をご確認ください。

Windows XP Service Pack 2 (以下 SP2) をインストールしたパソコンで SP2 が適用されていない Windows XP CD や Windows XP SP1 CD を使って修復インストールを行うと、図のエラーが表示されて修復セットアップを行うことができません。



解決方法はマイクロソフトのサポートオンラインをご覧ください。

<http://support.microsoft.com/kb/884642/ja>

ハードディスクを増設した場合、そのままではご利用できません。

Windows のディスクの管理からパーティションの設定を行うことにより、使用できる状態になります。

## パーティション設定前の準備

作業中の事故などでデータが損失・損傷すると復旧することができなくなります。大切なデータは、作業前に必ずバックアップを取ってから、作業を行ってください。

## Windows 7・Windows Vista のパーティションの設定方法

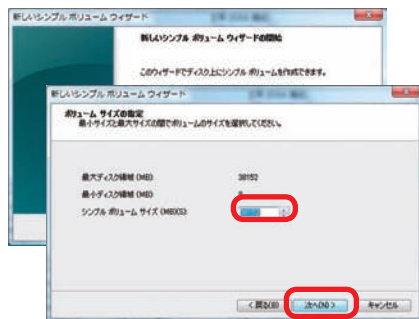
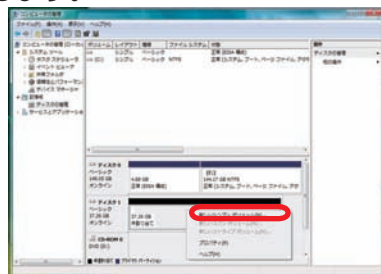
### ① 「ディスクの管理」を表示します。

- Windows Vista で「ディスクの管理」を表示します。  
[スタートメニュー]→[コントロールパネル]→[システムとメンテナンス]→[管理ツール]→[コンピュータの管理]→左のツリーから「記憶域」の中の[ディスクの管理]をクリックします。
- Windows 7 で「ディスクの管理」を表示します。  
[スタートメニュー]→[コントロールパネル]→[システムとセキュリティ]→[ハードディスク パーティションの作成とフォーマット] をクリックします。

### ② パーティションの設定を行うハードディスクを確認します。(今回の例では「ディスク 1」です) [未割り当て]の部分をクリックして[新しいシンプルボリューム]をクリックします。

### ③ 「新しいシンプルボリュームウィザードの開始」が表示されます。

- [次へ]をクリックし画面の手順に沿って進めます。「ボリュームサイズの指定」が表示されたらシンプルボリュームサイズを指定して[次へ]をクリックします。
- 次に「ドライブ文字またはパスの割り当て」と「パーティションのフォーマット」が表示されます。通常は設定を変更せずに[次へ]をクリックして「新しいシンプルボリュームウィザード」を完了します。

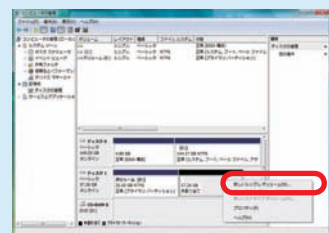


### ワンポイント

#### パーティションの分割方法

ドライブを分割したい場合は、分割するハードディスク容量を[ボリュームサイズの指定]で入力してください。

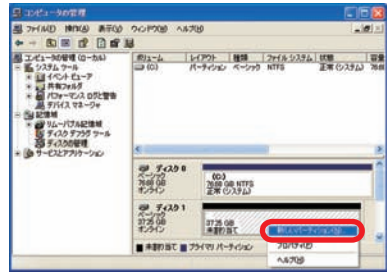
残りのドライブにつきましては、[新しいシンプルボリュームウィザード]の完了後に、残っている[未割り当て]の部分指定して同様に設定を行います。



## Windows XP パーティションの設定方法

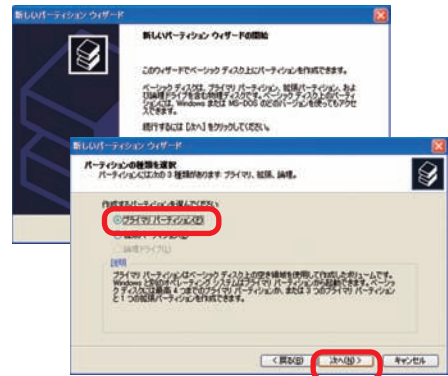
### ① 「ディスクの管理」を表示します。

- ・ [スタートメニュー] → [コントロールパネル] → [パフォーマンスとメンテナンス] → [管理ツール] → [コンピュータの管理] → 左のツリーから「記憶域」の中の [ディスクの管理] をクリックします。
- ・ パーティションの設定を行うハードディスクを確認します。(今回の例では「ディスク1」です)  
[未割り当て] 部分を右クリックして [新しいパーティション] をクリックします。



### ② 「新しいパーティションウィザードの開始」が表示されるので、[次へ]をクリックし画面の手順に沿って進めます。

「パーティションの種類を選択」が表示されたら [プライマリパーティション] を選択して [次へ] をクリックします。

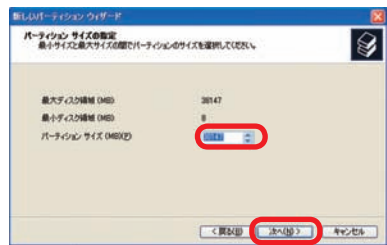


### ③ 「パーティションサイズの指定」が表示されます。

パーティションサイズを指定して [次へ] をクリックします。

次に「ドライブ文字またはパスの割り当て」と「パーティションのフォーマット」が表示されます。

通常は設定を変更せずに [次へ] をクリックして「新しいパーティションウィザード」を完了します。

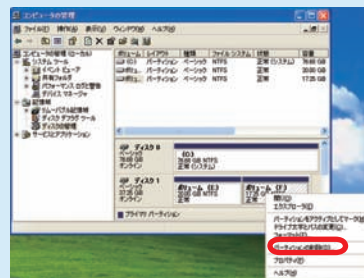


### ワンポイント

#### パーティションの削除方法

ドライブを削除したい場合は、「ディスクの管理」から、削除するボリュームを指定して右クリックし「パーティションの削除」で削除します。

(Windows Vista の場合「ボリュームの削除」を行います)



① ご利用前に

② 基本操作

③ インストール

④ 困ったときは

⑤ ご案内



# デバイスドライバーのインストール

Prime パソコンに採用しているデバイスドライバーのインストール例です。

ご購入のモデルやカスタマイズ内容により若干表示が異なる場合はございますが、基本的には同様手順にてインストールを行いますので、ご参照ください。

## インストール手順

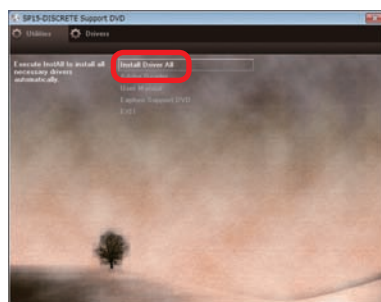
ドライバーメディアを光学ドライブに入れ、表示されるインストールメニューに従いインストールを行います。

## Critea DXノートパソコンのドライバーインストールメニュー

- Windows7 32bit モデルのドライバーインストールメニュー  
メニューが表示されます。

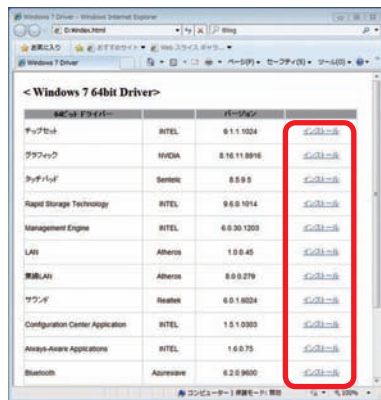
[Install Driver All] をクリックして  
ドライバーのインストールを行います。

Critea DX ドライバーメディア  
Windows7 32bit モデル用▶



- Windows7 64bit モデルのドライバーインストールメニュー  
メニューが表示されます。

上から順番に各項目をクリックして  
ドライバーのインストールを行います。



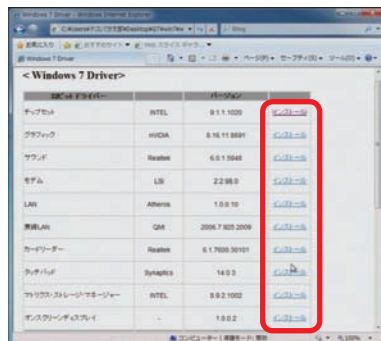
## Galleria GT ノートパソコンのドライバーインストールメニュー

- ドライバーインストールメニュー

メニューが表示されます。

上から順番に各項目をクリックしてドライバーの  
インストールを行います。

Galleria GT ドライバーメディア▶



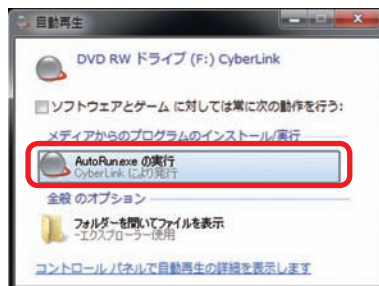
付属する代表的なソフトウェアのインストール手順について説明します。

## DVD 再生ソフト及び CD・DVD ライティングソフトのインストール

例として「Cyberlink DVD Suite」のインストールについて説明します。

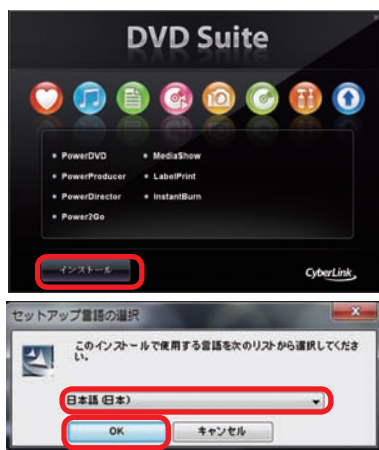
### ① インストールメニュー画面が表示されます

- ・インストールメディア をドライブに入れます。  
(Cyberlink DVD Suite の記載がある DVD)
- ・メディアを認識すると「自動再生」のウィンドウが開きます。[AutoRun.exe の実行] をクリックしてください。インストールメニュー画面が表示されます。



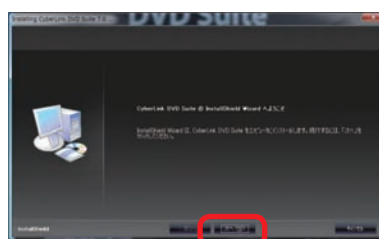
### ② インストールを開始します

- ・ [インストール] をクリックします。
- ・ セットアップ言語の選択が表示されます。  
[日本語] を選び [OK] をクリックします。



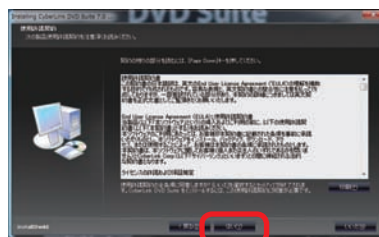
### ③ 「Cyberlink DVD Suite の InstallShield Wizard へようこそ」が表示されます

[次へ] をクリックします。



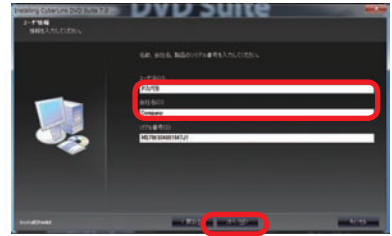
### ④ 「使用許諾契約」が表示されます

内容をお読みのうえ [はい] をクリックします。



## 5 「ユーザー情報」が表示されます

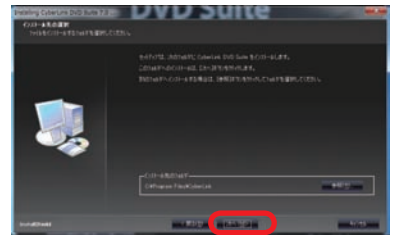
- ・「ユーザー名」を入力します。
- ・「会社名」を入力します。  
(ユーザー名・会社名は空欄のままでは[次へ]がクリックできません)
- ・「CD-key/ シリアル番号」は変更せず、そのまま[次へ]をクリックします。



**!** 商品によって「CD-key」の入力が必要な場合があります。  
その場合は CD-ROM レーベル面、CD ケースまたは説明書に貼付されているシールに記載の「CD-key」を入力してください。

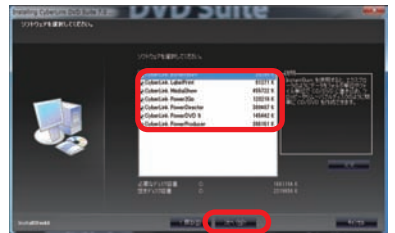
## 6 「インストール先の選択」が表示されます

- インストール先のフォルダを指定します。
- そのままの設定で[次へ]をクリックします。



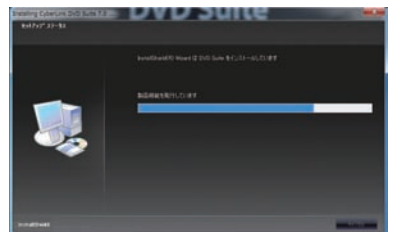
## 7 「ソフトウェアを選択してください」が表示されます

- インストールするソフトウェアを選択します。
- ・[Cyberlink Power 2Go] のチェックを入れます。
- ・[Cyberlink Power DVD] のチェックを入れます。
- ・インストールするソフトウェアの選択が完了したら、[次へ]をクリックします。



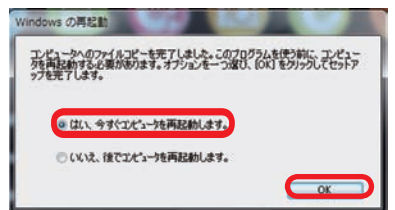
## 8 インストールが開始されます

- ・インストールが開始されます。
- ・インストールが完了すると、再起動を求められますので再起動を行ってください。



## Blu-ray 搭載モデル

Blu-ray 搭載モデルの場合、Blu-ray 再生用のソフトが別途添付されている場合があります。  
Blu-ray のソフトが再生できない場合は再生ソフトを、ご確認ください。



## PC-Doctor インストール

PC-Doctor とは、Prime パソコンに異常が無いか診断するソフトウェアです。

### 1 PC-Doctor のインストールを開始します

- ・インストール CD を光学ドライブに入れます。  
(黄緑色の PC - Doctor と書かれた CD です)
- ・メディアを認識すると「自動再生」のウィンドウが開きますので、[pcdr\_setup.bat の実行] をクリックしてください。  
「PC-Doctor for Windows セットアップウィザード」が起動します。

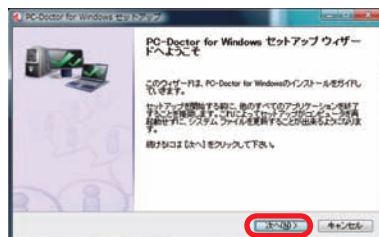


「PC-Doctor」メディア▶



### 2 「PC-Doctor for Windows セットアップウィザード」が表示されます

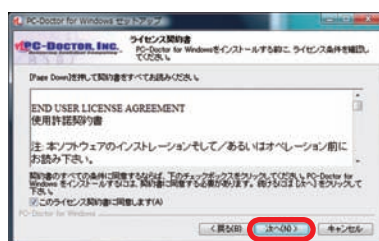
[次へ] をクリックします。



### 3 「ライセンス契約書」が表示されます

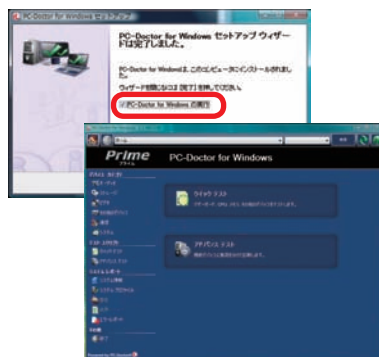
内容を確認のうえ、[このライセンス契約書に同意します]のチェックを入れてください。

その後、[次へ] をクリックします。



### 4 「PC-Doctor for Windows セットアップウィザードは完了しました」が表示されます

このまま、PC-Doctor を実行する場合は [ PC - Doctor for Windows の実行 ] のチェックを入れた状態で [完了] をクリックして完了してください。



①ご利用前に

②基本操作

③インストール

④困ったときは

⑤ご案内

## はじめに

「故障かな？」と思っても落ち着いて調べてみましょう。パソコン本体の故障ではなく、ソフトウェアや、周辺機器・増設機器に問題が発生している場合もあります。本項目の内容を確認して解決法がないか確認しましょう。

## 1. 画面にエラーメッセージ等が表示されていませんか？

表示されている場合、正確にメモしましょう。(デジタルカメラなどで撮影しておくくと便利です) サポートコールセンターにお問い合わせの際に役に立ちます。メッセージ以外にもエラー音(ピーと言う電子音)や、発生状況(どのソフトや作業をしている時に発生したのか)をできるだけ詳しくメモしましょう。

## 2. 不具合の発生前に、ソフトウェアのインストールや周辺・増設機器の追加をしていませんか？

該当するものがあつた場合は、取り付けが正しく接続されているか確認しましょう。それでも改善しない場合は、接続した機器を一旦取り外してご購入時の状態に戻し確認しましょう。

## 3. ソフトウェア実行中に問題が発生した場合

ソフトウェアのマニュアルを参照したり、ソフトウェアのサポートセンターに相談してみましょう。解決法が見つかるかもしれません。

## 4. 本項目「困ったときは」で該当項目を探しましょう

該当項目があつた場合は、本項目の手順に沿って確認してください。

## 5. オンラインFAQで該当項目を探しましょう

弊社ウェブサイトのFAQにて、よくあるご質問の解決案や対応方法が見つかるかもしれません。

<http://www.dospara.co.jp/support/>

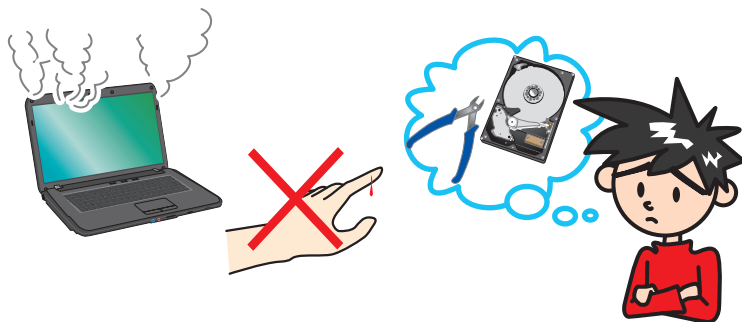
## 6. サポートコールセンターへ相談しましょう

上記を確認しても改善できない場合は、サポートコールセンターまでご相談ください。連絡先は147ページ「サポート案内」をご参照ください。

また、お問い合わせの際は購入時の書類や「Prime 製造番号」(15ページ「箱の中身を確認する」をご参照ください)をお手元にご用意の上ご連絡ください。

 **注意**

1. 「異音がした」、「焼けたような匂いがした」などの場合はすぐに電源を切り電源ケーブルをコンセントから抜いてください。故障やけがの原因となります。
2. お客様の取り付けミスなどによる不具合の場合は、保険に加入されている場合を除き、保証期間内でもサポートを承れない場合があります。
3. 改造など弊社規定の使用方法以外でご使用されて不具合が発生した場合は、保証期間内でもサポートを承れない場合があります。



不具合対処一覧			ページ
4/1	困ったときは	はじめに	124
		用語の説明	126
4/2	パソコントラブル 解決手順	電源が入らない	127
		作業中にフリーズする・ブルースクリーンになる	128
		インターネットにつながらなくなった	129
4/3	パソコントラブル FAQ (BIOS ~ Windows 起動前)	ディスプレイに何も表示されない	132
		「Reboot and Select proper boot device or Insert Boot Media in Selected Boot device and press a key」と表示されて、先に進まない	132
		「BOOTMGR is missing Press CTRL + ALT +DEL to restart」と表示されて、先に進まない	133
		「S.M.A.R.T. Status BAD, Backup and Replace Press F1 to Resume」と表示されて、先に進まない	133
4/4	パソコントラブル FAQ (Windows 起動後)	画面がにじむ・画面の比率がおかしい (画面の解像度設定)	134
		音が出ない (サウンドの設定)	134
		増設したハードディスクやフラッシュメモリが認識されない (記憶装置のパーティション設定)	134
4/5	パソコントラブル FAQ(ハードウェア)	光学ディスク (CD-ROM、DVD など) が取り出せなくなった	135
		時計が合っていない	135
		夏場など、暑い時期に頻繁にフリーズする (パソコンが停止して操作不能になる)	135
4/6	パソコントラブル FAQ (その他)	特定の文字が入力できない (キーボード操作について)	136
		プロダクトキー入力が正しく行えない	136
		フラッシュメディアの安全な取り外しを行うと、カードリーダーが認識しなくなる	136
		マイコンピュータのプロパティに表示されるメモリ容量が搭載容量より少ない	136
		ハードディスクの空き容量を確かめるには	137
		ハードディスクの容量が広告の表示よりも少ない	137
		漢字入力ができない	137
		液晶ディスプレイのドット抜けについて	137
4/7	改善のための 操作方法	システムの復元	138
		Windows をセーフモードで起動する	138
		プログラムのアンインストール	139
		タスクマネージャー	139
4/8	ハードウェア診断ソフト「PC-Doctor」簡易操作方法		140
4/9	サポートコールセンターよりお客様へ		142

## 用語の説明

「困ったときは」で使用する一部用語を説明します。

### ・BIOS (バイオス、Basic Input/Output System) とは

パソコンの土台となるマザーボードというパーツに入っている、ハードウェアの認識などの基本的な操作を行っているソフトウェアです。

### ・OS (オーエス、Operating System) とは

基本的な機能を提供し、コンピューターシステム全体を管理するソフトウェアです。現在一般的なものに Microsoft 社製の Windows シリーズと Apple 社製の Mac OS シリーズがあります。

### ・ブルースクリーンとは

Windows でシステムにエラーが発生した場合に起こる、青い画面に白い文字列でエラーメッセージが表示される画面です。ブルースクリーンはソフトウェア・ハードウェアそれぞれに不具合が発生した場合以外にも、ソフトウェアとハードウェアの相性で発生する場合があります。

### ・フリーズ (Freeze) とは

パソコンの動作が停止し、「操作できなくなった」「固まってしまった」「ハングアップした」状態を表します。フリーズはソフトウェア・ハードウェアそれぞれに不具合が発生した場合や、ソフトウェアとハードウェアの相性、電源不足で発生する場合があります。

### ・熱暴走とは

半導体部品が排熱不良や過剰負荷などの原因で異常発熱し、正常に動作しない状態を指します。冷却ファンなどにホコリが堆積することで発生する場合があります。

### ・ハードウェア (Hardware) とは

CD・DVD ドライブ、ハードディスク、マザーボード、本体ケース、冷却ファンなどのパソコンを構成しているパーツ (部品) のことです。

### ・ソフトウェア (Software) とは

パソコンはハードウェア (パソコン本体) だけでは動作しません。基本ソフトウェアが必要です。また、様々な作業をさせるために、必要に応じたアプリケーションソフトをインストールする必要があります。

基本ソフトウェア：オペレーティングシステム (Windows、Mac OS、UNIX など)

アプリケーションソフト：ワープロソフト、表計算ソフトなど

### ・インストール (Install) とは

パソコンに OS やアプリケーションソフト、デバイスドライバーなどソフトウェアの設定を行い、プログラムを実行できる状態にすることです。

### ・アンインストール (Uninstall) とは

コンピューターにインストールされたアプリケーションソフトを削除し、インストール前の状態に戻すことです。

### ・ドライバー (Driver) とは

OS 上で各種パーツを正常に動作させるためのソフトウェアです。ドライバーをインストールしていない場合や正常に動作していない場合には、音がでなかったり、インターネットに接続ができません。

## 電源が入らない

## ① 電源環境・ケーブル接続の確認

- ・付属のアダプターを使用していない場合は、正しい物に交換しましょう。
  - ・アダプターとバッテリーを一旦取り外して、再度接続してみましょう。
  - ・バッテリーを外してアダプターだけ接続してみましょう。※
  - ・アダプターを外してバッテリーだけ接続してみましょう。※
- ※どちらかを外して問題が解決した場合は、外した方に何らかの問題があることが考えられます。サポートコールセンターへお問い合わせください。

## ② 増設機器の取り外し

機器が接続されている場合に、組み合わせの相性により、正常に起動しない場合があります。周辺機器（外付けのハードディスクや USB メモリーなど）や、SD・MMC・MS などのフラッシュメモリー、増設メモリーがある場合は、取り外した状態で正常に起動するか確認してみましょう。

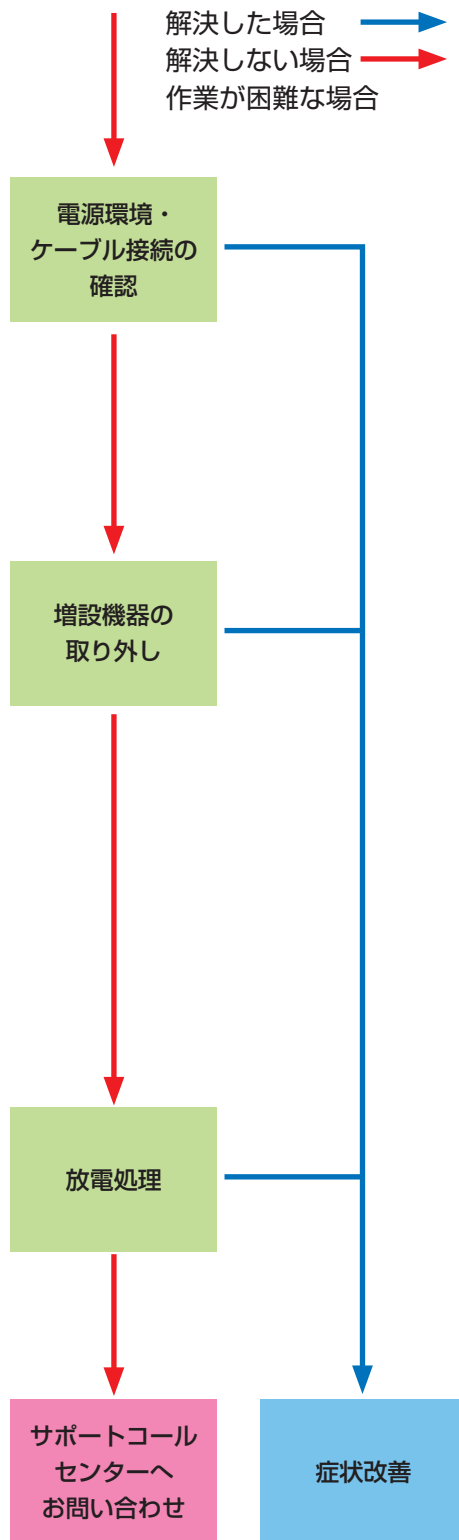


## ③ 放電処理

通常の手順で電源を切らなかった場合、電源制御のコントローラが停止している場合があります。下記の手順に沿って放電処理を行ってください。

- ・電源ケーブル・AC アダプターを取り外します。
  - ・バッテリーを取り外します。
  - ・電源ボタンを5回程押します。
  - ・12 時間程放置します。
- ・放置後に「①電源環境・ケーブル接続の確認」の手順で動作確認をしてみましょう。

解決した場合 →  
解決しない場合 →  
作業が困難な場合 →



① ご利用前に

② 基本操作

③ インストール

④ 困ったときは

⑤ ご案内



## 作業中にフリーズする・ブルースクリーンになる

操作ができない状況になってしまった場合には、あわてて電源を切ったり、むやみにマウスのボタンやキーボードのキーを押したりせず、5分ほど放置してください。なんらかのメッセージが表示された場合はメッセージを書き留めてください。

状況が変わらず改善しない場合は、139 ページ「タスクマネージャ」を確認してください。それでも変わらない場合は、電源ボタンを4秒以上長押しして電源を切ってください。

## ① 電源環境・ケーブル接続の確認

## ② 増設機器の取り外し

127 ページ「電源が入らない①②」を確認してみましょう。

## ③ セーフモード

Windows を最低限必要な機能だけで起動するモードです。セーフモードで Windows が起動するか確認してみましょう。

参照：138 ページ「Windows をセーフモードで起動する」

## ④ システムの復元

Windows のシステムを、不具合が発生する前の状態に戻す機能です。セーフモードの起動ができた場合には、システムの復元を行うことで改善されるか確認してみましょう。

参照：138 ページ「システムの復元」

## ⑤ PC-Doctor

Prime パソコンに付属しているハードウェア不具合の検出ツールです。PC-Doctor を使ってハードウェアに不具合が発生していないか確認してみましょう。

参照：140 ページ「『PC-Doctor』簡易操作方法」

エラーあり：サポートコールセンターへお問い合わせください  
エラーなし：OS の新規インストールへ進んでください

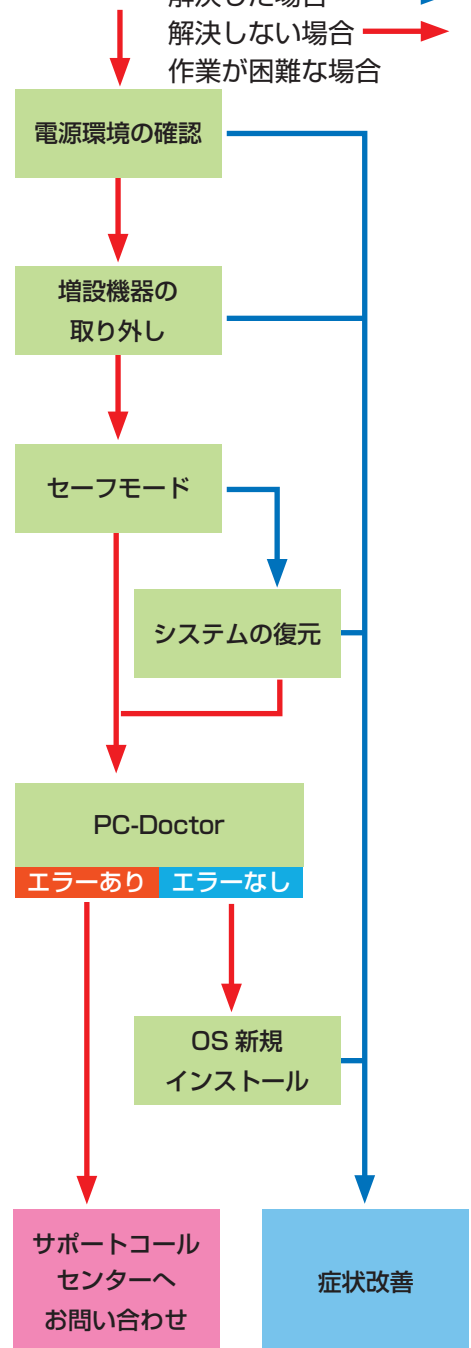
## ⑥ OS 新規インストール

Windows をインストールし直して、Windows を購入時の状態に戻します。

参照：72 ページ「OS インストール前の準備」

⚠ OS の新規インストールを行うと、データは全て削除されるので、予めご了承ください。

解決した場合 →  
解決しない場合 →  
作業が困難な場合 →



## インターネットにつながらなくなった

急にインターネットにつながらなくなる場合には、さまざまな原因が考えられます。ここでは一般的な改善案をご案内します。

なお初めてインターネットの設定をされる方は、39 ページ「インターネットの接続」を参照して設定をしましょう。

解決した場合 →  
 解決しない場合 →  
 作業が困難な場合 →

### ① LAN ケーブル接続の確認

LAN ケーブルの接触不良や LAN ケーブル自体の不具合が原因となっている場合があります。

ルーター・モデム側とパソコン側の両方のケーブルを挿し直しすることで改善されるか確認してみましょう。

LAN ケーブルを複数お持ちの場合は、別の LAN ケーブルを接続して確認してみましょう。

なお無線をご利用の場合は、まず有線で接続してインターネットに接続できるか確認してみましょう。

### ② ネットワーク接続環境の確認

ルーター・モデムに複数のパソコンを接続していると、システムが競合してインターネットに接続できない場合があります。

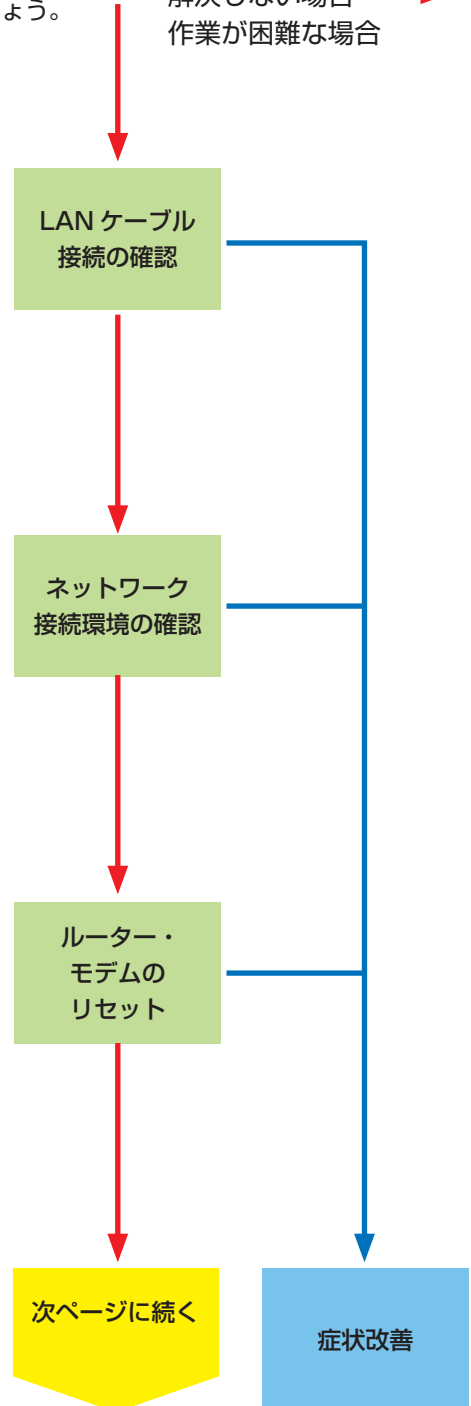
他のパソコンも接続している場合には一時的に取り外し、つながらないパソコンだけを接続してみましょう。

### ③ ルーター・モデムのリセット

ルーター・モデムの設定に不具合が発生している場合があります。

ルーター・モデムの取扱説明書を確認して、設定をリセットしてみましょう。

また、リセットを行っても設定が残ってしまう場合がありますので、接続している機器を全て取り外して、ルーター・モデムの電源を入れ直してみましょう。



①ご利用前に

②基本操作

③インストール

④困ったときは

⑤ご案内

**④ 導入ソフトウェアの確認**

インストールしたソフトウェアが原因となっている場合があります。

インターネットにつながらなくなる直前に、インストールしたソフトウェアがある場合には、一旦削除してみましょう。

**⑤ ファイアウォールの確認**

Windows のファイアウォールが誤作動している場合があります。

ファイアウォールを一時的に無効にすることでインターネットに接続できるか確認してみましょう。

接続できた場合には、別途ファイアウォールやセキュリティソフトを導入し、ウイルスやスパイウェアからデータを守りましょう。

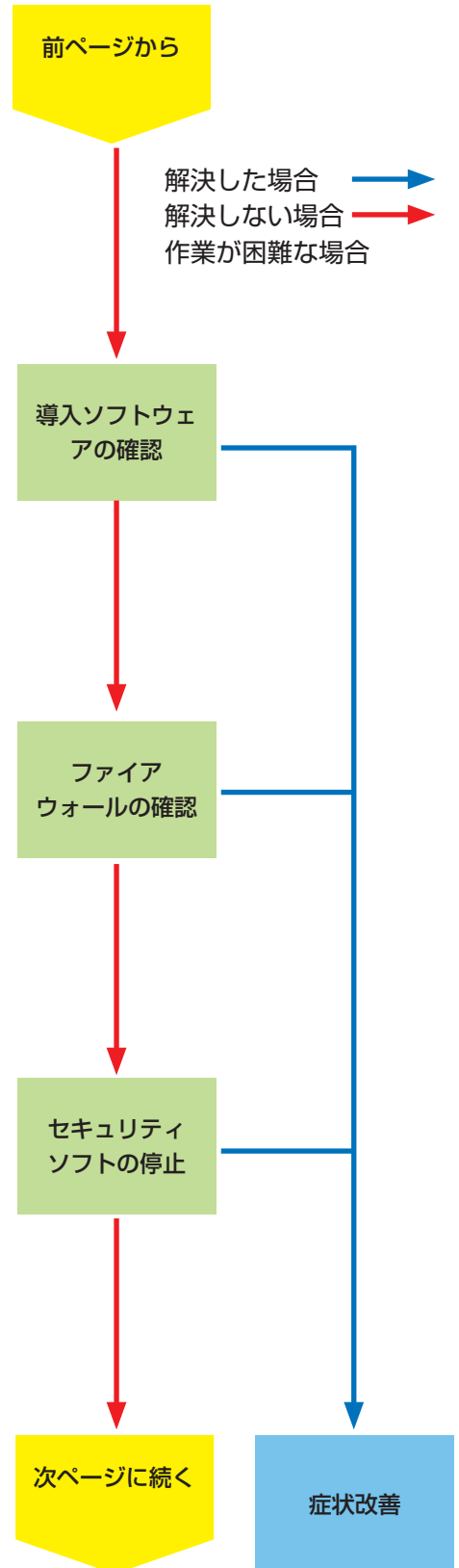
参照：42 ページ「① ファイアウォール」を有効にします

**⑥ セキュリティソフトの停止**

ウイルススキャンソフトなどのセキュリティソフトを利用している場合、インターネットの接続が妨げられることがあります。

セキュリティソフトを一時的に停止することで、インターネットに接続できるか、確認をしてみましょう。

セキュリティソフトの停止方法については、ソフトウェアの販売元にお問い合わせください。



# パソコントラブル解決手順

## ⑦ プロバイダに確認

ご利用のプロバイダによっては特別な設定が必要な場合や、インターネットの回線自体に不具合が発生している場合があります。

ご利用になっているプロバイダのサポートまで、設定や回線状態などについて確認してみましょう。

## ⑧ ネットワークドライバーの入れ直し

ネットワークに接続するためには、ネットワーク機器を動作させるためのソフトウェア（ネットワークドライバー）が正常に動作している必要があります。

ネットワークドライバーがインストールされていない場合や、正常に動作していない場合にはインターネットに接続できません。

ネットワークドライバーは付属のドライバー CD/DVD に入っています。

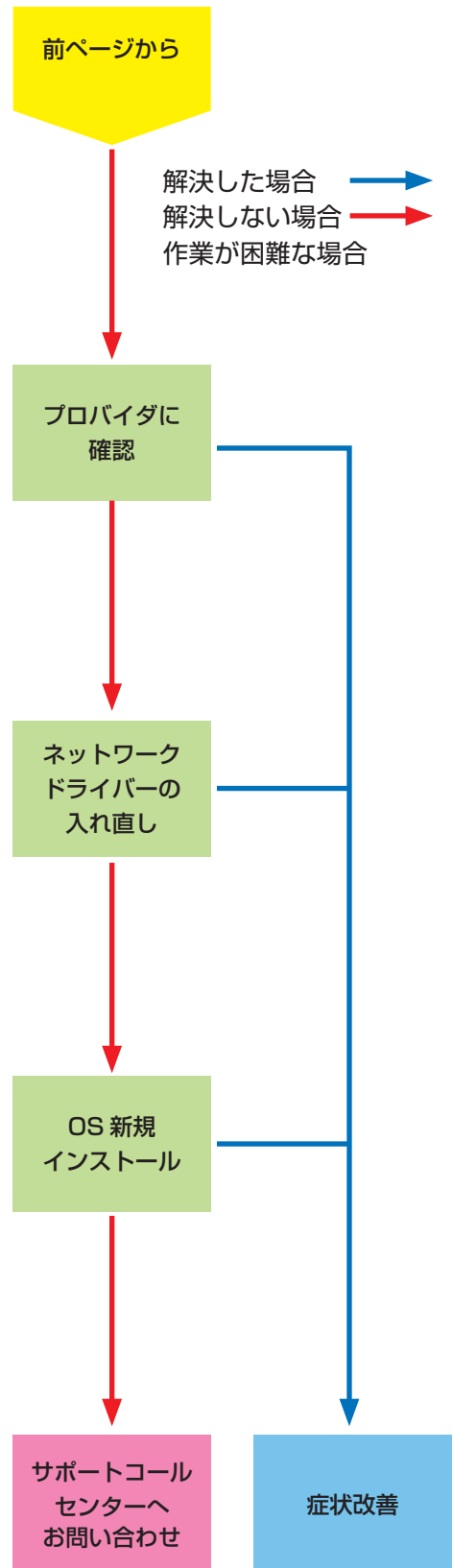
参照：120 ページ「デバイスドライバーのインストール」

## ⑨ OS 新規インストール

Windows をインストールし直して、Windows を購入時の状態に戻します。

参照：72 ページ「OS インストール前の準備」

**⚠** OS の新規インストールを行うと、データは全て削除されるので、予めご了承ください



①ご利用前に

②基本操作

③インストール

④困ったときは

⑤ご案内

## ■ ディスプレイに何も表示されない

ディスプレイに何も表示されない場合は、様々な要因が考えられます。

- **ディスプレイの輝度（明るさ）が小さくなっている場合**  
Fn キーと特定のキーの組合せで設定を変更します。（購入時の仕様により組合せのキーは変わります）32 ページ「キーボードの使い方」を参考に確認しましょう。
- **ディスプレイの省電力状態が動いている場合**  
キーボードのキーやタッチパッドを操作してみましょう。
- **パソコンがスリープ状態に入っている場合**  
キーボードのキーやタッチパッドを操作して変わらない場合は電源スイッチを押してみましょう。
- **外部ディスプレイに表示が設定されている場合**  
Fn キーと特定のキーの組合せで設定を変更します。（購入時の仕様により組合せのキーは変わります）32 ページ「キーボードの使い方」を参考に確認しましょう。上記を試して改善できない場合は 127 ページ「電源が入らない」を確認しましょう。



## ■ 「Reboot and Select proper boot device or Insert Boot Media in Selected Boot device and press a key」と表示されて、先に進まない

「再起動するか、適切な起動デバイスを選択または起動メディアを挿入した状態で、何かキーを押してください」という内容です。

この症状が発生する主な原因として、起動デバイスであるハードディスクの中に、起動できる OS が入っていない場合があります。

- **OS をインストールしていない場合**  
72 ページ「OS インストール前の準備」を参照してインストールしましょう。
- **すでに OS をインストールしている場合**  
下記手順で改善されるか確認してみましょう。

1. 電源環境の確認・増設機器の取り外し  
127 ページ「電源が入らない①②」を確認してみましょう。
2. 光学ドライブにディスクが入っている場合は取り出します。
3. OS のシステムファイルが壊れている場合があります。  
72 ページ「OS インストール前の準備」を参照して OS をインストールし直しましょう。  
改善されない場合にはハードウェア不具合の可能性が考えられます。  
その場合は、サポートコールセンターまでお問い合わせください。



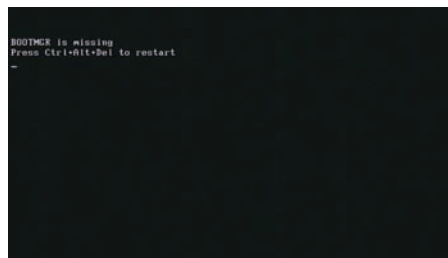
# パソコントラブル FAQ (BIOS ~ Windows 起動前)

## ■ [BOOTMGR is missing Press CTRL + ALT +DEL to restart] と表示されて、先に進まない

「BOOTMGR が見つかりません。CTRL + ALT + DEL を押して再起動してください。」という内容です。BOOTMGR は Windows Vista の起動時に必要なプログラムです。

この症状が発生する主な原因として、Windows のシステムファイルが破損している場合があります。

112 ページ「Windows Vista スタートアップ修復」を参照して OS を修復してみましょう。



①ご利用前に

②基本操作

③インストール

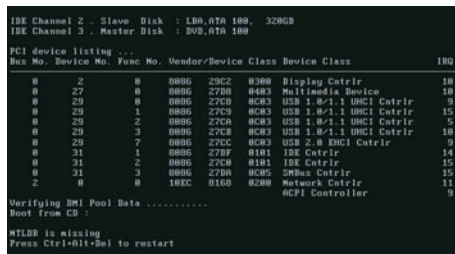
④困ったときは

⑤ご案内

### ワンポイント

Windows XPの場合「NTLDR is missing Press CTRL +ALT+DEL to restart」と表示され、先に進まない場合があります。

その場合は、114 ページ「Windows XPの修復インストール」を参照してOS を修復してみましょう。

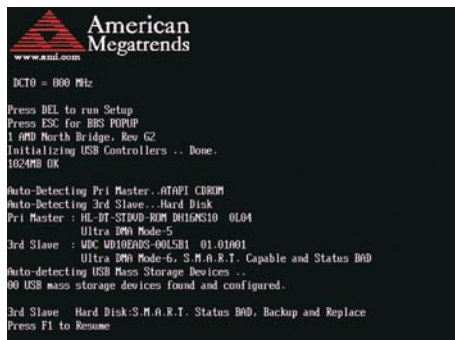


## ■ [S.M.A.R.T. Status BAD, Backup and Replace Press F1 to Resume] と表示されて、先に進まない

S.M.A.R.T. とは Self-Monitoring, Analysis and Reporting Technology の略で、ハードディスク障害の早期発見・故障の予測を目的としてハードディスクに搭載されている機能です。

この症状が発生した場合には、ハードディスク自体の故障の可能性が考えられます。

再起動を行っても症状が改善されない場合は、147 ページ「サポート案内」を参照し、サポートコールセンターまでお問い合わせください。



## ■ 画面がにじむ・画面の比率がおかしい (画面の解像度設定)

画面表示がにじんでいたたり、比率がおかしい場合には、ご利用のディスプレイが適切な解像度に設定されていない場合があります。

35 ページ「画面解像度の設定」を参照して設定を確認し、正常に表示されるか確認してみましょう。

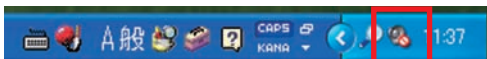
## ■ 音が出ない (サウンドの設定)

Prime パソコンはスピーカーを内蔵していません。音響機器を接続していない場合には音が出ませんので、スピーカーやヘッドホンなどを接続して音声が出るか確認してみましょう。スピーカーをつなげても音が出ない場合には、音量設定の音量レベルが低かったり、ミュートに設定されている場合があります。

右下のタスクトレイから音量調節ツール (スピーカーマーク) をクリックして起動し、確認してみましょう。



Windows XP タスクトレイ



Windows Vista・Windows 7 タスクトレイ



- Windows Vista・Windows 7 の場合、音量ミキサのミュートボタンにチェックが入っている時は、チェックボックスをクリックしてミュートを解除しましょう。音量レベルが低く設定されている場合には、レベルを上げてみましょう。

- Windows XP の場合 [ マスタ音量 ] ツールの中にある [ マスタ音量 ] や [ WAVE ] のミュートボタンにチェックが入っている時は、チェックボックスをクリックしてミュートを解除しましょう。[ マスタ音量 ] や [ WAVE ] のレベルが低くなっている場合は、レベルを上げてみましょう。



## ■ 増設したハードディスクやフラッシュメモリが認識されない (記憶装置のパーティションの設定)

ハードディスクやフラッシュメモリなどの記憶装置には、パーティションの設定を行わないと認識されない製品があります。

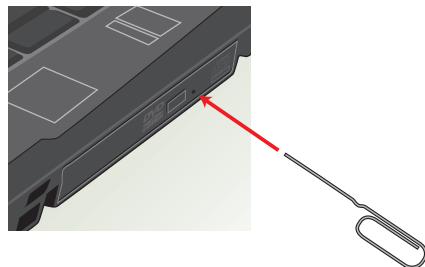
増設直後にコンピュータ (Windows Vista・Windows 7) やマイコンピュータ (Windows XP) にドライブが表示されていない場合には、118 ページ「パーティション設定方法」を参照してパーティションの設定を行い、正常に表示されるか確認してみましょう。

## ■ 光学ディスク (CD-ROM、DVD など) が取り出せなくなった

アプリケーションのエラーなどの原因で光学ディスクが取り出せなくなったときは、「コンピュータ (Windows Vista・Windows 7)」や「マイコンピュータ (Windows XP)」内にある、光学ディスクドライブを示すアイコンを右クリックして、「取り出し」をクリックしてください。

それでも取り出せないときは、長さ 4cm 程度の細い針金 (大きめのゼムクリップを伸ばしたものなど) を用意して、以下の手順でディスクを取り出してください。

1. パソコンの電源を切ります。
2. 光学ドライブのイジェクトボタン横にある直径 2mm ぐらいの小さな穴に、用意した針金を入れて押し込みます。(緊急イジェクトホール)
3. ディスクトレイが 1cm 程度出てきますのでトレイを静かに引きし、ディスクを取り出し、ディスクトレイを静かに押し閉めます。



## ■ 時計が合っていない

パソコンとはいえ、精密機械ですので時間がずれることもあります。時間がずれるとファイル保存のときやメールの送受信の時間もずれてしまいますので、定期的に合わせましょう。

1. 時間が表示されているところをダブルクリックして、「日付と時刻」を表示します。
2. 「日付と時刻の変更」をクリックします。
3. 「日付と時刻の設定」が開きますので、日付と時刻の設定を行い、[OK] をクリックします。

時計を合わせてもすぐにずれてしまう場合は、147 ページ「サポート案内」を参照し、サポートコールセンターまでお問い合わせください。



## ■ 夏場など、暑い時期に頻繁にフリーズする (パソコンが停止して操作不能になる)

パソコンパーツの多くは動作時に発熱します。パソコンを使用する部屋の温度が高すぎる、通風孔をふさいでしまう、CPUクーラーにホコリが溜まり冷却を妨げてしまうなどの要因によりパソコン内部の冷却が十分に行えず、内部温度も過剰に上昇し、正常動作に適さない温度に達します。

温度上昇によりフリーズや、正常に動作しなくなる状態をパソコンが熱暴走を起こすといえます。

1. 7 ページ「安全のために」を参照してパソコンの周りを確認しましょう。
2. 内部にホコリが溜まってしまった場合、ドスパラ全店及びサポートコールセンターにて有償クリーニングを承ります。また、DJ メールマガジンで購読の方はお持込みいただくことで Prime パソコンの内部クリーニングを無料でを行います。詳しくは下記の WEB またはサポートコールセンターまでご相談ください。 <http://www.dospara.co.jp/cln>





① ご利用前に

② 基本操作

③ インストール

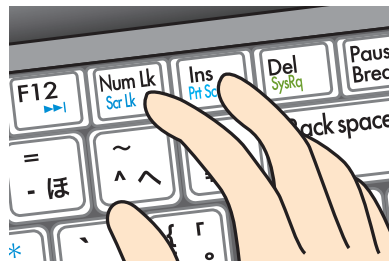
④ 困ったときは

⑤ ご案内

### ■ 特定の文字が入力できない (キーボード操作について)

「Num Lock」が有効になっているとアルファベットキーの一部の入力がテンキー入力になり、アルファベットが入力できなくなります。「Num Lock」を無効にしましょう。

32 ページ「キーボードの使い方」を参考に確認しましょう。



### ■ プロダクトキー入力が正しく行えない

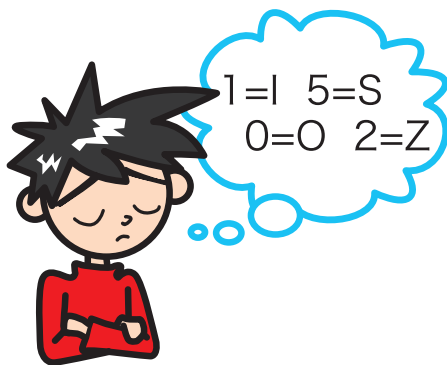
プロダクトキーの入力画面で特定のキーが入力できない場合、「プロダクトキーが無効です」と表示される場合には、誤った文字を入力されている可能性があります。

プロダクトキーの入力画面では、使用されない文字は入力できません。

使用されない数字 [ 1、5、0 ]

使用されない文字 [ A、E、I、L、N、O、S、U、Z ]

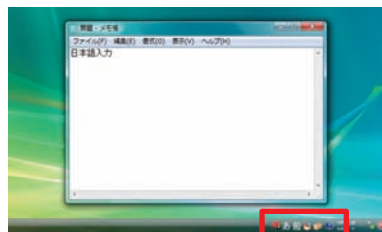
またプロダクトキーの文字は小さいため、[6] と [G]、[8] と [B] など、見間違えやすい文字もありますので、16 ページ「プロダクトキーの確認」を参照して確認してみましょう。



### ■ 漢字入力ができない

キーボード左上に「半角/全角」と印刷されたキーがあります。Windows 上で漢字を入力するときは、このキーを押すごとに日本語入力とアルファベット入力が交互に切り替わります。

このとき IME ツールバーの左側に日本語モードなら「あ」、英数モードなら「A」と表示され、入力モードが確認できます。

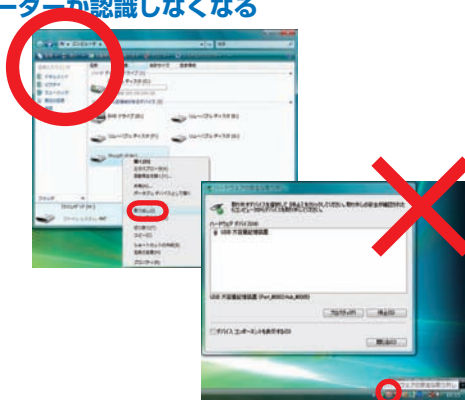


### ■ フラッシュメディアの安全な取り外しを行うと、カードリーダーが認識しなくなる

本体に内蔵されているカードリーダーは一つの USB カードリーダーとして認識されています。

タスクトレイにあるハードウェアの安全な取り外しで、このカードリーダーを取り外すとカードリーダー自体を取り外したことになり、再起動するまで認識されなくなります。

カードリーダーに挿入したメディアを取り外す場合には、[スタート] から [コンピュータ (Windows Vista・Windows 7)]、[マイコンピュータ (Windows XP)] をクリックし、該当ドライブを右クリックして [取り出し] を行いましょう。



■ **ハードディスクの空き容量を確かめるには**

空き容量を確かめるには、[ コンピュータ (Windows Vista・Windows 7) ]、[ マイコンピュータ (Windows XP) ] をクリックして開き (Windows XP の場合 [ スタート ] → [ マイコンピュータ ])、確かめたいフロッピーディスクやハードディスクを右クリックして開いたメニュー画面の [ プロパティ ] をクリックしてください。ディスクのプロパティが開き、使用領域や空き領域が表示されます。

ハードディスクは常に 15% 以上の空き容量があると良いでしょう。

※ハードディスクの空き容量が 15% 以下になると、デフラグができなくなります。



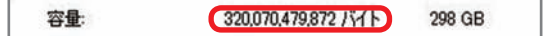
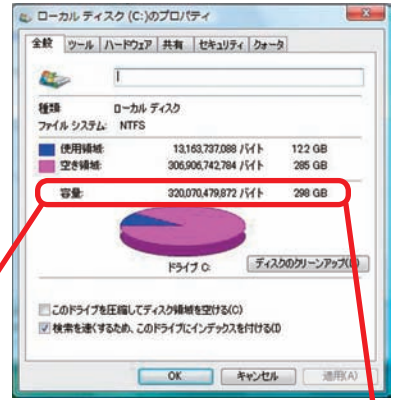
■ **ハードディスクの容量が広告の表示よりも少ない**

Windows でハードディスクの容量を表示すると、以下の 2 つの理由により、広告やお店の表示よりも少なくなります。

ひとつは、ハードディスクには「Save to Disk」という、システムの状態を一時的に保存する領域が設けてあり、この領域は Windows には認識されないため、この領域の分だけ容量が少く表示されます。

もうひとつは、広告などで表示している容量と、Windows で表示される容量は、計算方法が異なるためです。広告などの表示では 1MB (メガバイト) は 1,000 × 1,000 バイトとして計算されています。

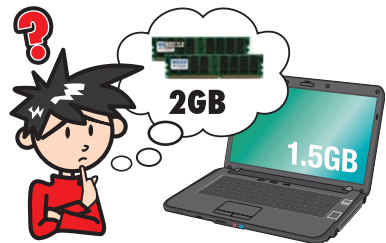
一方、Windows は 1MB を 1,024 × 1,024 バイトで計算していますので、結果として全体の容量が少く表示されます。



■ **システムに表示されるメモリ容量が搭載容量より少ない**

チップセット内蔵ビデオを使用するモデルの場合、メインメモリから最大 512MB をビデオメモリとして使用します。

システムに表示される容量は、メインメモリからビデオメモリとして動画再生や 3D 描画に使用する容量を差し引いた容量となります。



■ **液晶ディスプレイのドット抜けについて**

液晶ディスプレイ (LCD) は、非常に高精度な技術にて製造されております。

ごく僅かにドット抜け (点灯しない又は常時点灯する画素) が発生することがございますが、LCD の特性であり、現在の製造技術では完全に無くすことはできません。

また、この数は自然増減することがありますが、これらは LCD の特性によるもので故障や初期不良品ではございません。

① ご利用前に

② 基本操作

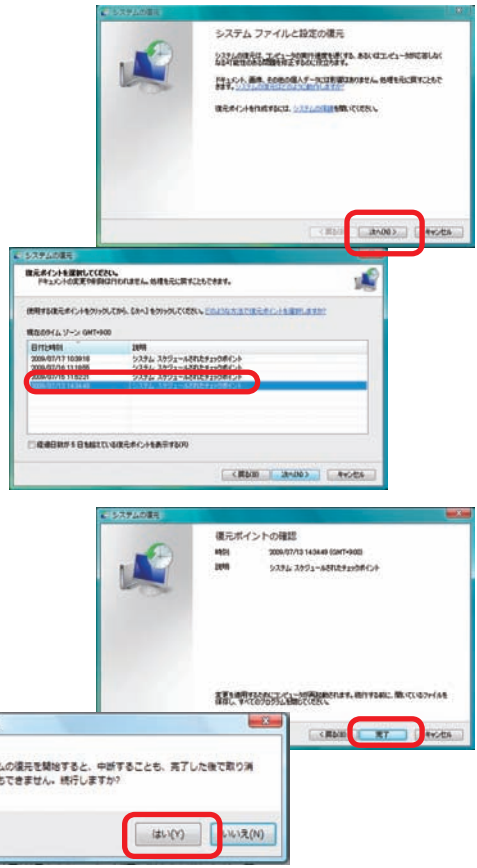
③ インストール

④ 困ったときは

⑤ ご案内

## ■ システムの復元 (Windows Vista での操作方法を示します)

1. 「システムの復元」を表示します。
  - ・ [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [システムツール] → [システムの復元] をクリックしてください。 [次へ] をクリックします。
  - ・ [推奨される復元] を選択して、[次へ] をクリックします。
  - ※ [別の復元ポイントを選択する] を選択した場合、過去の復元ポイントの一覧が表示されます。該当のポイントを指定して復元することもできます。
2. 「復元ポイントの確認」が表示されます。
  - ・ 復元ポイントの内容を確認して [完了] をクリックしてください。
  - ・ 続行の可否の選択が表示されるので、[はい] をクリックしてください。
  - ・ システムの復元後、自動的に再起動します。



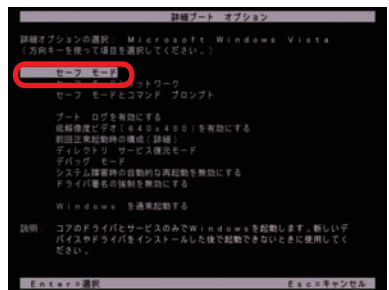
## ■ Windows をセーフモードで起動する (Windows Vista ・ Windows 7 での操作方法を示します)

1. 「詳細ブート オプション」を表示します。
 

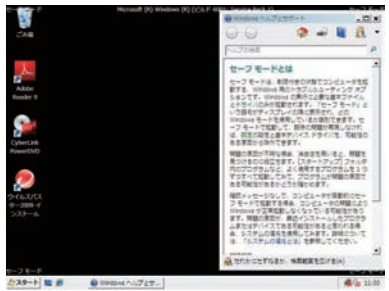
電源を入れた時に [F8 キー] を連打します。BIOS 画面のあとに「詳細ブート オプション」が表示されます。
2. オプションを選択します。
 

[セーフモード] を選択して [Enter キー] を押してください。セーフモードで起動します。

※ Windows XP では、「Windows 拡張オプションメニュー」と表示されますが、同じ操作でセーフモードで起動できます。



**ワンポイント**  
セーフモードは不具合発生時の診断用の起動モードです。不具合が発生し起動できなくなった場合も、このモードでは起動できる場合があります。



## ■ プログラムのアンインストール (Windows Vista・Windows 7での操作方法を示します)

インストール済みのソフトウェアを管理します。プログラムやアプリケーションなどのソフトウェアをシステムからアンインストール（削除）できます。

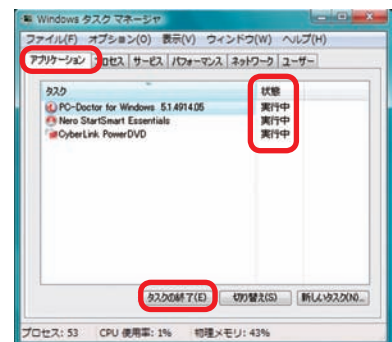
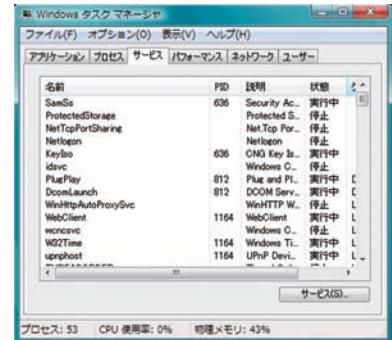
1. 「プログラムのアンインストール又は変更」を表示します。  
[スタート] → [コントロールパネル] → [プログラム] → [プログラムのアンインストール] をクリックします。
2. ソフトウェアをアンインストールします。  
削除したいソフトウェアをクリックして選択後に [次へ] をクリックし、アンインストールを行います。



## ■ タスクマネージャ (Windows Vista・Windows 7での操作方法を示します)

現在起動されているプログラムの状態を確認したり、プログラムを強制的に終了させることができるソフトウェアです。一部ソフトのフリーズは強制終了することにより、Windowsに復帰できる場合があります。

1. 「タスクマネージャ」を表示します。  
[Ctrl] + [Shift] + [ESC] を同時に押し、[タスクマネージャ] を起動します。
2. アプリケーションのタスク状態を確認します。  
[応答なし] などの状態になっている場合は、その項目をクリックし、[タスクの終了] をクリックすると、そのプログラムを強制的に終了させることができます。



①ご利用前に

②基本操作

③インストール

④困ったときは

⑤ご案内

## ■「PC-Doctor」について

Prime パソコンには、異常がないかを確認する診断ソリューションとして「PC-Doctor」というハードウェア診断ソフトウェアが導入されています（一部モデルを除く）。起動するけれど調子が悪いなど「不具合かな？」と思われる症状が現れたら、まずは「PC-Doctor」でチェックしてみましょう。

- ・ PC-Doctor for Dos  
CD-ROM から起動することで Windows に依存することなく診断を行ないます。Windows のソフトウェアやドライバーなどに起因する不具合と切り離し、ハードウェア自体の問題を確認することができます。
- ・ PC-Doctor for Windows  
Windows にインストールして実行することで診断を行います。  
Windows から実行するため、診断結果は Windows のソフトウェアやドライバー状態に依存します。

PC-Doctor には上記の2種類があり、それらを組み合わせることでハードウェアや Windows の不具合を診断することができます。

本項目では、ハードウェアの診断を行う、「PC-Doctor for Dos」の操作方法を説明します。

「PC-Doctor for Windows」の操作方は、下記の URL から「PC-Doctor マニュアル (Win 版)」をご覧ください。

<http://www.dospara.co.jp/pc-doctor/>

## ■「PC-Doctor for DOS」簡易操作方法

1. 光学ドライブに PC-Doctor の CD-ROM をセットして、パソコンを再起動させます。

メディアは 123 ページ「PC-Doctor」メディアをご参照ください。

2. 「ライセンス条項」が表示されます。

しばらくお待ちいただくと PC-Doctor が起動し「ライセンス条項」が表示されますので、[Y] キーを押して先に進みます。

3. 「メインメニュー」が表示されます。

テストの種類を選択して [Enter] キーを押して実行します。まずは [Advanced Tests] を実行しましょう。

Advanced Tests を実行すると、右記のメッセージが表示されます。光学ドライブの検査をするために、CD/DVD-ROM のメディアをドライブに入れ [Space] を押してください。

4. 「テスト画面」が表示されます。  
各テスト項目の進展状況が表示されます。

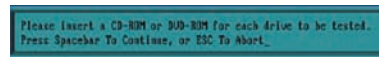
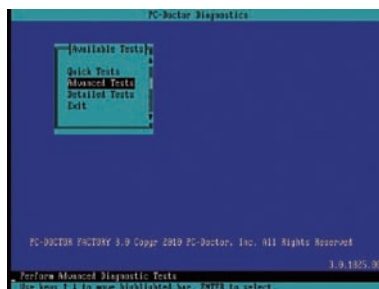
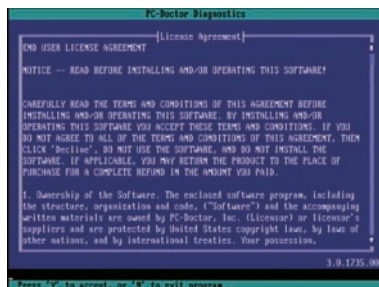
テスト時間

【Quick Tests】：20～40分

【Advanced Tests】：40～120分

※「Advanced Tests」ではハードディスクのテストを行うため、ハードディスクの容量や台数が大きく時間が変わります。

※ PC-Doctor の実行中に、画面が明滅したり砂嵐が表示されたりしますが、ビデオカードのテストを行っている表示のため、問題ございません。



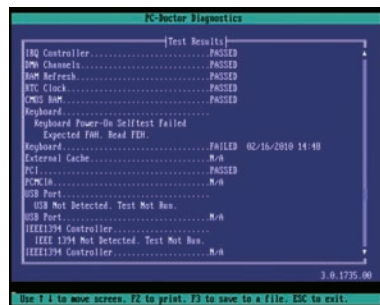
5. 「テストの実行結果」が表示されます。

- ・ PASSED : 全てのテストを正常に完了した場合
- ・ ABORTED : テストが途中で中断した場合
- ・ FAILED : エラーが発生した場合  
「スペース」キーを押してテスト内容のログを確認します。
- ・ テスト結果の詳細が表示されます、「↑↓」カーソルキーで表示を移動して [FAILED] が表示されている項目を確認します。表示している項目のハードウェアの不具合が考えられます。

Testing Complete - PASSED  
Press Spacebar To View Log

Testing Complete - ABORTED  
Press Spacebar To View Log

Testing Complete - FAILED  
Press Spacebar To View Log



**!** USB 機器を接続した状態で PC-Doctor を実行すると、フリーズしたり「FAILED」が表示される場合があります。

USB 機器 (USB キーボード以外) を取外した状態で PC-Doctor を実行してください。

USB キーボードは、[Keyboard] 項目に [FAILED] が表示される場合がありますが問題はございませんので、そのままご使用ください。

6. PC-Doctor を終了させます。

メインメニューの「Exit」を選択します。” C : PCDR> ”と表示されたら、PC-Doctor の CD を取り出し、電源ボタンを押してパソコンの電源を切ってください。

## ■ テストの種類について

### [Quick Tests]

ハードウェア全体の簡易テストを自動で行います。

### [Advanced Tests]

Quick Tests よりも詳細なハードウェア全体のテストを自動で行います。

Quick Tests で「PASSED」と表示された場合にお試しください。

### [Detailed Tests]

特定のハードウェアの詳細なテストを手動で行います。

詳細な手順については、<http://www.dospara.co.jp/pc-doctor/> より、PC-Doctor 操作マニュアル (DOS 版) をご参照ください。

## ■ テスト結果について

「PASSED」と表示された場合にはハードウェアではなく、ご利用環境、設定やソフトウェアなどが不具合の要因となっている可能性があります。

152 ページ「作業中にフリーズする・ブルースクリーンになる」を参照して PC-Doctor 以外の内容を確認してみましょう。

なお「FAILED」と表示された場合にはハードウェアの不具合が考えられますので、サポートコールセンターまでお問い合わせください。

**!** 本ソフトウェアは Prime パソコン専用ソフトウェアのため、他のパソコンにはご使用できません。また、Prime パソコンの BIOS 情報をお客様自身でアップデートや書き換えをされた場合には本ソフトウェアはご利用できなくなりますのでご注意ください。

①ご利用前に

②基本操作

③インストール

④困ったときは

⑤ご案内

パソコンのパーツは規格品なので、基本的にはどんな組み合わせでも動くはずですが、各社趣向を凝らし付加価値をつけて販売している製品もあって、「相性」でうまく動かない時もあります。また「動かない!」と思っていたものが、ちょっとしたミスや見落としが原因の時もあります。

不具合が見つかっていてもメーカーが解決策をホームページで公開しているかもしれません。

弊社のホームページ (<http://www.dospara.co.jp/>) にも耳寄り情報やメーカーのホームページへのリンクを載せていますので、ぜひご覧ください。

インターネット上では、企業や個人がいろんな情報やウラ技をホームページで公開しています。検索サイトで調べてみるのも面白いかもしれません。

自動車などでメンテナンスが必要なように、パソコンにもメンテナンスが必要です。長期間使用していると、内部にホコリがたまってしまう場合があります。そのホコリが不具合・トラブルの原因となりますので、定期的にエアダスターなどで内部のホコリを取り除くようにしましょう。

なにかを試す時はよく考えてから自分ができる範囲で少しずつ始めましょう。どんどんパソコンの知識を広げ、楽しいパソコンライフを送ってください。

## 1 パソコンのリユースについて

## 中古買取のご案内

ドスパラでは、新しくパソコンをご購入もしくは、新しいパソコンパーツに組み替えられた場合に、ご不要になったパソコンやパーツの買取を行い、地球資源のリユース（再利用）を促進しております。全国のドスパラ店頭または弊社ホームページより買取を実施しております。

詳しくは下記のホームページをご覧ください。

ドスパラ中古買取 ▶ <http://used.dospara.co.jp/>

Prime購入で  
ご不要になったパソコンは

**ドスパラに  
お売り  
ください!!  
高額買取します!!**

パソコン  
パソコン  
周辺機器  
デジカメ  
PCパーツ  
携帯電話

無料!  
まずは  
査定

詳しくはドスパラ公式通販サイトの **中古販売** タグからドスパラ中古サイトへ

買取案内 タグから買取の方法をご確認いただけます!

**日本全国どこからでも通信買取可能!!**  
**全国のドスパラ店頭にて買取実施中!!**




①ご利用前に

②基本操作

③インストール

④困ったときは

⑤ご案内



## 不要パソコンの回収・再資源化について

ドスパラは、資源の有効な利用の促進に関する法律(通称:リサイクル法 2001年4月1日施行)により、事業系ユーザーからのパソコン回収、再資源化の実施がパソコンメーカーに義務づけられたことに対応し、「ドスパラリサイクルセンター」を設置いたしました。

事業系(法人、個人事業者などのお客様)を対象として、パソコンの回収・リサイクルに関するご相談に対応するサービスを行っております。

また、リサイクル法の2003年10月1日の改正に基づき、個人(一般)向けパソコンの回収・リサイクルに関するご相談にも対応するサービスを「ドスパラリサイクルセンター」にて開始いたしました。

## PC リサイクルマーク



2003年10月1日以降に販売された、個人向けPCリサイクルサービス対象製品の本体には、「PCリサイクルマーク」が貼付してあります。このマークが貼付されている弊社対象製品は弊社にて無償回収および再資源化を実施させていただきます。

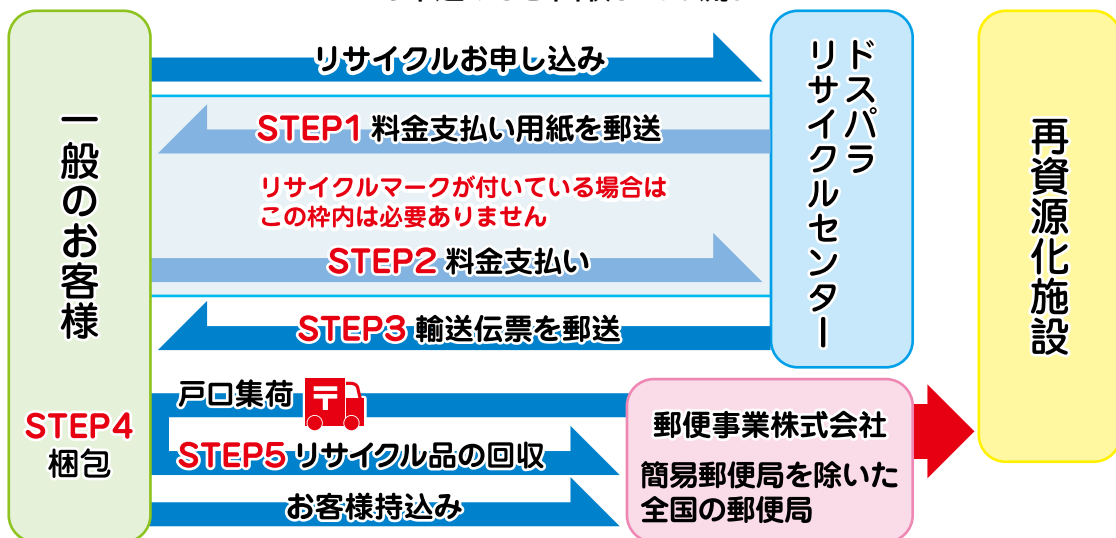
なお、回収は電子情報技術産業協会(JEITA)と郵便事業株式会社が提携し対応を行っております。郵便局へ直接お持ち込みいただくか、自宅戸口での集荷回収のどちらかをお選びいただくことができます。

## PC リサイクルサービスのご案内

ドスパラリサイクルセンターでは、ご家庭で不要になった弊社パソコンの回収リサイクル活動を行っております。詳しくは下記のホームページをご覧ください。

<http://www.dospara.co.jp/recy>

## お申込みから回収までの流れ



回収・リサイクルに関するお問い合わせ

ドスパラリサイクルセンター

ナビダイヤル: **0570-028-119** (電話受付時間 9:00 ~ 21:00 年中無休)

ナビダイヤルがご利用できない場合は: **03-4332-9193**

## PC および HDD などの内蔵記憶装置に保存されているデータについて

パソコンの回収・リサイクルおよびリユースにあたり、以下の点にご注意ください。

お客様がご利用になっていたパソコンに内蔵されている記憶装置には、大切な個人情報や重要なデータが保存されています。このデータの取り扱いに関しましては大変恐れ入りますが、お客様の責任範囲としてデータの消去や別の記憶媒体などへバックアップ、保存を実施いただくこととなります。

万が一、データの漏洩等が発生した場合にはつきましても、弊社では責任を負いかねます。

#### ワンポイント

お客様によるデータ保護、漏洩に関して不安がある場合や、確実なデータの破壊もしくは、記憶装置の物理的な破壊による保護をご要望される場合は、弊社にて以下のサービスを提供しておりますのでご利用ください。(有償)

#### HDD データ消去

アメリカ合衆国国防総省採用のデータ消去方法に準拠した HDD のデータ消去作業を行います。

HDD としての機能は維持されるので、リユースが可能です。

#### 物理破壊

HDD を物理的に破壊し、完全に HDD としてのデータの書き込みおよび読み込みを不可能にします。破壊後は、HDD をパソコンへ接続しても動作しません。

また、破壊された HDD は PC リサイクルサービスの一環として、ご利用になっていたパソコンと一緒にリサイクルすることが可能です。

詳しくは下記のホームページをご覧ください。

<http://www.dospara.co.jp/del>

# 当店取り扱い商品の保証規約

お客様各位

この度は、下記でお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
お買い上げいただきました商品の保証の内容は、下記のようにしております。

## 1. 保証期間について

保証期間は販売店および通販でのご購入日より1年間となります。

### 【オプション保証】

- ・延長保証
  - 2年間延長保証  
基本保証期間1年+延長期間1年  
…合計2年間の保証+引取往復送料無料(延長保証特典)
  - 3年間延長保証  
基本保証期間1年+延長期間2年  
…合計3年間の保証+引取往復送料無料(延長保証特典)
- ・パソコン保険加入 12ヶ月間パソコン保険…保証期間1年間  
24ヶ月間パソコン保険…保証期間2年間  
36ヶ月間パソコン保険…保証期間3年間

※パソコン保険に関する規約は保険証券に記載されております。  
内容について詳細は保険証券をご参照ください。

※レシート(納品書)およびPrime製造番号シールが保証書となります。Prime製造番号シールはPrimeパソコン本体の裏面、もしくは底面に貼付しておりますのでご確認ください。

※パソコン保険をお申し込み済みで、パソコン保険のサービスを受ける際は、パソコン保険証券が必要となります。再発行はいたしませんので、大切に保管してください。  
※修理完了後の保証につきましては、ご購入の際に付帯する保証期間の満了日、または、修理完了品のお渡し日から1か月の保証期間を付帯し、いずれかの長い方とします。

※Primeパソコンに関しては、ご購入時に左記項目に記載している延長保証(オプション)を、お申し込みの場合には、それに準じた保証期間となります。

※修理完了後の保証期間は、修理完了品のお渡し日から1か月後まで付与される保証期間もしくはご購入の際に付帯する保証期間の満了日のいずれかの長い方とします。

## 2. 初期不良について

初期不良期間は、原則お買い上げ日から1週間以内とします。商品発送の場合は到着後1週間以内とします。初期不良の対応につきましては、お買い上げになられた店頭へお持ち込みいただくか、弊社修理センターへご送付ください。お預かりのうえ、弊社にて修理対応をさせていただきます。修理に相当日数がかかる場合には、同一商品(新品)と交換をさせていただきます。交換する商品の在庫がない場合には同額以上の別商品と交換させていただきます。別商品と交換の際に差額が生じた場合には、差額分をご負担ください。お預けいただく際にお客様の来店または発送のご都合がつかない場合、お買い上げ日または、商品到着日から1週間以内にお買い上げ店舗または弊社サポートコールセンターまでご連絡をお願いいたします。ご連絡後、初期不良期間を最大1週間延長いたします。なお、弊社DJクラブカードのメンバーでメールマガジンをご購読いただいている会員のの方は、初期不良期間を1か月に延長させていただきますいております。DJクラブへのご加入とメールマガジンのご登録をお勧めいたします。(メールマガジンは無料です)

## 3. 保証免責事項について

下記のような場合には、サポートおよび修理交換など、弊社保証の対象とはなりません。

- ・組み合わせや相性によって発生する機器互換性などの原因による症状。(仕様)
- ・天災、火事および、停電、付属されている電源ケーブルの外部損傷などの外部要因によって故障が発生した場合。
- ・弊社販売時のサポートOS以外で症状が発生する場合。
- ・自然消耗、摩耗、劣化(バッテリーの経年劣化、消耗や長期使用によるハードディスクの不良セクタの増加)による場合。
- ・譲渡などにより所有者の変更があった場合。(オークションや、中古売買などによるご購入を含む)
- ・焼痕、外傷がある場合。
- ・保証書や製品のラベル類が汚損、破損している場合。
- ・お客様の故意、過失、改造またはお取り扱い方法や、ご使用方法が不適切と判断した場合。

## 4. 不良発生時にご用意いただくもの

- ・弊社のレシートまたは納品書(保証書) ※パソコン保険をお申し込みいただいている場合、保証を受ける際パソコン保険証券の同梱が必要となります。
- ・下記で修理依頼書(Primeユーザーズマニュアルの最終ページにあります)のご記入のうえ、同梱をお願い致します。(コピー可。)
- ・ご購入時の梱包箱

また、作業を円滑に行うために、下記の物を同梱くださいますようお願いいたします。

- ・OSインストールディスク ・ドライブCDなどの付属品

## 5. 不良診断・修理に要する期間・修理部品の取り扱い

通常、保証期間中の修理についてはご依頼品をお持込またはお送りいただいた後、修理期間は弊社に到着してから、1週間から10日程度となります。原則、店舗または秋葉原サポートセンターへご来店での修理ご依頼の際は、その場での修理・交換対応は応じかねますので、予めご了承ください。海外のメーカー製部品に関しては、その海外部品供給元へ送付し、修理依頼を行うため、初期不良期間経過後の修理のご依頼は、そのメーカーによっては1か月以上の期間をいただく場合があります。保証期間中の修理において交換した部品の所有権は弊社に帰属します。よって、当該部品をお客様に返却しないものとします。なお、交換した部品は、地球環境の配慮から部品供給元で修理・再調整後、動作検査し新品部品と同等の品質が保証されたものとして再利用する場合があります。

※修理期間中における代替品の貸し出しは行っておりません。

## 6. 送料、診断料について

検証、修理ご依頼品を発送されるとき送料は原則、お客様にてご負担ください。初期不良期間の製品につきましては、最寄りの店舗、または秋葉原サポートセンターおよび弊社サポートコールセンターへ事前にご連絡をいただき、検証修理が必要と判断された場合には弊社にて負担いたします(佐川急便のみ)。出荷時の構成と異なる場合は、初期不良とみなしません。また、輸送中の事故はお客様の責任となりますので、商品が梱包されているダンボール箱などでしっかりと梱包してください。弊社に到着後、検証・修理ご依頼品返却時の送料は原則、弊社にて負担いたします。ただし自損など、自然故障以外のハードウェア不良の場合、返却時の送料はお客様のご負担となり別途診断料もご請求させていただきます。予めご了承ください。

## 7. 責任制限

弊社の責任の範囲は、上記の修理・交換とし、当該商品のご購入金額を上限とします。逸失利益、ダウンタイム(機能停止期間)、データおよびプログラムの修復などの間接的な損害については、弊社の責任範囲から除外いたします。また、修理対応時における記憶媒体(ハードディスクなど)内のデータの保証および対応は一切致しかねます。定期的なバックアップの取得をお勧めいたします。この保証は日本国内でのご利用においてのみ有効とします。本規約に関する紛争は、特に別段の定めなき場合は、東京簡易裁判所または東京地方裁判所のみをもって第一審の専属管轄裁判所とします。サービス・保証内容も変更される場合があります。

## 8. 返品、交換について

弊社では原則、返品対応は一切受け付けておりません。お客様において誤って商品をご購入された場合は、ご購入日から7日以内であれば弊社店舗へご連絡のうえ、未使用・未開封の状態でお買い上げ明細書(レシート)、領収書を添えてご購入の店舗へお持ちいただければ、ほかの同額以上の商品と交換いたします。(ただしOS(基本ソフト)などのソフトウェアにつきましては対象外とさせていただきます。ご了承ください。)交換の際に差額が生じた場合には差額分をご負担ください。通信販売でお求めの場合は、差額お振込み時の振込手数料、代引手数料などはお客様にてご負担ください。

## 9. Primeパソコン保証期間外の修理またはアップグレードなど、有償サポートについて

有償サポートにつきましては、詳しくはお買い上げの店舗、またはサポートコールセンターにお問い合わせください。

### 【修理のご依頼について】

弊社通販、店舗でお買い上げをいただきました製品の修理のご依頼につきましては弊社サポートコールセンターへご連絡ください。

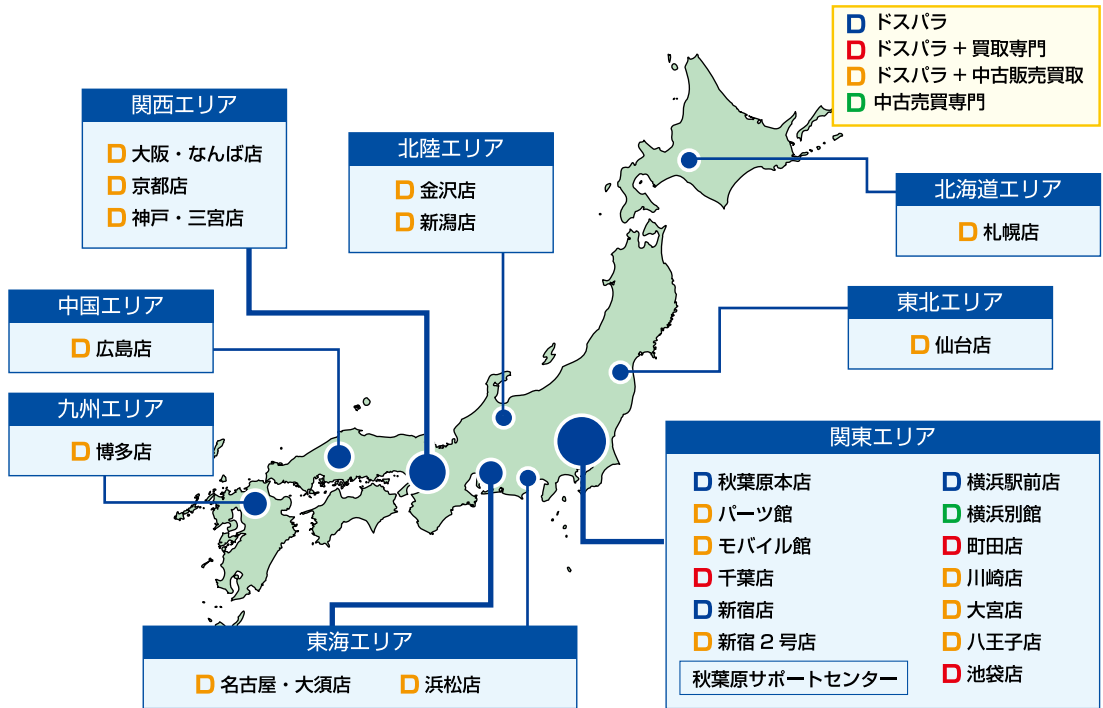
サポートコールセンターでハードウェアに障害があるかどうかを確認し、適切な対応を行わせていただきます。

### 【修理をご依頼された場合】

修理完了後はお客様へ修理が完了した旨のご連絡させていただきますので、お早めにお引取りください。修理完了およびお引取のご連絡から1か月を超過してもお預り品のお引取りがなされない場合は、誠に勝手ながら弊社にて処分させていただきますのでご了承ください。



ドスパラ店舗のご案内



●ご注文・お見積りのお問い合わせはお近くの各店へ

★各店舗の詳しい情報はこちら <http://www.dospara.co.jp>

- |                      |                      |                    |                       |
|----------------------|----------------------|--------------------|-----------------------|
| ■秋葉原本店 ☎03-5295-3435 | ■横浜駅前店 ☎045-410-0506 | ■池袋店 ☎03-5911-7695 | ■名古屋大須店 ☎052-243-0391 |
| ■パーツ館 ☎03-6866-7224  | ■横浜別館 ☎045-410-0508  | ■札幌店 ☎011-738-7526 | ■京都店 ☎075-342-2674    |
| ■モバイル館 ☎03-5207-6411 | ■町田店 ☎042-710-5502   | ■仙台店 ☎022-298-8747 | ■大阪なんば店 ☎06-6635-2805 |
| ■千葉店 ☎043-203-8501   | ■川崎店 ☎044-221-7881   | ■新潟店 ☎025-290-5141 | ■神戸・三宮店 ☎078-326-2533 |
| ■新宿店 ☎03-5909-5751   | ■大宮店 ☎048-640-5635   | ■金沢店 ☎076-249-3191 | ■広島店 ☎082-542-7066    |
| ■新宿2号店 ☎03-3342-5721 | ■八王子店 ☎042-631-0805  | ■浜松店 ☎053-412-5910 | ■博多店 ☎092-413-9551    |

お買上商品のサポートは  
 全国のドスパラ各店、またはこちらへ

**サポートコールセンター** ナビダイヤル **0570-028-119**  
(ナビダイヤルをご利用できない場合 03-4332-9193)



ドスパラは、資源有効利用促進法（改正リサイクル法）に基づいて  
 家庭向けパソコンの回収・リサイクルを行っています。

詳細は<http://www.dospara.co.jp/recycle/>をご覧ください。

また、お買い上げから3年以内のパソコンについては買い取りの対象となる可能性があります。  
 状態が良いほど査定額も高くなります。リサイクル制度をご利用になる前にご確認ください。

**リサイクル** ドスパラ リサイクルセンターへお問い合わせください ナビダイヤル 0570-028-119  
(ナビダイヤルをご利用できない場合 03-4332-9193)

**店頭買取** 中古買取対応のドスパラ各店舗にお持ち込みください 詳しくはドスパラWebをご覧ください

**通信買取** お店が遠隔地にあっても通信買取でらくらく！ お問い合わせは、リサイクルのホームページから

**DJ Club Card**

入会費・年会費 無料!

パソコン  
 ライフを  
 サポート。



全国のドスパラで使える便利なサポートカード! メール購読でさらに特典!

**カード会員募集中!!**

どんな時でも安心の  
**パソコン保険!**

組立作業中の事故、水濡れによる故障、突然の自然故障等を幅広くサポートします。  
 当店にて商品をご購入になる際、ご用命ください。保険料は1年間あたり、ご購入  
 される商品の税込価格の5%と格安! お金で買える安心です。  
 詳しくは店頭までお問い合わせください。

# 付属ソフトウェアチェックリスト

プリインストールされている無償のソフトウェアは、システム初期化時に消えますのであらかじめご了承ください。

## アプリケーション

(光学ドライブ搭載モデルのみ)

- PowerDVD . . . . . (DVD/ ブルーレイ再生)
- WinDVD . . . . . (DVD/ ブルーレイ再生)
- Nero . . . . . (CD/DVD/ ブルーレイ記録)
- DVD Solution . . . . . (CD/DVD/ ブルーレイ記録)
- PC-Doctor . . . . . (ハードウェア診断ソフト)

## オフィス

(オフィス選択モデルのみ)

- Microsoft® Office Personal
- Microsoft® PowerPoint
- Microsoft® Office Professional
- Microsoft® Office Home and Business
- Kingsoft Office Standard

## ドライバー

- マザーボード
- ビデオカード
- サウンドカード
- TVチューナーキャプチャーカード
- USB3.0 インターフェースカード
- 無線 LAN カード

## その他

(各増設機器搭載モデルのみ)

- ( )
- ( )
- ( )

動作検証

検証

---

Prime ユーザーズマニュアル

著者 / 監修：株式会社サードウェーブ Prime マニュアル編集部

発行 / 編集：株式会社サードウェーブ

ご注意

※本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。

※本書の内容および製品の仕様について、将来予告なしに変更することがあります。

※本書の内容は万全を期して作成いたしました。が、万一誤り・お気付きの点がございましたらご連絡ください。

※本書の内容に基づく運用した結果の影響につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

Microsoft、Windows 7、Windows Vista、Windows XP、Windows 2000、Windows Me、Windows 98、Office は米Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

Intel ロゴ、および Intel Inside ロゴは、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。

Mac、Mac OS は、Apple Inc. の商標です。

© 2009 Nero AG, Karlsbad, Germany. All rights reserved.

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。

UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

その他の、会社名、製品名、システム名は各社の商標または登録商標です。

---

A series of horizontal dashed lines for writing, starting below a solid top line and ending above a solid bottom line.

---

A series of horizontal dashed lines for writing, starting below a solid top line and ending above a solid bottom line.



# ドスパラ修理依頼書

DJ 会員様を対象にオンラインによる Prime 故障診断をご用意しております  
<http://check.dospara.co.jp/front>

送先について
修理品の送付は「〒252-1123 神奈川県綾瀬市早川2696-1 ドスパラ修理センター」宛で送付ください。秋葉原店舗でご購入された製品については、秋葉原サポートセンターにてお持ち帰り修理を承ります。ドスパラ各店舗へのお持ち帰りに関しては、弊社ホームページ店舗情報をご参照ください。
お問い合わせ先：サポートコールセンター <b>0570-028-119</b> (PHS・IP電話からは 03-4332-9193)

- 送付いただく際のご注意  
 Prime パソコンを送付いただく際には、ご購入時の梱包箱を利用し、修理依頼品を梱包送付ください。箱がない場合には安全に輸送するために別途パソコン梱包用の箱をご用意いただき、送付願います。着荷時の梱包箱の状態等により、当社で再利用が困難と判断した場合には、別途箱代を請求させていただきます。また、梱包不良による輸送事故および、物理破損は保証期間内でも有償対象となります。あらかじめご了承ください。
- 必要事項をご記入の上、お申し込みください ※の ついているところは、ご記入必須事項です

ヨミガナ	
※お名前	
会社名 / 部署名	
※ご住所 返送先住所を ご記入ください	〒 -
※電話番号	TEL : - - 携帯電話 : - -
FAX/E-Mail	FAX : - - E-Mail : @
DJ CLUB CARD No.	

## ※補助記憶装置障害に関する修理におけるデータの取り扱いについて

### ■ 修理に伴うデータ初期化について

- お願い:修理のご依頼をされる前に、あらかじめ、データのバックアップを取得ください。\*データの保護・バックアップ等については、保証対応対象外です。  
 ・修理に伴い、障害復旧のために、HDD や SSD などの補助記憶装置に記録された OS やデータの消去が伴う場合がございます。  
 ・お客様からお預かりしましたご依頼品において、以下のいずれかのチェックがない場合でも、補助記憶装置や OS の不具合の場合には、その装置の交換対応や OS インストールが伴います。これらの場合はデータが消去となります。あらかじめご了承ください。  
 ※データの初期化に関して下記チェックがない場合は、「同意する」とみなします。

上記内容に同意します  上記内容に同意しない

## ※お買い上げ明細番号（伝票番号）又は納品書番号 :

## Prime No.( プライム製造番号) :

(Prime パソコンのみ、本体の背面、または底面に貼ってあります。No.123456-78900 または No.12345-67890 のようになっています。)

## 管理者権限のユーザー名 :

## パスワード :

Windows ログイン時にパスワードの設定がある場合は必ずご記入ください。※ OS 上のエラーログの確認や、検査を行うために必要です。

## ※不具合内容・症状

- |   |   |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> Windows が起動しない     | <input type="checkbox"/> 電源のファンは回っているが画面表示がない |
| <input type="checkbox"/> 電源が入らない (通電しない)    | <input type="checkbox"/> OS は途中まで起動する         |
| <input type="checkbox"/> 画面は出る (BIOS は起動する) | <input type="checkbox"/> 再起動してしまう             |
| <input type="checkbox"/> 電源が落ちる             | <input type="checkbox"/> 表示がおかしい              |
| <input type="checkbox"/> 異音がる               | <input type="checkbox"/> ハングアップする             |

故障箇所又は試されたこと、故障時の様子、発生頻度など、なるべく詳しくお書きください。

## ■ 修理のお見積について (無償保証期間内でも物理破損の際には、有償となります)

お見積ご連絡先 : - - ご連絡可能な時間帯 :

- 記載内容に不備がある場合は、修理が遅くなることがございます。
- 修理品の送料はお客様負担となります。通販ご購入時の初期不良の場合に限り、通常宅配送料金を弊社が負担します。
- ウィルス感染による不具合やシステム上の不具合など、弊社の瑕疵ではない場合、送料や技術料などの費用が発生する場合があります。
- お預かりしている修理品の保管期間は、修理完了後 1 か月とさせていただきます。1 か月を超えた場合は、弊社で処分させていただきます。
- お客様の個人情報および個人履歴は、弊社修理サービス及びサポートの提供においてのみ使用されます。また、お客様の同意なしに、上記以外の目的で個人情報および個人履歴を使用することはございませんのでご安心ください。

## ■ 修理依頼前の確認

修理依頼の前に、本書124ページ「困ったときは!」を確認しましょう。

## ■ 修理依頼方法

### ・サポートコールセンターへ問合せ

修理のご依頼の際は、まずサポートコールセンターへ問合せください。不具合の内容をお伺いし受付番号の発行と送付をご案内いたします。ドスパラ各店舗へのお持込みに関しては、問合せの時にご申告ください。

### ・修理依頼書

下記の見本にしたがい修理依頼書へ受付番号及び必要事項を記載します。

お問い合わせ先: サポートコールセンター 0570-028-119 / PHS、IP電話からは 03-4332-9193

## ■ 発送時の注意

### ① 発送について

お持込み以外に送付でも承っております。修理受付の際の送料はお客様にご負担いただいておりますので、最寄りの宅配業者をご利用の上で発送してください。

### ② 同梱物について

・弊社のレシートまたは納品書(保証書) ・ドスパラ修理依頼書

### ・ドライバーCD、付属品(アダプター・バッテリー) など

※パソコン保険をお申し込みいただいている場合、保証を受ける際パソコン保険証券の同梱が必要となります。

ドスパラ修理依頼書	
<small>DU会員登録を対象にオンラインによるPrime故障診断をご用意しております  <a href="http://check.dospara.co.jp/front">http://check.dospara.co.jp/front</a></small>	
<small>● 送付いただく際のご注意                      Primeパソコンを送付いただく際には、ご購入時の梱包箱を利用し、修理依頼品を梱包してください。箱がない場合には安全に輸送するために別途パソコン梱包用の箱をご用意いただき、送料がかかります。着荷時の梱包箱の状態等により、当社で再利用が困難と判断した場合には、別途箱代を請求させていただきます。また、梱包不良による輸送事故および、物理破損は保証期間内でも有償対象となります。あらかじめご了承ください。</small>	
<small>● 必要事項をご記入の上、お申し込みください ※の ついているところは、ご記入必須事項です</small>	
ヨミガナ	ドスパラ タロウ
*お名前	ドスパラ 太郎
会社名/部署名	
*ご住所 返送先住所をご記入ください	〒101-0021 東京都千代田区外神田3-11-1 ロックビル1F
*電話番号	TEL: 03-5295-3435 携帯電話: -
FAX/E-Mail	FAX: - E-Mail: @
DJ CLUB CARD No.	XXXXXXXXXX
<small>※補助記憶装置障害に関する修理におけるデータの取り扱いについて                      ■ 修理に伴うデータ初期化について                      お新しい修理のご依頼をされる前に、あらかじめ、データのバックアップを取ってください。*データの保護/バックアップ等については、保証対象外です。                      *修理に伴い、障害復旧のため、HDDやSSDなどの補助記憶装置に記録されたOSやデータの消去が行われる場合がございます。                      *お客様からお預かりしましたご依頼品において、以下のいずれかのチェックがない場合でも、補助記憶装置やOSの不具合の場合には、その装置の交換対応やOSインストールが伴います。これらの場合はデータが消去となります。あらかじめご了承ください。                      ※データの初期化に関して下記チェックがない場合は、「同意する」とみなします。</small>	
<input checked="" type="checkbox"/> 上記内容に同意します <input type="checkbox"/> 上記内容に同意しない	
*お買い上げ明細番号(伝票番号)又は納品書番号: XXXXXXXXXXXXX	
Prime No.(プライム製造番号): XXXXXX-XXXX <small>(Primeパソコンのみ、本体の背蓋、または底面に貼ってあります。No.12345678900 または No.12345678900 のようになっています。)</small>	
管理者権限のユーザー名: ドスパラ パスワード: ※※※※※	
<small>Windowsログイン時にパスワードの設定がある場合は必ずご記入ください。*OS上のエラーログの確認や、検査を行うために必要です。</small>	
*不具合内容・症状	<input checked="" type="checkbox"/> Windowsが起動しない <input type="checkbox"/> 電源のファンは回っているが画面表示がない <input checked="" type="checkbox"/> 電源が入らない(消電しない) <input type="checkbox"/> OSは途中で起動する <input type="checkbox"/> 画面は出る(BIOSは起動する) <input type="checkbox"/> 再起動してしまふ <input type="checkbox"/> 電源が落ちる <input type="checkbox"/> 表示がおかしい <input type="checkbox"/> 異音が発生 <input type="checkbox"/> ハングアップする
<small>故障箇所又は試されたこと、故障時の様子、発生頻度など、なるべく詳しくお書きください。                      起動しなくなりました。ランプは付きますが画面が映りません。                      「困ったときは!」の「電源が入らない」の内容を確認しましたが直りませんでした</small>	
<small>■ 修理のお見積りに関して(無償保証期間内でも物理破損の際は、有償となります)                      お見積り連絡先: - ご連絡可能な時間帯: -</small>	
<small>● 記載内容に不備がある場合は、修理が遅くなる場合がございます。                      ● 修理品の送料はお客様負担となります。通販ご購入時の初期不良の場合に限り、通常宅配送料金を弊社が負担します。                      ● ウィルス感染による不具合やシステム上の不具合など、弊社の保証ではございません。送料や技術料などの費用が発生する場合があります。                      ● お預かりしている修理品の保管期間は、修理完了後1か月とさせていただきます。1か月を超えた場合は、弊社で処分させていただきます。                      ● お客様の個人情報および個人履歴は、弊社修理サービス及びサポートの提供においてのみ使用されます。また、お客様の同意なしに、上記以外の目的で個人情報および個人履歴を使用することはありませんのでご了承ください。</small>	

## ■ HDD内データについて

HDDのデータは保証できません。ご迷惑をおかけしますがデータは破棄されることを予めご了承ください。

## ■ 梱包について

### ① 梱包箱

ご購入当初の梱包箱で梱包してください。また、箱がないときはお客様で梱包箱をご用意いただき緩衝材をご利用の上、輸送時に損傷しないよう梱包してください。輸送時の事故はお客様の責任となります。しっかりと梱包して運送保険をお掛けください。

### ② 梱包時の注意

- ・アダプターやバッテリーを外した状態で梱包してください。
- ・ディスプレイは非常に繊細な部分です。パソコンと付属品を重ねて梱包しないでください。

## ■ 注意

- 記載内容に不備がある場合は、修理が遅くなることがございます。
- 修理品の送料はお客様負担となります。初期不良期間に限り、送料は弊社が負担します。発送には佐川急便をご利用ください。
- OSやウィルス感染、ソフトウェア不具合など弊社の瑕疵ではない場合、送料や技術料などの費用が発生する場合があります。
- お預かりしている修理品の保管期間は、修理完了後1か月とさせていただきます。1か月を超えた場合は、弊社で処分させていただきます。

お買い上げ  
いただいた  
PrimePCの

# 調子が悪い?壊れた?

と、思われる症状がでたとき…

まずは **Prime 故障診断** をお試しください!

## Prime 故障診断

故障と思われる症状の中には、パソコン本体の故障ではなく、ソフトウェアや、周辺機器・増設機器に問題が発生している場合もあります。Prime故障診断は、症状からトラブルの原因を特定し、解決策を紹介するプログラムです。

パソコンから

<http://check.dospara.co.jp/front>

携帯から

<http://check.dospara.co.jp/mobile/>



故障診断で解決しない場合 **FAQ検索** をお試しください!

## FAQ

FAQにはお客様からのよくあるご質問とその改善方法を紹介しています。同症状の改善方法が記載されているかもしれませんが、「FAQの検索」に症状を入力して【検索】を行ってみてください。

パソコンから

<http://faq2.dospara.co.jp/>

携帯から

<http://www.dospara.co.jp/mob/faq.php>



故障診断やFAQ記載の方法を試しても改善されないときは

**サポートコールセンターへお問い合わせください!**

お問い合わせ

Eメール

<http://dospara.co.jp/tecinfo>

携帯メール

<http://dospara.co.jp/mob/tecinfo>

電話

ナビダイヤル

**0570-028-119**

(ナビダイヤルを利用できない場合は03-4332-9193)



受付時間: 9:00~21:00

定休日: 年中無休(年末年始を除く)

インターネット通販

特価品情報

各店セール情報

サポート情報



<http://www.dospara.co.jp>